Printia LASER

B5WY-0891-01 Z0

Printia LASER XLシリーズ

ネットワークガイド

ページプリンタ　XL-2300

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタ XL-2300 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本書は、本プリンタをネットワークプリンタとして使用する場合の設定や操作方法について説明しています。また、『XL-2300 取扱説明書』「第 3 章　外部との接続　ネットワーク経由で接続する」には、ネットワークにつなげる前の注意事項が説明されています。これらをよくお読みになり、オプションのプリンタ LAN カードを取り付けたうえで、本プリンタをご利用ください。
なお、本プリンタの取り扱いについては、『XL-2300 取扱説明書』「製品を安全に使用していただくために」をかならずお読みください。

2005 年 4 月

本文中の略語について

このたびは、弊社のページプリンタ XL-2300 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
各製品を以下のように略記しています。

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition	Windows Server 2003
Microsoft® Windows Server™ 2003, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 Server	
Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me
Microsoft® Windows® 98	Windows 98
Microsoft® Windows® 95	Windows 95
Microsoft® Windows® Version 3.1	Windows 3.1
Microsoft® Internet Explorer	Internet Explorer
Netscape® Communicator	Netscape
Adobe® Reader	Adobe Reader
Adobe® Acrobat® Reader	Acrobat Reader

注：　Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のように併記する場合があります。

本書の構成

本書は、取扱説明書にしたがってプリンタを使用可能な状態にし、オプション品のプリンタ LAN カードを取り付けた後、ネットワークプリンタとして使用する場合の設定や機能を説明しています。
本書には、次の内容が記載されています。

目　次	内　容
第 1 章　ネットワークプリンタの設定	プリンタをネットワークプリンタとして設定するために管理者が行う操作について説明します。
第 2 章　プリンタドライバのインストール	プリンタドライバをインストールする手順について説明します。
第 3 章　ネットワークソフトウェアの使用	ネットワークソフトウェアのインストール方法や使用方法について説明します。
第 4 章　プリンタ共有の設定	プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。
第 5 章　インターネット印刷の 設定	IPPを使ってインターネット印刷するための設定について説明します。
第 6 章　Printia LASER Internet Service	Printia LASER Internet Service の使用環境や利用方法について説明します。
第 7 章　ネットワーク利用時の　トラブル対処方法	本プリンタをネットワークプリンタとして使用している時に発生するトラブルとその対処方法を説明しています。

本書の表記

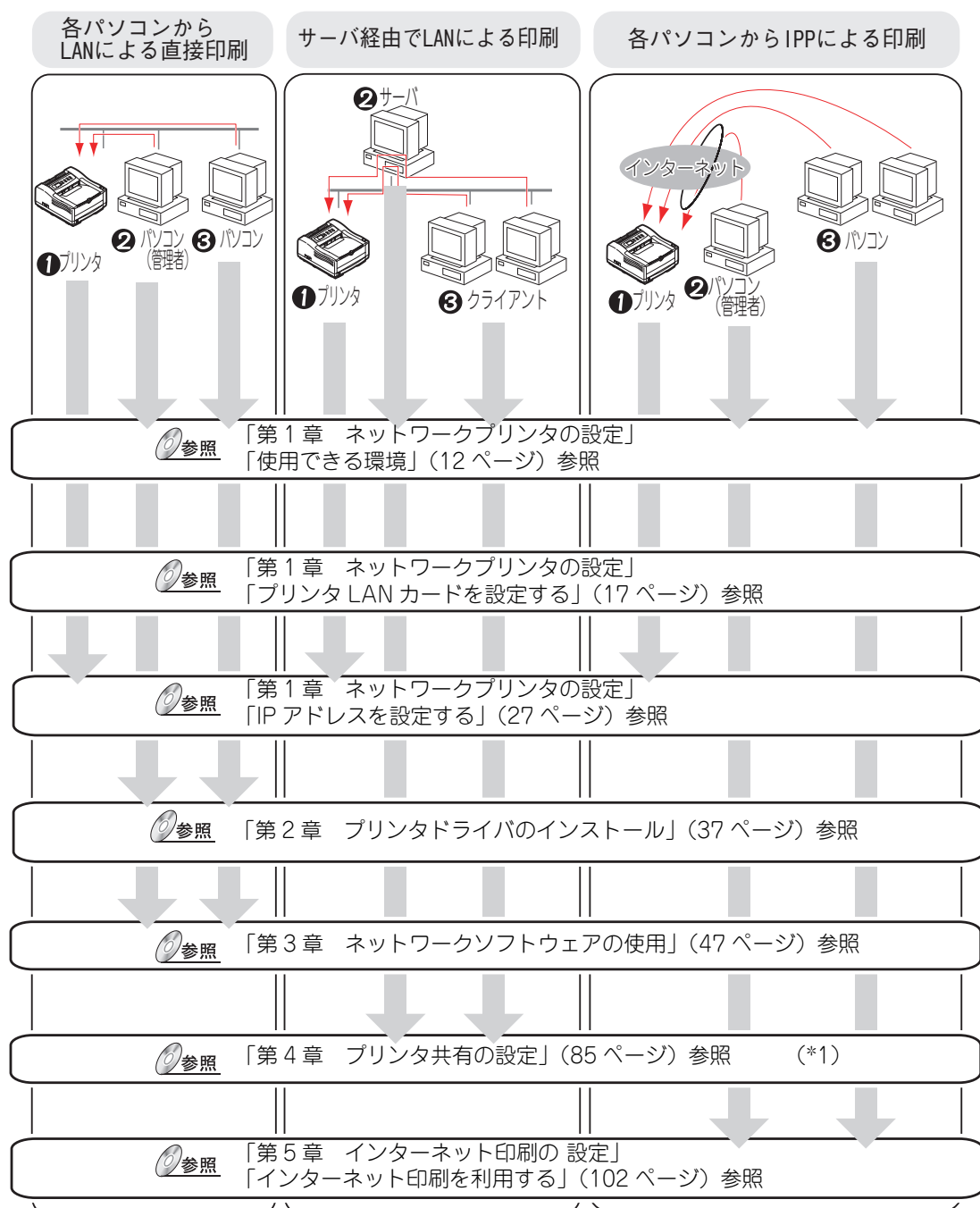
本書では、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

お願い	本製品を正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。操作する前に必ずお読みください。
ガイド	本製品を使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。必要に応じてお読みください。
参照	本マニュアル内で参照していただきたい参照先を示します。
参照	取扱説明書内で参照していただきたい参照先を示します。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

ネットワーク接続の設定手順の概要

プリンタの設置が終わったら、パソコンまたは LAN と接続し、印刷するために必要な設定を行います。
本書では、XL-2300 を LAN 経由でパソコンと接続し、印刷するために必要な設定の手順について説明します。
プリンタの接続・運用形態によって手順が異なりますので、次の図を参照し、必要な設定を行ってください。

設定は❶プリンタ❷サーバまたはパソコン（管理者）❸クライアントまたはパソコンの順に行ってください。

●プリンタ LAN ケーブルで接続するとき（プリンタ LAN カード搭載時）

*1『XL-2300 取扱説明書』に記載されている手順と同じ内容です。

目　次

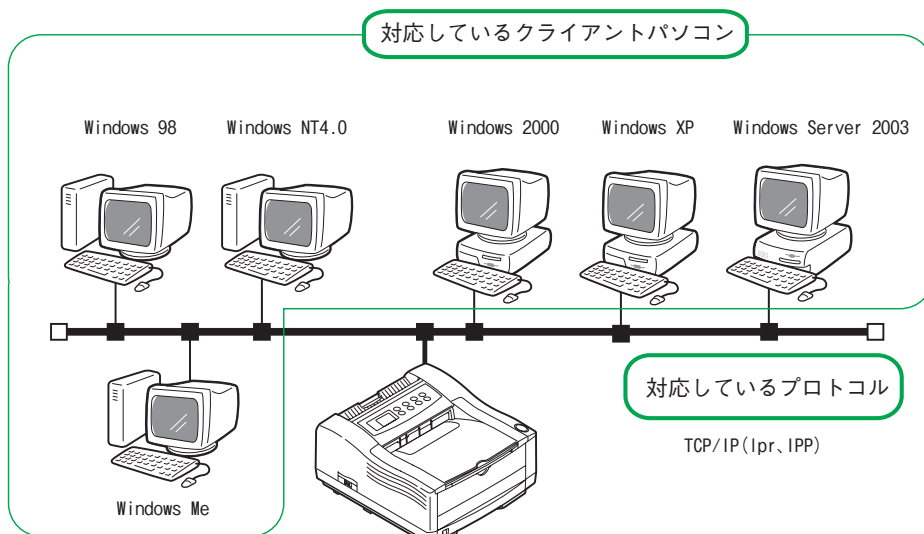
第1章
ネットワークプリンタの設定

この章では、プリンタをネットワークプリンタとして設定するために管理者が行う操作について説明します。

使用できる環境

本プリンタにオプションのプリンタ LAN カードを取り付けることで､ネットワークプリンタとして使用できるようになります。
本プリンタはマルチプロトコルに対応しており、異なったネットワーク環境でも1台のプリンタを共有できます。

ガイド

オプションのプリンタ LAN カードを取り付けていない場合は、ネットワークで使用できません。

また、インターネットを使用して、Web 画面からプリンタの状態を確認したり、プリンタの各種設定を行うことができます。この機能を「Printia LASER Internet Service（プリンティアレーザインターネットサービス)」と呼びます。

参照　「第 6 章　Printia LASER Internet Service」（113 ページ）を参照

ガイド

TCP/IP 環境プリンタの IP アドレスを DHCP サーバで管理できます。

お願い

DHCP で運用する場合には、IP アドレスが変更されることがあります。定期的に IP アドレスを確認して使用してください。

ネットワークに接続するときの注意事項

・プリンタ LAN ケーブルはツイストペアケーブルを使用してください。
・100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリー５のツイストペアケーブルを使用してください。
・プリンタ LAN ケーブルを接続するときは、必ず本プリンタの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると誤動作の原因となります。
・通常は、オペレータパネルの共通メニューの「NETWORK」-「HUB　LINK」を〔AUTO〕にしてプリンタ LAN ケーブルとハブユニットを接続してください。工場出荷時は、「NETWORK」-「HUB LINK」は〔AUTO〕なので、変更は不要です。
ただし、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方の Ethernet タイプを同じ規格に設定してください。
本プリンタは以下の Ethernet タイプを選ぶことができます。
・自動検出：「AUTO」
・100Mbps FULL：「100FULL」
・100Mbps HALF：「100HALF」
・10Mbps FULL：「10FULL」
・10Mbps HALF：「10HALF」

参照　設定方法については、『XL-2300取扱説明書』「第８章　オペレータパネルの操作」を参照

お願い

「HUB LINK」の設定変更した場合は、オペレータパネルに「ネットワークショキカチュウ」が表示されシステムの再立ち上げが完了したことを確認してください。その後、必ずプリンタの電源を一旦切り、再び投入してください。

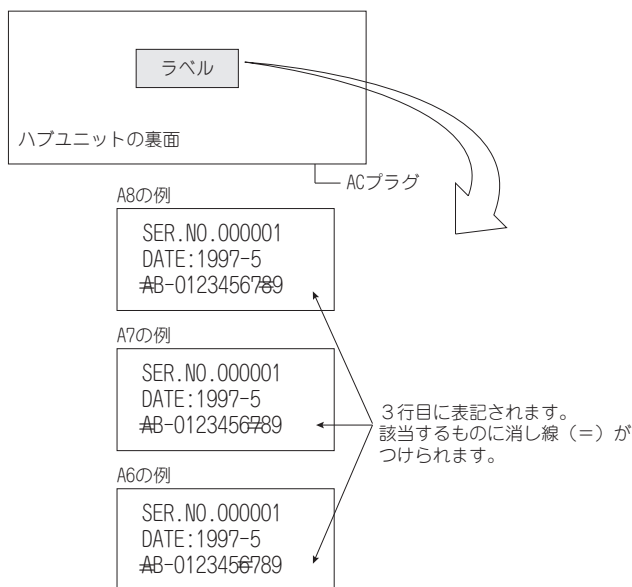
ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。
・10Mbps(10BASE) のハブユニットと接続する場合は、次の点にご注意ください。
ハブユニットの規格を取扱説明書にて確認し、本プリンタの Ethernet タイプを「自動(=AUTO)」、「10Mbps Full」または「10Mbps Half」に設定してください。
「100Mbps Full」または「100Mbps Half」にすると、ファイルサーバのファイルが参照できない等のネットワーク障害の原因となります。ネットワーク障害が発生した際には、下記手順にしたがってネットワーク障害を解消してください。

1. プリンタ LAN ケーブルを抜く
（ネットワーク障害は解消されます。）
2. 本プリンタの Ethernet タイプを正しく設定する
3. プリンタの電源スイッチを「O」側に倒して、電源を切る
4. プリンタ LAN ケーブルを接続する

プリンタの電源スイッチを「|」側に倒して、電源を入れてください。

（ネットワーク障害は解消され、本プリンタも使用できます。）

・ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
 ・ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
 ・ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、『XL-2300 取扱説明書』に記載されている「ハードウェア修理相談センター」にご相談ください。

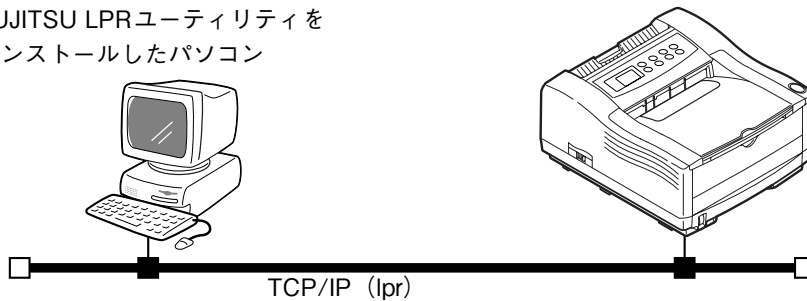
ラベルの見かたを次の図に示します。

・本プリンタは、LAN 経由でサーバプリンタとして動作するとともに、もう 1 台のパソコンをパラレルポートまたは USB ポートに接続することができます。パラレルポートまたは USB ポートと LAN ポートの両方にプリンタを接続した場合は、次の点にご注意ください。
 ・ポートは自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの切り替えに時間がかかる場合があります。
 ・片方のポートを使用している場合、もう一方のポートは使用できません。2 つのポートを同時に使用し、パソコンの画面にエラー画面などが表示された場合は、もう一方のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。

ポートの切り替え時間は、『XL-2300 取扱説明書』「第 8 章 オペレータパネルの操作」「共通メニュー画面の設定一覧」から「システムコウセイメニュー」-「ウェイト タイム」を参照

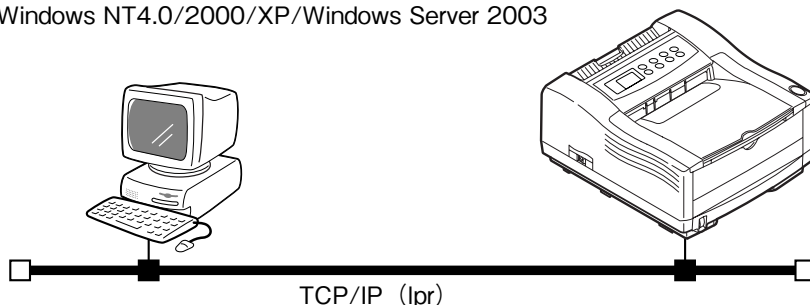
ネットワーク環境と接続例について

本プリンタを使用できるネットワーク環境をプロトコル別に紹介します。

FUJITSU LPRユーティリティ

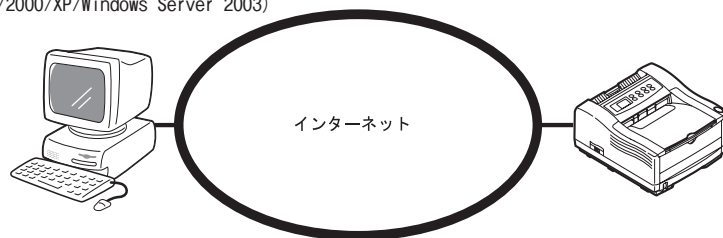
FUJITSU LPR ユーティリティとは、パソコンからネットワーク上のプリンタに、サーバなどを経由しないで印刷データを直接送信して印刷するためのソフトウェアです。
この場合、プリンタと使用するパソコンに IP アドレスを設定する必要があります。

参照　設置手順は、「第３章　ネットワークソフトウェアの使用」（47 ページ）を参照

TCP/IP（Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003）

プリンタは、TCP/IP（lpr）プロトコルをサポートしているため、Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 で動作するパソコンから、lpr で印刷データを直接送信して、印刷できます。この場合は、プリンタと Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 で動作するパソコンに、IP アドレスを設定する必要があります。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 は IPP をサポートしているため、プリンタのポートにプリンタの URL を指定してインターネット印刷ができます。

設置手順は、「第 3 章　ネットワークソフトウェアの使用」（47 ページ）を参照
インターネット印刷については、「インターネット印刷」（16 ページ）および「第 5 章　インターネット印刷の 設定」（101 ページ）を参照

インターネット印刷

本プリンタは、IPP（Internet Printing Protocol）をサポートしています。
IPP を利用すると、インターネット、またはイントラネットを経由して遠隔地のプリンタへ印刷できます。
Windows 2000/XP/Windows Server 2003 は、IPP 対応プリンタに出力するためのホストソフト（IPP ポートモニタ）を装備しているので、コントロールパネルの〔プリンタの追加〕ウィザードから、IPP 対応プリンタを指定できます。また、Windows Me は、IPP ポートモニタをインストールすることによりインターネット印刷ができます。

参照　IPP を利用する場合は、「第 5 章　インターネット印刷の 設定」（101 ページ）を参照

プリンタ LAN カードを設定する

プリンタ LAN カードを XL-2300 に取り付けることによって、ネットワーク環境での印刷が可能になります。
ここではプリンタLANカードの取り付けからネットワーク環境で使用するために必要な設定までを説明しています。

プリンタ LAN カードの特長

1 Web ブラウザによる管理

Microsoft Internet Explorer や Netscape Navigator などの Web ブラウザを利用して、ネットワークの設定やプリンタのステータスなどを表示できます。

2 SNMP に対応

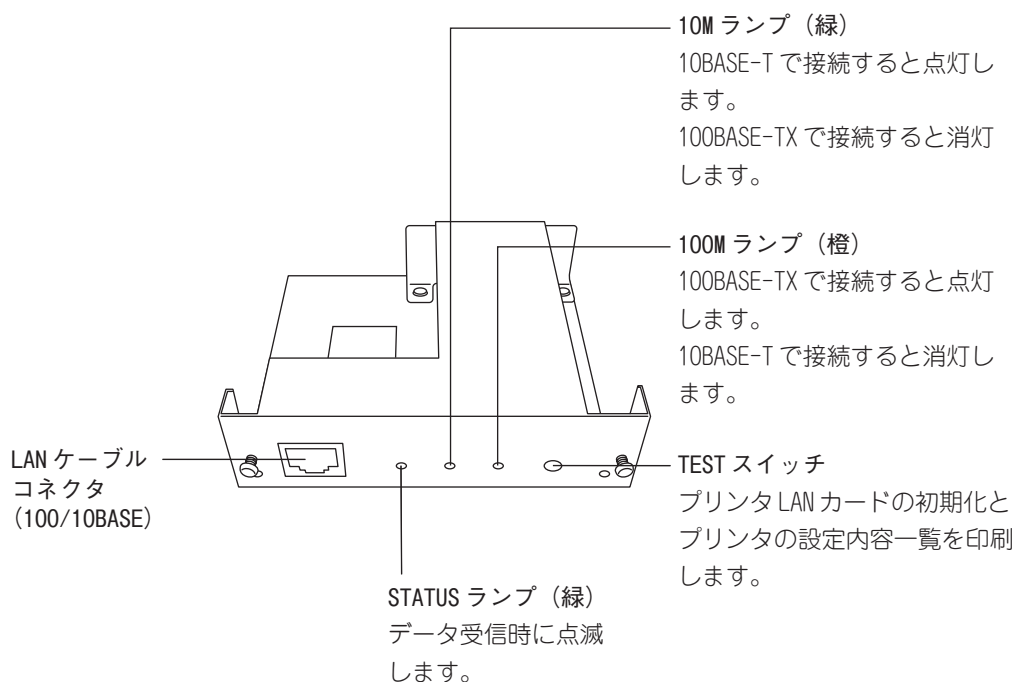
SNMP エージェントを実装しています。

3 電子メールを使用した情報通知

電子メールを使用してエラー情報や消耗品の交換時期を通知します。

4 100BASE-TX/10BASE-T に対応

100BASE-TX と 10BASE-T を自動的に切り換えます。

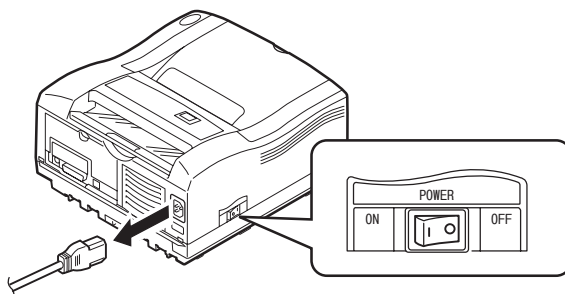
プリンタ LAN カード各部の名称

プリンタ LAN カードを取り付ける

警告

けが　作業を始める前に必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

次の手順にしたがって、プリンタ LAN カードをプリンタ本体に取り付けてください。

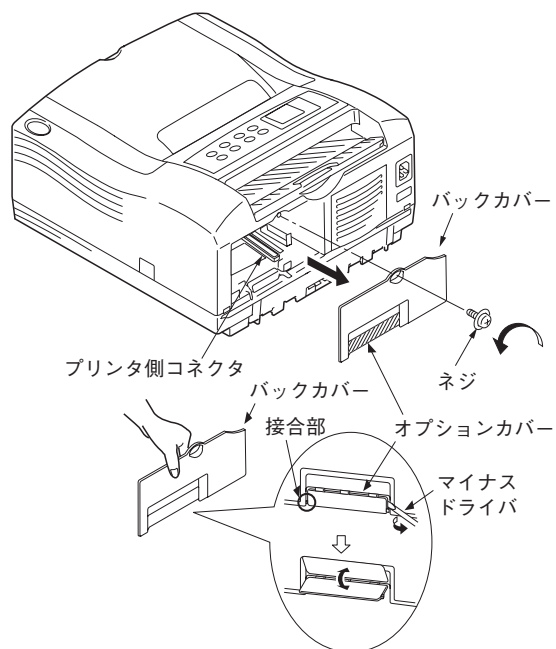
1 プリンタの電源が切れていることを確認する

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 電源コードを電源コネクタから引き抜く

ガイド

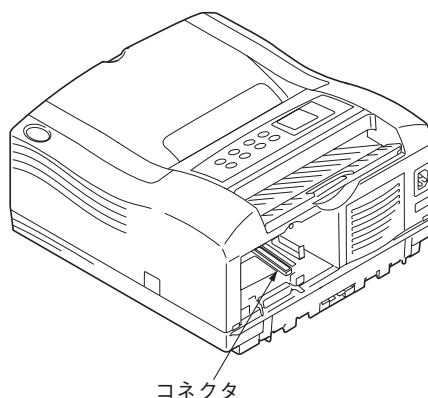
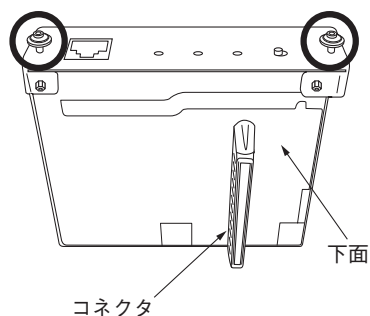
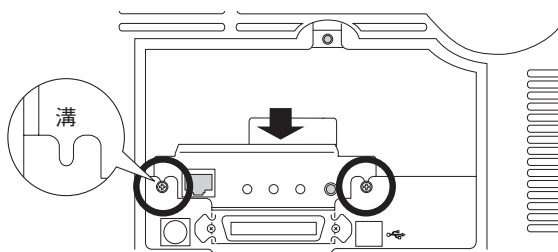
電源が入っている状態でプリンタ LAN カードを取り付けると、故障の原因となることがあります。

3 ネジをゆるめて、プリンタのバックカバーを外す

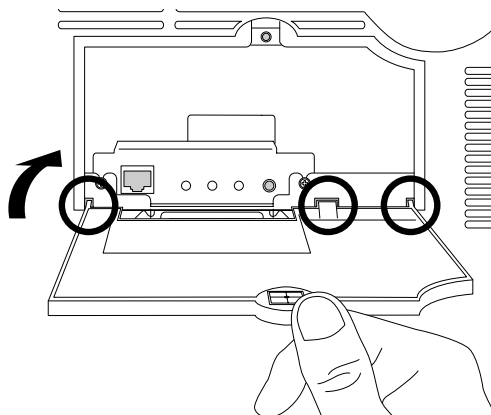
外したバックカバーを手で持ち、バックカバーとオプションカバーの間にマイナスドライバを差し込む。そのまま矢印（外側）方向にマイナスドライバを倒し、左右の接合部を外す

オプションカバーを前後に手で折り曲げて外す

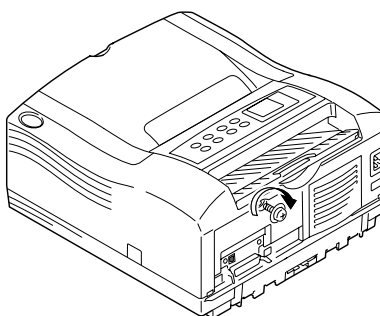
お願い

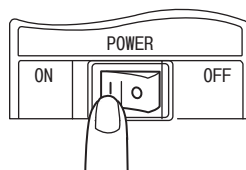
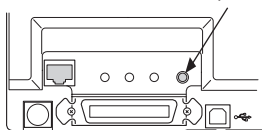
マイナスドライバをねじらないでください。ねじるとバックカバーに傷がつきます。

6 プリンタ LAN カード取り付け用ネジ（2 個）を途中まで締める

7 プリンタ LAN カードの左右のネジとプリンタ背面の溝の位置を合わせると、プリンタ LAN カード側のコネクタとプリンタ側のコネクタの位置が合う。上から押してしっかり差し込む

8 プリンタ LAN カードの左右（2 箇所）のネジをしめて固定する

注意	やけど	基板の一部が高温になっていることがあるので注意してください。また、故障の原因になるので、基板には手を触れないでください。

バックカバーの 3 箇所のツメとプリンタ背面の穴とを合わせる

10 図のようにバックカバー中央を指で持ち上げながら閉じる

11 ネジ（1 箇所）をしめて固定する

12 電源コードを接続し、プリンタの電源を入れる

電源スイッチを「｜」側に倒します。

TEST スイッチを 1 秒以上押し続けてから指を離す

プリンタの設定内容が一覧で印刷されます。

Network Information

System Information

Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information

設定内容　XL-2300

Printer Asset Number:
CU version : F0.02 [100.99 S2.4.1v4 B01.01f PPC405PS 266MHz 005 FF845520 FF84551C FF8426D8 F32]
PU version : 00.02.03 [PI02.08]
WIN Program version : 01.61
Total Memory Size : 16 MB Flash Memory : 2 MB [F32]
LCD:T1

印刷メニュー	
コピー枚数	1
手差し印刷	オフ
給紙トレイ	トレイ 1
自動トレイ切り替え	オフ
トレイ選択順序	下方向
用紙サイズチェック	無効
解像度	600 DPI
トナーセーブモード	無効
印刷方向	縦

メディアメニュー	
トレイ 1 用紙サイズ	A4 サイズ
トレイ 1 用紙タイプ	普通紙
トレイ 1 用紙厚	普通紙
手差し用紙サイズ	A4 サイズ
手差し用紙タイプ	普通紙
手差し用紙厚	普通紙
カスタムサイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル

システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	15 分
エミュレーション	WIN モード
アラーム解除	ジョブ
エラー自動解除	オフ
タイムアウト印刷	20 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン

テキストモードメニュー	
漢字フォント	自動
ANK フォント	自動
ANK コード	カタカナ
ANK ゼロ書体	ノーマル
縮小印刷	等倍
頭出し位置	8.5 ミリメートル
横オフセット	0 ミリメートル
縦オフセット	0 ミリメートル
右マージン	用紙幅
CR 機能	CR のみ
自動復改機能	CR + LF

セントロメニュー	
セントロ	有効
双方向	有効
ECP	有効
ACK 幅	狭い
ACK / BUSY タイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効

USB メニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効

NETWORK MENU	
IP ADDRESS SET	MANUAL
IP ADDRESS	10.171.138.222
SUBNET MASK	255.255.255.0
GATEWAY ADDRESS	10.171.138.1
WEB/IPP	ENABLE
SNMP	ENABLE
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE

メモリメニュー	
受信バッファサイズ	自動

システム補正メニュー	
X 補正	0.00 ミリメートル
Y 補正	0.00 ミリメートル

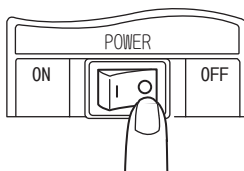
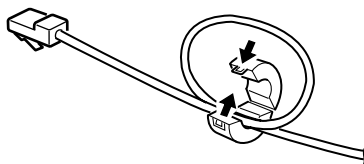
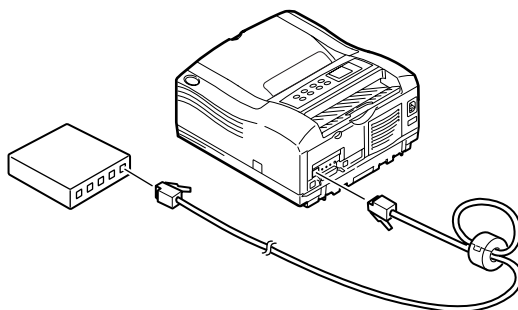
メンテナンスメニュー	
パワーセーブ機能	有効
セッティング	0
印刷濃度	0

寿命メニュー	
総印刷枚数	0 枚
ドラムユニット	残り 100 %
トナー残量	あり

ネットワークに接続する

プリンタ LAN カードの取り付けが終わったら、使用するネットワークに接続します。

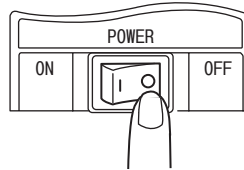
参照　ネットワークに接続する時には、「ネットワークに接続するときの注意事項」（13 ページ）を参照

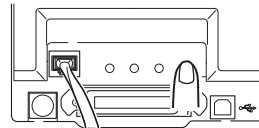
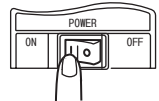
1. **プリンタ本体左側面にある電源スイッチの「○」側を押す**
   電源が切れます。

2. **添付品の LAN ケーブル用コアを、LANケーブルのプリンタに差し込むコネクタから約150mmの所に左図のように1重の輪を作って取り付ける**

3. **LANケーブルをプリンタのLANケーブルコネクタに差し込む**

4. **LAN ケーブルをネットワークに接続されているハブに差し込む**

プリンタ LAN カードを初期化する

プリンタ LAN カードを初期化します。

1 プリンタの電源が切れていることを確認する

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 TESTスイッチを押したままプリンタの電源を入れ、〔オンライン〕と表示されたら TEST スイッチから指を離す

約 30 秒間、自動的にプリンタは初期化のための準備をします。

ガイド

プリンタLANカードの初期化やネットワーク情報の設定変更後の約30秒間、オペレータパネルには〔オンライン〕と表示されます。また、ネットワーク環境等の状況によっても 2 ～ 3 分間オペレータパネルに〔オンライン〕と表示される場合があります。この間、プリンタは初期化のための準備をしています。
準備が完了するとオペレータパネルの表示は〔ネットワーク　ショキカチュウ〕に変わり、初期化、設定変更、システムの再立ち上げを行います。システムの再立ち上げが完了するまでは、オペレータパネルの操作や電源の投入 / 切断などは行わないでください。システムの再立ち上げが完了しないと、初期化前の設定や設定内容の印刷を行っても、Network Information（2 ページ目）が印刷されない場合があります。このようなときには、再度、プリンタ LAN カードを初期化してください。プリンタは問題なく復旧します。

設定内容の一覧を印刷する

プリンタに取り付けたオプション品の情報など現在のプリンタに設定されている内容を一覧で印刷します。

プリンタ本体左側面にある電源スイッチが入っていることを確認する

電源スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

TEST スイッチを 1 秒以上押し続けてから指を離す

プリンタの設定内容が一覧で印刷されます。

NetWork Information（2 ページ目）の「General Information」-「Hub Link Status」が〔OK(***)〕と記載されていることを確認してください。

「General Information」-「Hub Link Status」が〔Link Fail〕の場合は、ネットワーク接続に失敗しています。「第 7 章　ネットワーク利用時の トラブル対処方法」-「プリンタ設置時のトラブル」（148 ページ）を参照し、ネットワークの接続を完了してください。

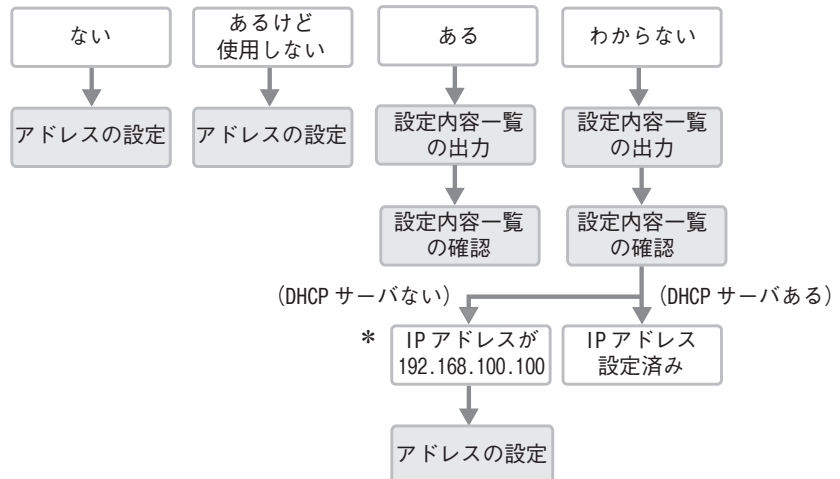
オペレータパネルの操作により設定内容の一覧を印刷する場合は、『XL-2300 取扱説明書』「第 7 章　日常のメンテナンス」「設定内容を印刷する」を参照

IP アドレスを設定する

ここでは、IP アドレスの設定方法について説明します。
ネットワーク環境によっては、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク上に DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol) を起動している Windows NT4.0/2000/XP ホストがある場合、本プリンタはこれらのアドレス情報を DHCP サーバから取得できます。
なお、工場出荷時の設定では、これらのアドレスを DHCP サーバから自動的に取得するようになっています。

設定の流れ

DHCP サーバがあるかどうかわからないときは、ここで説明する手順にしたがって、DHCP サーバの有無を確認してください。DHCP サーバがあった場合は、IP アドレスは自動的に設定されるので IP アドレスの入力は不要です。なかった場合は、「アドレスを設定する」(29 ページ)を参照し、IP アドレスを設定してください。

DHCP サーバの確認

お願い

＊で IP アドレスが〔192.168.100.100〕になった場合は、DHCP サーバがない状態を示しています。設定可能な IP アドレスを確認し、設定し直してください。
また、ネットワーク接続に失敗した場合も IP アドレスが〔192.168.100.100〕になります。このようなときは、「第７章　ネットワーク利用時の　トラブル対処方法」-「プリンタ設置時のトラブル」（148 ページ）を参照し、ネットワークに接続してください。

ガイド

DHCP 環境や IP アドレスについて不明な点は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

設定内容一覧の出力

1 設定内容の一覧を印刷する

参照 「設定内容の一覧を印刷する」（26 ページ）を参照

2 設定内容一覧 1 枚目の〔NETWORK MENU〕項目にある「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GATEWAY ADDRESS」のアドレスを確認する

参照 設定内容一覧の確認方法については、次の「設定内容一覧の確認」を参照

設定内容一覧の確認

● TCP/IP アドレスが取得されていない場合

DHCP サーバは存在しません。「アドレスを設定する」（29 ページ）を参照し、IP アドレスを設定してください。

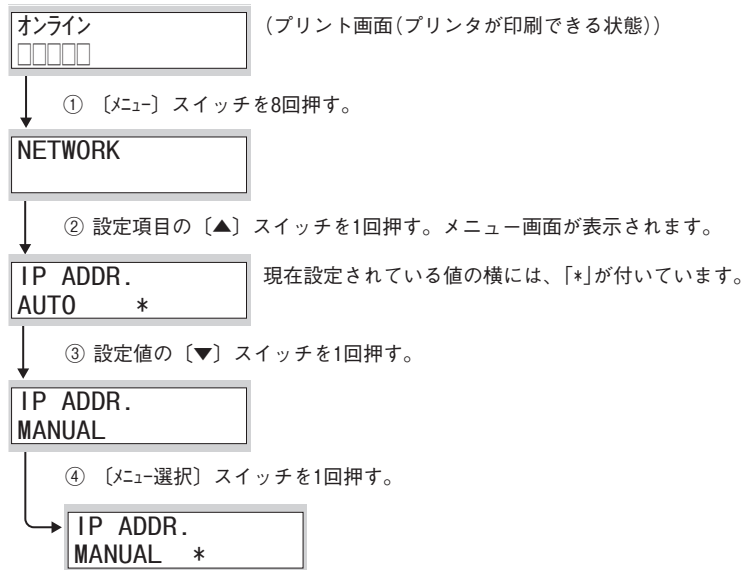
● TCP/IP にアドレスが取得されている場合

DHCP サーバが稼動しているので、DHCP 環境を使用することをお勧めします。本プリンタの IP アドレスは、DHCP サーバが設定します。

アドレスを設定する

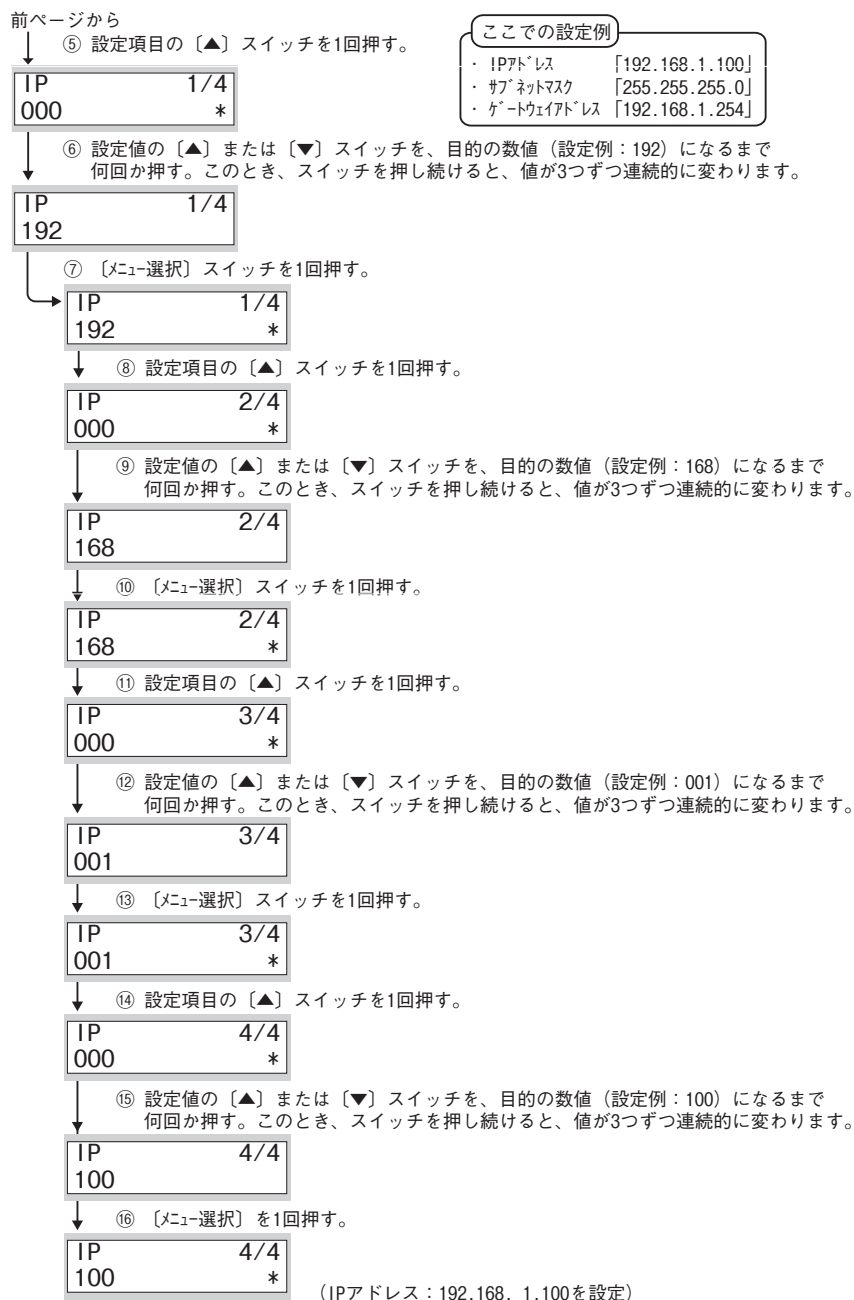
ここでは、オペレータパネルで IP アドレスを設定する手順について説明します。使用するネットワーク環境によって、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定も必要です。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。

参照　オペレータパネルの操作方法については、『XL-2300 取扱説明書』「第 8 章　オペレータパネルの操作」を参照

IPアドレスの取得方法を【MANUAL】に設定

続いて IP アドレスの設定を行います。

IPアドレスの設定

ガイド

IP アドレスは、小数点で区切られた 4 つの数値 (10 進数) を設定します。それぞれの 10 進数は、0 ～ 255 までの値で設定します。

続いてサブネットマスクの設定を行います。

ガイド

途中で、どの階層のメニューが表示されているのかわからなくなった場合は、『XL-2300 取扱説明書』「第 8 章　オペレータパネルの操作」の「共通メニュー画面の設定一覧」を参照して、メニュー全体の構成を確認してください。

サブネットマスクの設定

前ページから

⑰ 設定項目の〔▲〕スイッチを1回押す。（IPアドレスの設定時と同様）

MASK　　1/4
000　　　＊

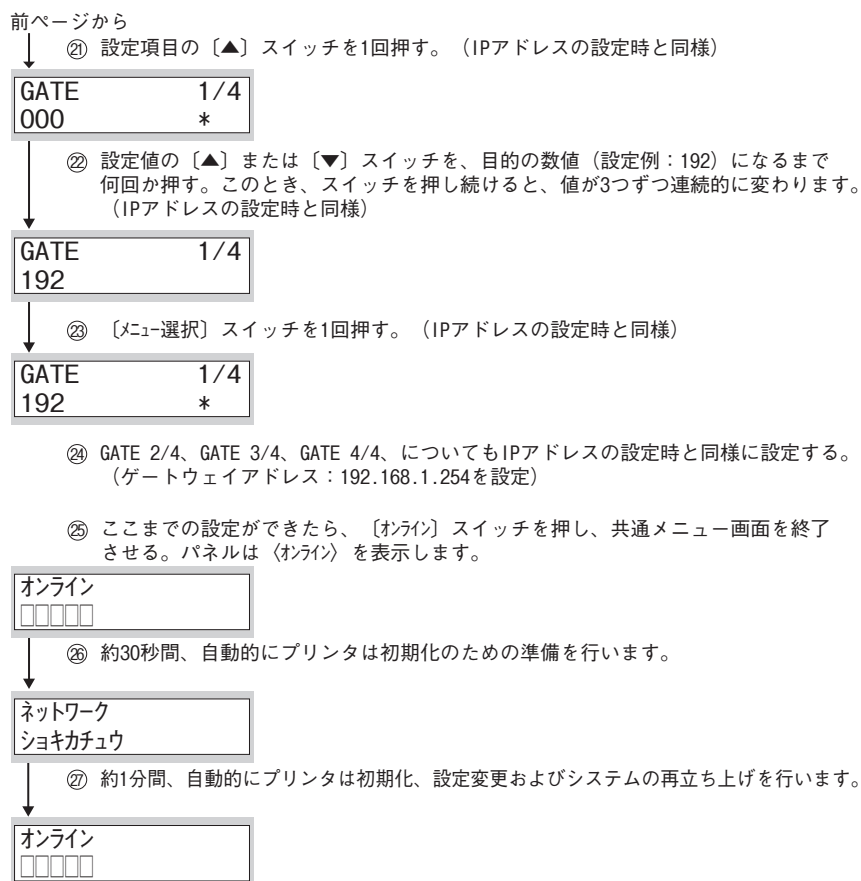
⑱ 設定値の〔▲〕または〔▼〕スイッチを、目的の数値（設定例：255）になるまで何回か押す。このとき、スイッチを押し続けると、値が3つずつ連続的に変わります。（IPアドレスの設定時と同様）

⑲ 〔ﾒﾆｭｰ選択〕を1回押す。（IPアドレスの設定時と同様）

MASK　　1/4
255　　　＊

⑳ MASK 2/4、MASK 3/4、MASK 4/4、についてもIPアドレスの設定時と同様に設定する。（サブネットマスク：255.255.255.0を設定）

続いてゲートウェイアドレスの設定を行います。

ゲートウェイアドレスの設定

前ページから

㉑ 設定項目の〔▲〕スイッチを1回押す。（IPアドレスの設定時と同様）

```
GATE          1/4
000            *
```

㉒ 設定値の〔▲〕または〔▼〕スイッチを、目的の数値（設定例：192）になるまで何回か押す。このとき、スイッチを押し続けると、値が3つずつ連続的に変わります。（IPアドレスの設定時と同様）

```
GATE          1/4
192
```

㉓ 〔ﾒﾆｭｰ選択〕スイッチを1回押す。（IPアドレスの設定時と同様）

```
GATE          1/4
192            *
```

㉔ GATE 2/4、GATE 3/4、GATE 4/4、についてもIPアドレスの設定時と同様に設定する。（ゲートウェイアドレス：192.168.1.254を設定）

㉕ ここまでの設定ができたら、〔ｵﾝﾗｲﾝ〕スイッチを押し、共通メニュー画面を終了させる。パネルは〈ｵﾝﾗｲﾝ〉を表示します。

㉖ 約30秒間、自動的にプリンタは初期化のための準備を行います。

```
ﾈｯﾄﾜｰｸ
ｼｮｷｶﾁｭｳ
```

㉗ 約1分間、自動的にプリンタは初期化、設定変更およびシステムの再立ち上げを行います。

```
ｵﾝﾗｲﾝ
□□□□□
```

ガイド

プリンタLANカードの初期化やネットワーク情報の設定変更後の約30秒間、オペレータパネルには〔オンライン〕と表示されます。また、ネットワーク環境等の状況によっても２～３分間オペレータパネルに〔オンライン〕と表示される場合があります。この間、プリンタは初期化のための準備をしています。
準備が完了するとオペレータパネルの表示は〔ネットワーク　ショキカチュウ〕に変わり、初期化、設定変更、システムの再立ち上げを行います。システムの再立ち上げが完了するまでは、オペレータパネルの操作や電源の投入／切断などは行わないでください。システムの再立ち上げが完了しないと、初期化前の設定や設定内容の印刷を行っても、Network Information（2 ページ目）が印刷されない場合があります。このようなときには、再度、プリンタ LAN カードを初期化してください。

設定内容の一覧を印刷する

設定内容の一覧を印刷し、IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。

参照　確認方法については「設定内容の一覧を印刷する」（26 ページ）を参照

IP アドレス以外を設定する

オペレータパネルの操作により IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス以外に下記 3 項目のネットワークプリンタの設定が行えます。必要な項目を設定してください。

参照　オペレータパネルの操作方法については、『XL-2300 取扱説明書』「第 8 章　オペレータパネルの操作」を参照

<table>
<tr><th rowspan="2">カテゴリ</th><th colspan="2">オペレータパネルの表示</th><th rowspan="2">内容</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>設定項目（上段）</th><th>設定項目（下段）</th></tr>
<tr><td rowspan="9">NETWORK</td><td rowspan="2">WEB/IPP</td><td>ENABLE（工場出荷時）</td><td rowspan="2">Printia LASER Internet Service / インターネット印刷の有効 / 無効を設定します。
Printia LASER Internet Serviceとインターネット印刷を使用されないときに〔DISABLE〕にしてください。</td><td rowspan="2">「第 6 章　Printia LASER Internet Service」(113 ページ)「第 5 章　インターネット印刷の　設定」(101 ページ) 参照</td></tr>
<tr><td>DISABLE</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SNMP</td><td>ENABLE（工場出荷時）</td><td rowspan="2">SNMPエージェントの有効/無効を設定します。SNMP エージェント（SNMP トラップ発行等）を使用されないときに〔DISABLE〕にしてください。</td><td rowspan="2">ガイド
〔DISABLE〕にすると、FUJITSU LPR ユーティリティのIPアドレスの検索 / 設定ができません。</td></tr>
<tr><td>DISABLE</td></tr>
<tr><td rowspan="5">HUB LINK</td><td>AUTO（工場出荷時）</td><td rowspan="5">ハブとの接続タイプ（規格）を設定します。通常は〔AUTO(工場出荷時設定)〕にしてください。〔AUTO〕で接続できない場合に、ハブユニットと同じタイプ（規格）にしてください。</td><td rowspan="5">お願い
「HUB LINK」の設定変更後に、プリンタの電源を再投入しない場合、ネットワークに接続できないことがあります。
「HUB LINK」の設定変更後は、かならず電源を再投入してください。</td></tr>
<tr><td>100FULL</td></tr>
<tr><td>100HALF</td></tr>
<tr><td>10FULL</td></tr>
<tr><td>10HALF</td></tr>
</table>

ガイド

ネットワーク情報の設定変更後の約 30 秒間、オペレータパネルには〔オンライン〕と表示されます。また、ネットワーク環境等の状況によっても 2 ～ 3 分間オペレータパネルに〔オンライン〕と表示される場合があります。この間、プリンタは初期化のための準備をしています。準備が完了するとオペレータパネルの表示は〔ネットワーク　ショキカチュウ〕に変わり、初期化、設定変更、システムの再立ち上げを行います。システムの再立ち上げが完了するまでは、オペレータパネルの操作や電源の投入 / 切断などは行わないでください。システムの再立ち上げが完了しないと、初期化前の設定や設定内容の印刷を行っても、Network Information（2 ページ目）が印刷されない場合があります。このようなときには、再度、プリンタ LAN カードを初期化してください。プリンタは問題なく復旧します。

第２章

プリンタドライバのインストール

この章では、プリンタドライバをインストールする手順について説明します。

ローカルプリンタとしてプリンタドライバを設定する

ここではローカルプリンタとしてプリンタドライバを設定する方法を説明します。
本プリンタとパソコンの接続方法およびご使用になる OS からインストール方法を選択してください。

・Windows 98/Me/NT4.0/2000 の場合 ....38 ページ
・Windows XP/Windows Server 2003 の場合 ....40 ページ

Windows 98/Me/NT4.0/2000 の場合

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
ここでは、Windows 98 を例に説明します。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows 98/Me/NT4.0/2000 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

お願い

インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「README.TXT」をお読みください。(CD-ROM ドライブが F の場合、「F:¥XL2300¥Readme.txt」を参照してください。)

1. Windows を起動する

   お願い

   Windows NT4.0/2000 が動作するパソコンをご利用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。

2. プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする
3. 〔スタート〕－〔ファイル名を指定して実行〕の順にクリックする
4. 〈名前〉に CD-ROM ドライブ名と「Setup.exe」と入力し、〔OK〕をクリックする。(CD-ROM ドライブが F の場合、「F:¥Setup.exe」と入力してください。)

   富士通 Printia LASER シリーズセットアップが起動します。

5. 〔FUJITSU XL-2300〕を選択し、〔OK〕をクリックする

6 〔ローカルプリンタ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

7 ポートで〔LPT1〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

8 プリンタの機種名〔FUJITSU XL-2300〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

9 プリンタ名を入力し、〔通常使うプリンタに設定する〕にチェックをつけ、〔次へ〕をクリックする

Windows 98/Me をご使用の場合、ここでファイルのコピーが行われます。

ガイド

Windows 2000/NT4.0 をご使用の場合、〔プリンタの共有〕が表示されたら、〔共有しない〕を選択し、〔次へ〕をクリックしてください。Windows NT4.0では、ファイルのコピーが行われます。また、Windows 2000 をご使用の場合、〔デジタル署名が見つかりませんでした〕と表示されたら、〔はい〕をクリックしてください。ファイルのコピーが行われます。

10 〔完了〕をクリックする

11 〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択する

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
以上でインストールは完了です。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

ここでは、Windows XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows XP/Windows Server 2003 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

お願い

- インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「README.TXT」をお読みください。(CD-ROM ドライブが F の場合、F:¥XL2300¥Readme.txt」を参照してください。)
- プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

1 **Windows を起動し、管理者権限でログオンする**

2 **〔プリンタの追加ウィザード〕を起動する**

Windows XP の場合：
〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタと FAX〕の順に選択し、〔プリンタのインストール〕をクリックします。
Windows Server 2003 の場合：
〔スタート〕－〔プリンタと FAX〕の順に選択し、〔プリンタの追加〕をクリックします。

3 **〔プリンタの追加ウィザード〕が起動したら、〔次へ〕をクリックする**

4 **〔このコンピュータに接続されているローカルプリンタ〕を選択し、〔プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする〕のチェックを外して、〔次へ〕をクリックする**

5 **〔次のポートを使用〕を選択し、「LPT1：(推奨プリンタポート)」を選択し、〔次へ〕をクリックする**

6 **〔ディスク使用〕をクリックする**

7 **〔フロッピーディスクからインストール〕が表示されたら、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をセットし、〔製造元のファイルのコピー元〕に「F：¥XL2300¥WIN2KXP」(CD-ROMドライブがFの場合)と入力し、〔OK〕をクリックする**

8 〔FUJITSU XL-2300〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

> **ガイド**
> 既に他のドライバがインストールされている場合は、〈既存のドライバを使う〉と表示されたら、「新しいドライバに置き換える」を選択し、〔次へ〕をクリックしてください。

9 プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、〔次へ〕をクリックする

10 〔このプリンタを共有しない〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

11 〔テストページを印刷しますか？〕で〔いいえ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

12 〈プリンタの追加ウィザードの完了〉と表示されたら、〔完了〕をクリックする

13 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、〔続行〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。
〔プリンタと FAX〕フォルダにプリンタアイコンが表示されていることを確認してください。

以上でインストールは完了です。

ネットワークプリンタとしてプリンタドライバを設定する

ここではネットワークプリンタとしてプリンタドライバを設定する方法を説明します。
本プリンタとパソコンの接続方法およびご使用になる OS からインストール方法を選択してください。

・Windows 98/Me/NT4.0/2000 の場合 ....42 ページ
・Windows XP/Windows Server 2003 の場合 ....44 ページ

Windows 98/Me/NT4.0/2000 の場合

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
ここでは、Windows 98 を例に説明します。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows 98/Me/NT4.0/2000 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

お願い

インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「README.TXT」をお読みください。(CD-ROM ドライブが F の場合、「F:¥XL2300¥Readme.txt」を参照)

1. **Windows を起動する**

   お願い

   Windows NT4.0/2000 が動作するパソコンをご利用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。

2. **プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする**

3. **〔スタート〕−〔ファイル名を指定して実行〕の順にクリックする**

4. **〈名前〉に CD-ROM ドライブ名と「Setup.exe」と入力し、〔OK〕をクリックする。(CD-ROM ドライブが F の場合、「F:¥Setup.exe」と入力してください。)**

   富士通 Printia LASER シリーズセットアップが起動します。

5. **〔FUJITSU XL-2300〕を選択し、〔OK〕をクリックする**

6 〔ネットワークプリンタ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

7 〔TCP/IP プロトコル〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

8 プリンタの検索方法を選択する

プリンタの IP アドレスが既知の場合：
IP アドレスのラジオボタンにチェックをつけ、プリンタの IP アドレスを入力し、〔次へ〕をクリックします。
プリンタの IP アドレスが不明の場合：
検索するサブネットのラジオボタンにチェックをつけ、サブネットを入力し、〔次へ〕をクリックします。
※デフォルトでは「255.255.255.255」が指定されています。

9 プリンタの機種名〔FUJITSU XL-2300〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

10 プリンタ名を入力し、〔通常使うプリンタに設定する〕にチェックをつけ、〔次へ〕をクリックする

Windows 98/Me をご使用の場合、ここでファイルのコピーが行われます。

ガイド

Windows 2000/NT4.0 をご使用の場合、〔プリンタの共有〕が表示されたら、〔共有しない〕を選択し、〔次へ〕をクリックしてください。Windows NT4.0では、ファイルのコピーが行われます。また、Windows 2000 をご使用の場合、〔デジタル署名が見つかりませんでした〕と表示されたら、〔はい〕をクリックしてください。ファイルのコピーが行われます。

11 〔XL-2300 の接続先を "FJLPRXX" に変更しました〕と表示されるので、〔OK〕をクリックする

XX はポート名に自動付与される数字です。
FUJITSU LPR ユーティリティがインストールされていない場合は、ドライバのインストール後自動的にインストールされます。画面表示にしたがってインストールしてください。

12 〔完了〕をクリックする

13 〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択する

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
以上でインストールは完了です。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

ここでは、Windows XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows XP/Windows Server 2003 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

お願い

- インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「README.TXT」をお読みください。(CD-ROM ドライブが F の場合、「 F:¥XL2300¥Readme.txt 」を参照してください。)
- プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

1. Windows を起動し、管理者権限でログオンする
2. プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする
3. 〔スタート〕－〔ファイル名を指定して実行〕の順にクリックする
4. 〈名前〉に CD-ROM ドライブ名と「Setup.exe」と入力し、〔OK〕をクリックする。(CD-ROM ドライブが F の場合、「F:¥Setup.exe」と入力してください。)
   富士通 Printia LASER シリーズセットアップが起動します。
5. 〔FUJITSU XL-2300〕を選択し、〔OK〕をクリックする
6. 〔ネットワークプリンタ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
7. 〔TCP/IP プロトコル〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

8 プリンタの検索方法を選択する

プリンタの IP アドレスが既知の場合：
IP アドレスのラジオボタンにチェックをつけ、プリンタの IP アドレスを入力し、〔次へ〕をクリックします。
プリンタの IP アドレスが不明の場合：
検索するサブネットのラジオボタンにチェックをつけ、サブネットを入力し、〔次へ〕をクリックします。
※デフォルトでは「255.255.255.255」が指定されています。

9 プリンタの機種名〔FUJITSU XL-2300〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

10 プリンタ名を入力し、〔通常使うプリンタに設定する〕にチェックをつけ、〔次へ〕をクリックする

ガイド

Windows XP/Windows Server 2003 をご使用の場合、〔プリンタの共有〕が表示されたら、〔共有しない〕を選択し、〔次へ〕をクリックしてください。
〔ハードウェアのインストール画面〕が表示されたら、〔継続〕をクリックしてください。ファイルのコピーが開始されます。

11 〔XL-2300 の接続先を "FJLPRXX" に変更しました〕と表示されるので、〔OK〕をクリックする

XX はポート名に自動付与される数字です。
FUJITSU LPR ユーティリティがインストールされていない場合は、ドライバのインストール後自動的にインストールされます。画面表示にしたがってインストールしてください。

12 〔完了〕をクリックする

13 〔スタート〕－〔プリンタと FAX〕の順に選択する

Windows Server 2003 は〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタと FAX〕フォルダにプリンタにアイコンが表示されていることを確認してください。
以上でインストールは完了です。

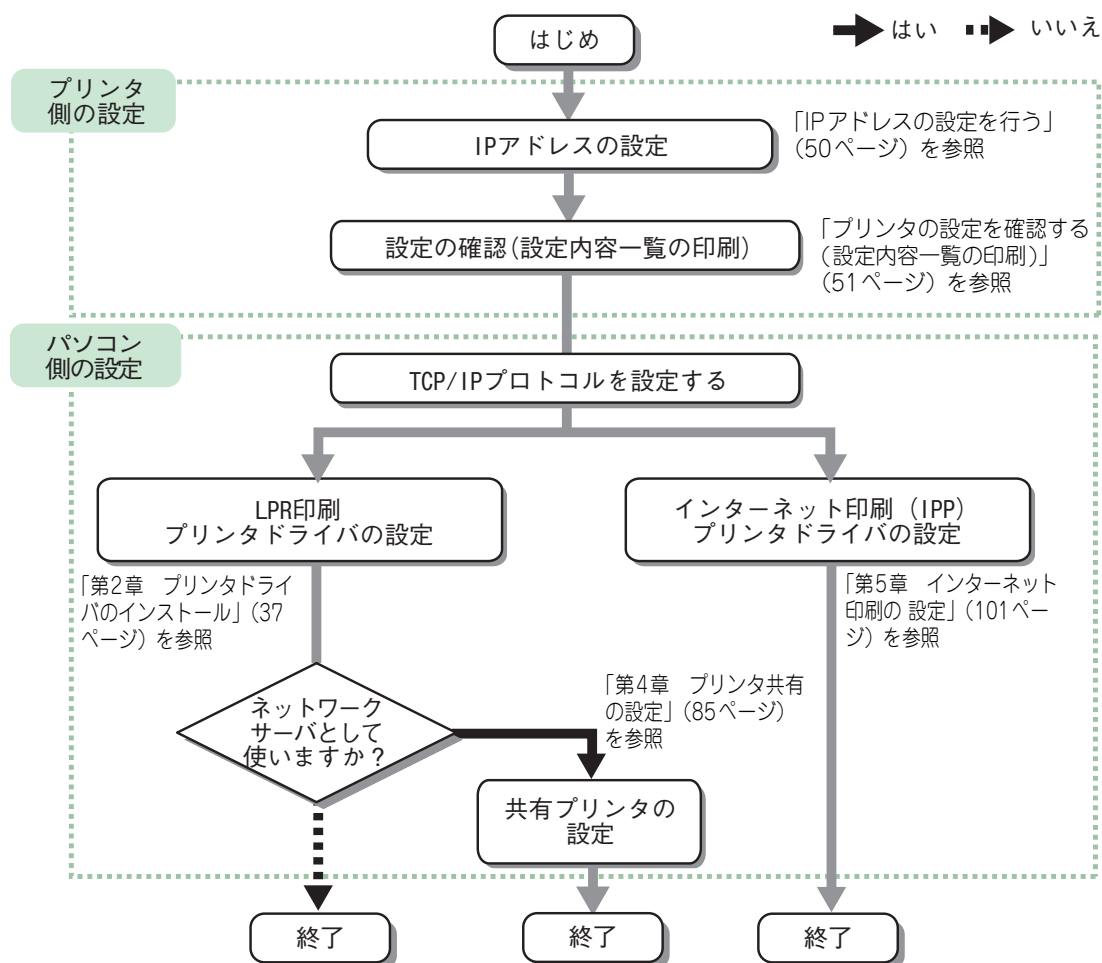
参照 「第 3 章　ネットワークソフトウェアの使用」
「FUJITSU LPR ユーティリティを使用する場合」(62 ページ)、「FUJITSU LPR ユーティリティを使用しない場合」(75 ページ) を参照

第3章

ネットワークソフトウェアの使用

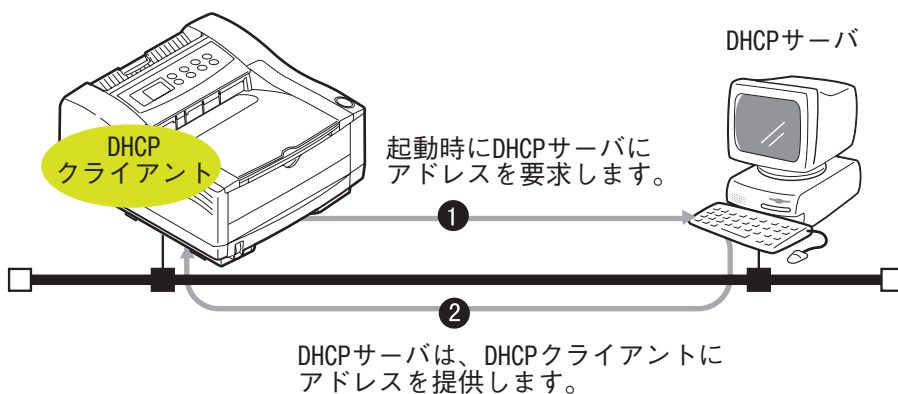
この章では、ネットワークソフトウェアのインストール方法や使用方法について説明します。

ネットワーク環境で使用する

ここでは、本プリンタをネットワーク環境に直結して使用する方法について説明します。以降の操作は、プリンタとパソコンがネットワークに接続されていることを前提としています。プリンタとパソコンがネットワークに接続されていない場合は、接続してから次の操作を行ってください。
全体のながれは次のようになります。

プリンタ側の設定を行う

ここでは、ネットワーク環境で使用するためのプリンタ側の設定について説明します。

ネットワーク環境で使用するためには、プリンタに次の項目を設定する必要があります。
・IP アドレス
・サブネットマスク
・ゲートウェイアドレス

プリンタを接続するネットワークに DHCP サーバがある場合は、プリンタの電源を入れたときに、これらの項目を DHCP サーバから自動的に取得することもできます。

DHCP サーバがない場合には、管理者が割り当てた固定のアドレスをオペレータパネルで設定します。

ガイド

・DHCP で運用する場合には、IP アドレスが変更されることがあります。このときは、定期的に IP アドレスを確認して使用してください。
・DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol) は、DHCP サーバから DHCP クライアントに IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルです。プリンタを接続するネットワークに DHCP 環境があるかどうかは、ネットワーク管理者に確認してください。

IP アドレスの設定を行う

ここでは、IP アドレスの設定について説明します。

DHCPサーバから IPアドレスを取得する場合

ネットワーク上に DHCP サーバが存在し、プリンタ側の「NETWORK」-「IP ADDR.」が〔AUTO〕に設定されている場合は、IP アドレスは自動的に取得されるためプリンタ側の設定は不要です。
工場出荷時の「IP ADDR.」は〔AUTO〕に設定されています。
「IP ADDR.」の設定を変更している場合は、〔AUTO〕に設定し直してください。

参照　設定方法については、「アドレスを設定する」（29 ページ）を参照

オペレータパネルで IPアドレスを設定する場合

オペレータパネルを使用して、「 IP ADDR. 」を〔MANUAL〕に設定したあと、IP アドレスやサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します。

ガイド

IP アドレスは、ネットワークシステム全体で管理されています。誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。割り当てる IP アドレスは、ネットワーク管理者に確認してから設定してください。

参照　設定方法については、「アドレスを設定する」（29 ページ）を参照

プリンタの設定を確認する（設定内容一覧の印刷）

設定内容の一覧を印刷して、設定内容を確認します。

ガイド

印刷される項目は、プリンタの機種やオプション品の取り付け状態によって異なります。印刷方法については、「設定内容の一覧を印刷する」（26 ページ）を参照してください。

Network Information

System Information

Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information

設定内容　XL-2300

Printer Asset Number:
CU version : F0.02 [100.99 S2.4.1v4 B01.01f PPC405PS 266MHz 005 FF845520 FF84551C FF8426D8 F32]
PU version : 00.02.03 [P102.08]
WIN Program version : 01.61
Total Memory Size : 16 MB Flash Memory : 2 MB [F32]
LCD:T1

項目	設定
印刷メニュー	
コピー枚数	1
手差し印刷	オフ
給紙トレイ	トレイ 1
自動トレイ切り替え	オフ
トレイ選択順序	下方向
用紙サイズチェック	無効
解像度	600 DPI
トナーセーブモード	無効
印刷方向	縦
メディアメニュー	
トレイ 1 用紙サイズ	A4 サイズ
トレイ 1 用紙タイプ	普通紙
トレイ 1 用紙厚	普通紙
手差し用紙サイズ	A4 サイズ
手差し用紙タイプ	普通紙
手差し用紙厚	普通紙
カスタムサイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル
システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	15 分
エミュレーション	WIN モード
アラーム解除	ジョブ
エラー自動解除	オフ
タイムアウト印刷	20 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
テキストモードメニュー	
漢字フォント	自動
ANK フォント	自動
ANK コード	カタカナ
ANK ゼロ書体	ノーマル
縮小印刷	等倍
頭出し位置	8.5 ミリメートル
横オフセット	0 ミリメートル
縦オフセット	0 ミリメートル
右マージン	用紙幅
CR 機能	CR のみ
自動復改機能	CR + LF
セントロメニュー	
セントロ	有効
双方向	有効
ECP	有効
ACK 幅	狭い
ACK / BUSY タイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
USB メニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効
シリアルナンバ	有効
NETWORK MENU	
IP ADDRESS SET	MANUAL
IP ADDRESS	10.171.138.222
SUBNET MASK	255.255.255.0
GATEWAY ADDRESS	10.171.138.1
WEB/IPP	ENABLE
SNMP	ENABLE
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE

項目	設定
メモリメニュー	
受信バッファサイズ	自動
システム補正メニュー	
X 補正	0.00 ミリメートル
Y 補正	0.00 ミリメートル
メンテナンスメニュー	
パワーセーブ機能	有効
セッティング	0
印刷濃度	0
寿命メニュー	
総印刷枚数	0 枚
ドラムユニット	残り 100 %
トナー残量	あり

パソコン側の設定を行う

ネットワーク環境で使用するためのパソコン側の設定について説明します。

TCP/IP プロトコルを設定する

TCP/IP プロトコルの設定方法を OS ごとに説明します。ご使用になる OS を確認し、該当するページを参照してください。

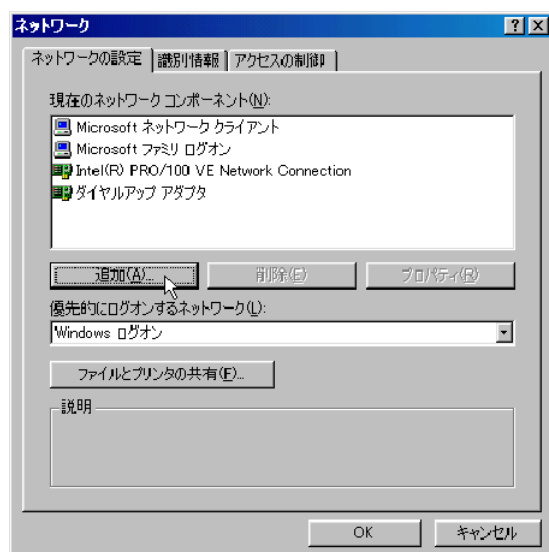
・Windows 98/Me .... 52 ページ
・Windows NT4.0 .... 55 ページ
・Windows 2000 .... 57 ページ
・Windows XP/Windows Server 2003.......... 59 ページ

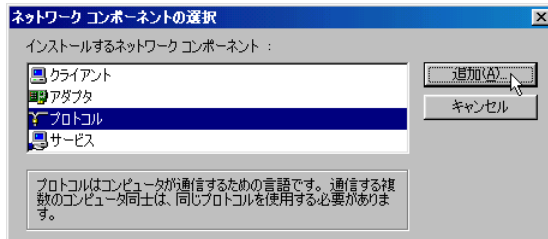
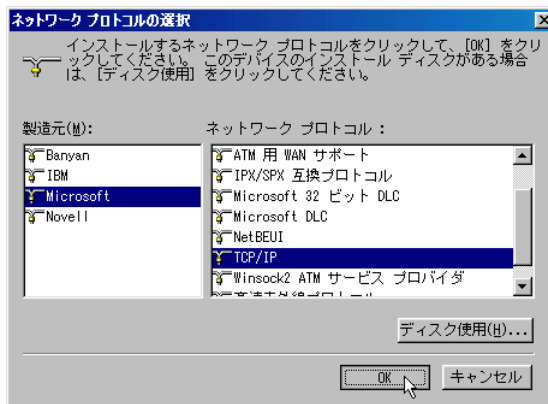
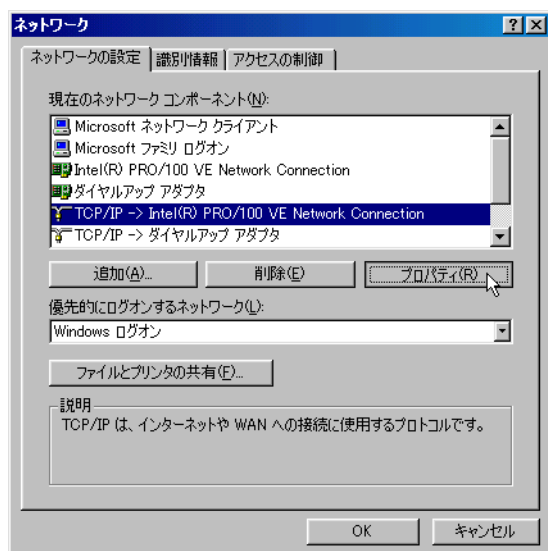
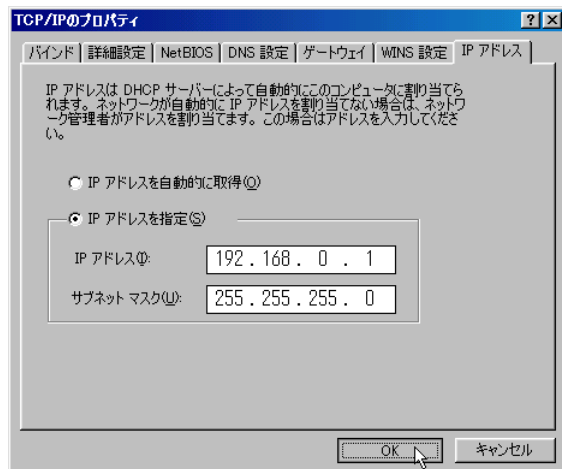
Windows 98/Meの場合

Windows 98/Me が動作するパソコンをご使用になっている場合の TCP/IP プロトコルの設定方法について説明します。ここでは、Windows 98 を例に説明します。

1 〔スタート〕－〔設定〕－〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワーク〕アイコンをダブルクリックする

Windows Me で〔ネットワーク〕が表示されない場合は、〔すべてのコントロールパネルのオプションを表示する〕をクリックします。
〔現在のネットワークコンポーネント〕に〔TCP/IP -> ***（*** はアダプタ名）〕が表示されている場合は、手順5へ進んでください。

2 〔追加〕をクリックする

〔ネットワークコンポーネントの選択〕ダイアログで〔プロトコル〕を選択し、〔追加〕をクリックする

ご使用になる OS によって、次のダイアログが表示されます。
Windows 98 の場合：　〔ネットワークコンポーネントの選択〕
Windows Me の場合：　〔ネットワークコンポーネントの種類の選択〕

4 〈製造元〉で〔Microsoft〕を、〈ネットワークプロトコル〉で〔TCP/IP〕を選択し、〔OK〕をクリックする

5 〔TCP/IP -> ***〕（*** はアダプタ名）を選択し、〔プロパティ〕をクリックする

6 ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合は、〔IP アドレスを自動的に取得〕に設定する
DHCP サーバが存在しない場合は、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を設定し、最後に〔OK〕をクリックする

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS について不明な点は、ネットワーク管理者に確認してください。

7 Windows を再起動する

Windows NT4.0の場合

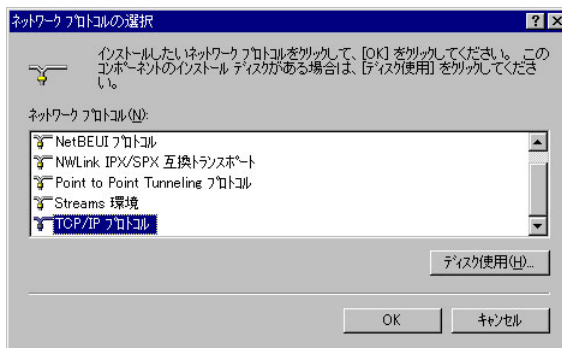
Windows NT4.0 が動作するパソコンをご使用になっている場合の TCP/IP プロトコルの設定方法について説明します。

1. 〔スタート〕－〔設定〕－〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワーク〕アイコンをダブルクリックする

2. 〔プロトコル〕タブをクリックする

〈ネットワークプロトコル〉に〔TCP/IP プロトコル〕が表示されている場合は、手順5へ進んでください。

3. 〔追加〕をクリックする

4. 〔TCP/IP プロトコル〕を選択し、〔OK〕をクリックする

5 〔TCP/IP プロトコル〕を選択し、〔プロパティ〕をクリックする

6 ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合は、〔DHCP サーバーから IP アドレスを取得する〕に設定する
DHCP サーバが存在しない場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイ、DNS を設定し、最後に〔OK〕をクリックする

ガイド

デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、設定する必要はありません。
IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS について不明な点は、ネットワーク管理者に確認してください。

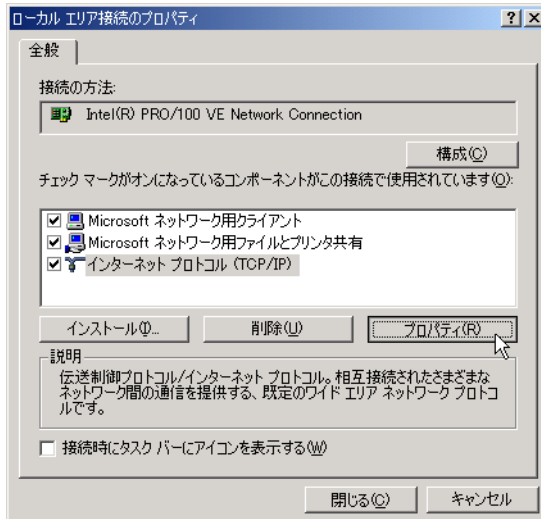
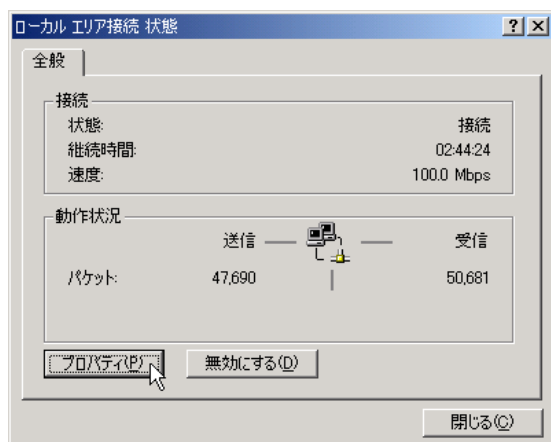
Windows を再起動する

Windows 2000の場合

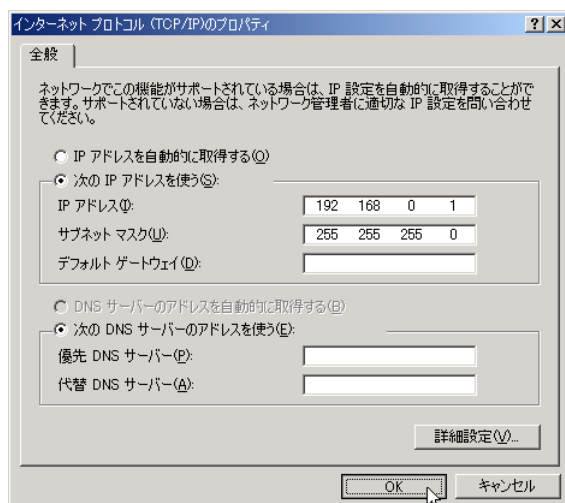
Windows 2000 が動作するパソコンをご使用になっている場合の TCP/IP プロトコルの設定方法について説明します。

1 〔スタート〕-〔設定〕-〔ネットワークとダイアルアップ接続〕の順にクリックする

2 〔ローカルエリア接続〕をダブルクリックする

3 〔プロパティ〕をクリックする

〔インターネットプロトコル（TCP/IP）〕を選択し、〔プロパティ〕をクリックする

ネットワーク上にDHCPサーバが存在する場合は、〔IPアドレスを自動的に取得する〕に設定する
DHCPサーバが存在しない場合は、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイ、DNSを設定し、最後に〔OK〕をクリックする

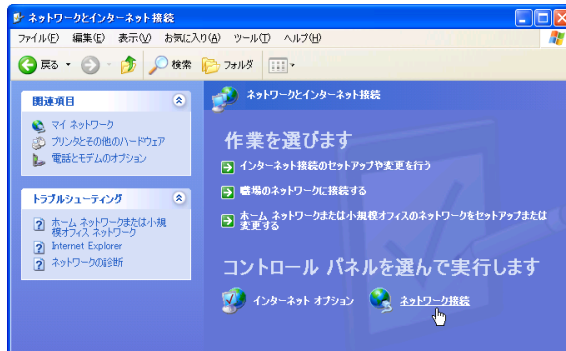
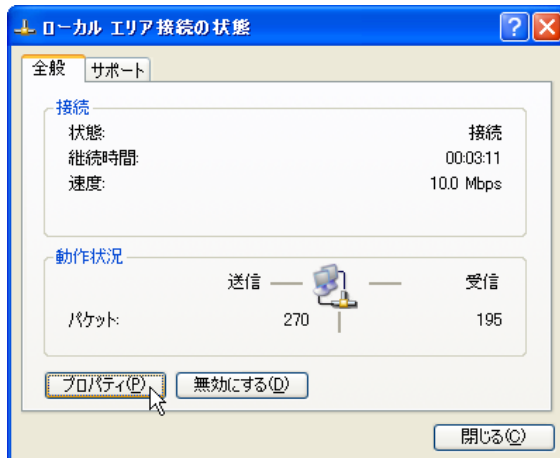
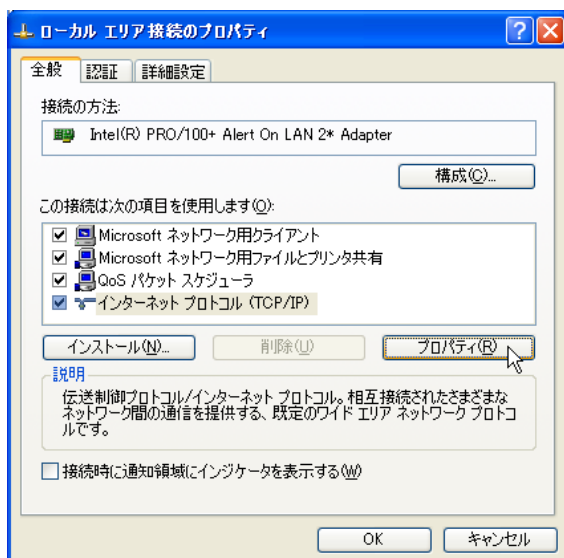
ガイド

デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、設定する必要はありません。
IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバについて不明な点はネットワーク管理者に確認してください。

〔ローカルエリア接続〕を閉じる

Windows XP/Windows Server 2003の場合

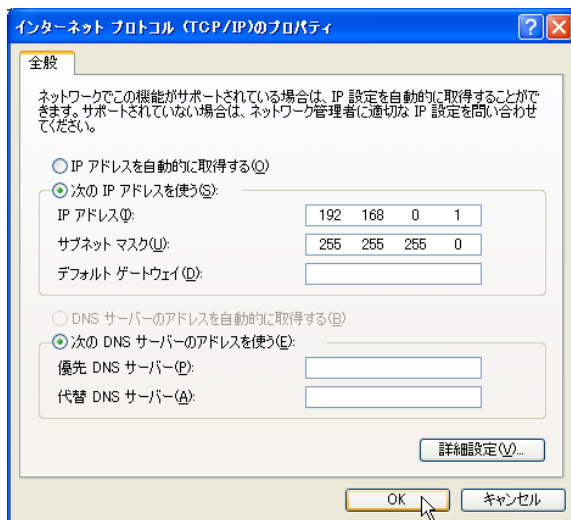
Windows XP/Windows Server 2003が動作するパソコンをご使用になっている場合のTCP/IPプロトコルの設定方法について説明します。

1. 〔スタート〕－〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワークとインターネット接続〕をクリックする

2. 〔コントロールパネルを選んで実行します〕の〔ネットワーク接続〕をクリックする

3. 〔ローカルエリア接続〕をダブルクリックし、〔プロパティ〕をクリックする

第3章 ネットワークソフトウェアの使用

〔インターネットプロトコル（TCP/IP)〕を選択し、〔プロパティ〕をクリックする

ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合は、〔IP アドレスを自動的に取得する〕に設定する
DHCP サーバが存在しない場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイ、DNS を設定し、最後に〔OK〕をクリックする

〔ローカルエリア接続〕を閉じます。

ガイド

デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、設定する必要はありません。
IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバについて不明な点はネットワーク管理者に確認してください。

プリンタポートを設定する

サーバ等を経由しないで直接プリンタにネットワーク印刷する場合、プリンタポートの設定方法には FUJITSU LPR ユーティリティを使用する場合と使用しない場合とがあります。該当するページを参照してください。

・ FUJITSU LPR ユーティリティを使用する場合（通常の場合）...............62 ページ
・ FUJITSU LPR ユーティリティを使用しない場合 ....75 ページ

ガイド

・ FUJITSU LPR ユーティリティを使用する場合は、Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 にてプリンタポートの設定ができます。
FUJITSU LPR ユーティリティを使用しない場合は、OS のサービスを組み込むことで Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 にてプリンタポートの設定ができます。
・ FUJITSU LPR ユーティリティをインストールされた場合には、プリンタポートの設定以外に下記の機能を使用できます。
・ 印刷データファイルをプリンタに送信することができます。（65 ページ）
・ 印刷ジョブの表示、削除、他のプリンタへの転送ができます。（66 ページ）
・ プリンタのステータスが表示できます。（67 ページ）
·IP アドレスの自動再設定ができます。（72 ページ）

FUJITSU LPR ユーティリティを使用する場合

LPR 印刷を行うには、FUJITSU LPR ユーティリティを使用します。ここでは、FUJITSU LPR ユーティリティのインストール方法、機能、アンインストール方法について説明します。

FUJITSU LPRユーティリティをインストールする

FUJITSU LPR ユーティリティをインストールし、プリンタポートを設定することにより LPR 印刷ができます。次の手順にしたがって、FUJITSU LPR ユーティリティのインストールおよび、プリンタポートを設定してください。

XL-2300 を通常使うローカルプリンタとしてプリンタドライバを設定する

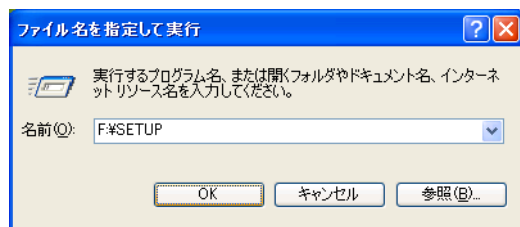
プリンタドライバのインストール方法は「第 2 章　プリンタドライバのインストール」（37 ページ）を参照

お願い

プリンタの名称を変更する場合には、手順 2 の前に変更を完了してください。FUJITSU LPR ユーティリティの設定後にプリンタの名称を変更した場合は、名称を変更したプリンタから印刷が行えません。

2 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

3 〔スタート〕－〔ファイル名を指定して実行〕の順に選択する

4 〈名前〉に CD-ROM ドライブ名と「SETUP」を入力し、〔OK〕をクリックする（CD-ROM ドライブが F の場合、「F:¥SETUP」と入力してください。）

5 〔FUJITSU LPR ユーティリティ〕をクリックする

6 セットアッププログラムが起動したら、〔次へ〕をクリックする

7 製品ライセンス契約の内容を確認し、〔はい〕をクリックする

8 インストール先とスプール先のフォルダを確認し、〔次へ〕をクリックする

9 〔スタートアップに登録する〕にチェックが入っていることを確認し、〔次へ〕をクリックする

10 プログラムフォルダ名を確認し、〔次へ〕をクリックする

11 〔完了〕をクリックする

FUJITSU LPR ユーティリティが起動します。
「印刷にはスプールディレクトリへの書き込みアクセス権が必要です。アクセス権を変更してもよろしいですか？」というメッセージが表示された場合には、[はい（Y）] をクリックします。

12 〔リモートプリント〕メニューの〔プリンタの追加〕を選択する

13 〔プリンタ〕で XL-2300 を選択し、〔IP アドレス〕にプリンタの IP アドレスを入力する

ガイド

「検索」をクリックして、ネットワーク上のプリンタを選択することもできます。

14 〔詳細設定〕をクリックする

15 〈LPR バイトカウントを有効にする〉にチェックを付け、〔OK〕をクリックする

16 さらに〔OK〕をクリックする

メインウィンドウに XL-2300 が追加されます。

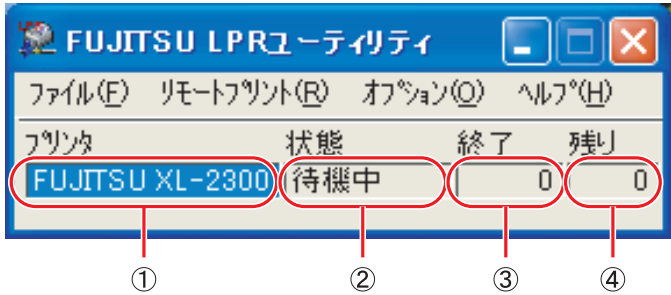
これで設定は完了です。
FUJITSU LPR ユーティリティを起動した状態で、アプリケーションから印刷します。

FUJITSU LPRユーティリティの機能

FUJITSU LPR ユーティリティの機能について説明します。

●メインウィンドウ

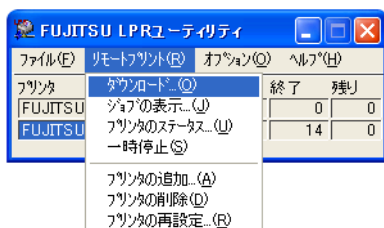
メインウィンドウでは、FUJITSU LPR ユーティリティのステータスを表示できます。

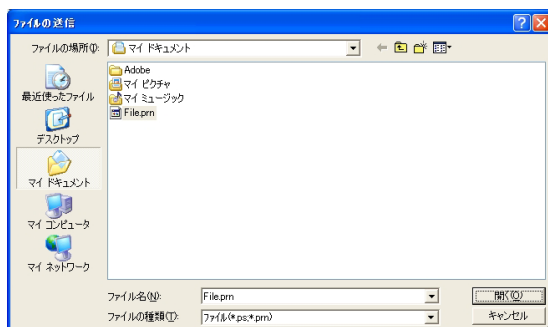
<table>
<tr><td rowspan="8">①プリンタ</td><td colspan="2">登録されているプリンタ名を表示する。</td></tr>
</table>

項目	説明	
①プリンタ	登録されているプリンタ名を表示する。	
②状態	FUJITSU LPR ユーティリティのプリンタポートの状態を表示する。	
	状態	内容
	待機中	プリンタポートが待機中の状態
	接続中	プリンタに接続を試みている状態
	送信中 - **%	プリンタにデータを送信している状態 ％表示は送信済みの割合
	停止中	〔リモートプリント〕メニューで一時停止された、もしくはエラーが発生して送信を停止している状態
	問合せ中	プリンタのステータスの問合せをしている状態
	未接続	〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕(Windows XP/Windows Server 2003 では、〔プリンタと FAX〕)フォルダからプリンタが削除された、もしくは、プリンタの IP アドレスが正しく設定されていない状態 印刷できない状態
③終了	送信が終了したジョブ数を表示する。	
④残り	送信が終了していないジョブ数を表示する。	

●ファイルのダウンロード

印刷データファイルをプリンタに送信することができます。

1. プリンタを選択する

2. 〔リモートプリント〕メニューの〔ダウンロード〕を選択する

3. ダウンロードするファイルを選択し、〔開く〕をクリックする

ファイルがダウンロードされ、印刷が開始されます。

ガイド

XL-2300 以外の印刷データファイルをファイルのダウンロードにて印刷はできません。他のプリンタの印刷データファイルを選択し、〔開く〕をクリックすると、プリンタ本体の故障の原因となります。

●ジョブの表示、削除、転送

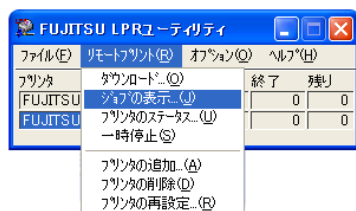
印刷ジョブを表示したり、削除したりすることができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

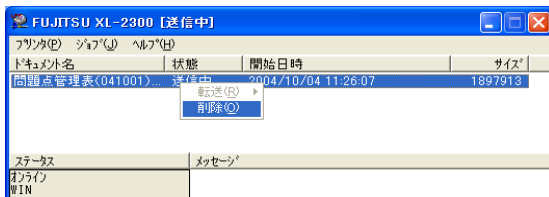
ガイド

・ 他社製のプリンタへは転送できません。
・ 利用しているプリンタの機種名（ここでは XL-2300）を選択し、転送してください。

1 プリンタを選択する

2 〔リモートプリント〕メニューの〔ジョブの表示〕を選択する

ジョブが表示されます。

3 印刷ジョブを削除する場合は、削除したい印刷ジョブを選択し、〔ジョブ〕メニューの〔削除〕を選択する

ジョブが削除されます。

印刷ジョブを転送する場合は、転送したい印刷ジョブを選択し、〔ジョブ〕メニューの〔転送〕をクリックし転送先のプリンタを選択する

転送先のプリンタにジョブが送られます。

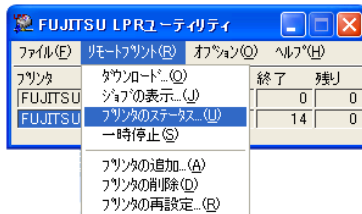
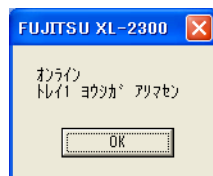
ガイド

転送できるプリンタは、あらかじめ FUJITSU LPR ユーティリティに設定されている必要があります。
ジョブの自動転送の設定については、「ジョブの自動転送」(70 ページ))を参照してください。

●プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示できます。

1 プリンタを選択する

2 〔リモートプリント〕メニューの〔プリンタのステータス〕を選択する

プリンタのステータスが表示されます。

ガイド

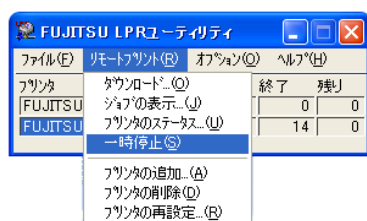
〔ジョブ表示〕ダイアログの〔ステータス〕でも確認できます。

●一時停止

印刷データの送信を停止したり、停止状態を解除することができます。

プリンタを選択する

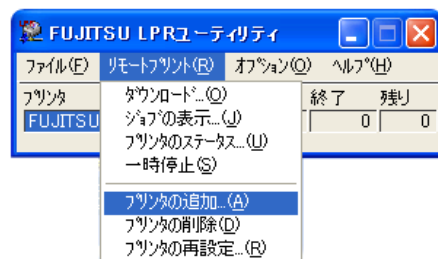
〔リモートプリント〕メニューの〔一時停止〕を選択する

状態欄は「停止中」になり、メニューにはチェックがつきます。
一時停止中に選択すると、一時停止状態を解除します。
送信中のジョブを一時停止すると、「現在送信中のジョブが再送信になりますがよろしいですか？」というメッセージが表示されます。「はい」をクリックするとジョブの送信をいったん中止します（一時停止解除後再送信）。
「いいえ」がクリックされたら一時停止を解除し、送信を続けます。

●プリンタの追加

印刷先のポートを FUJITSU LPR ポートに変更することができます。

ガイド

すでにFUJITSU LPRユーティリティに登録されているプリンタは追加できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」（73 ページ）を選択してください。
また、FUJITSU LPR ユーティリティにはプリンタを 30 台まで登録することができます。

❶〔リモートプリント〕メニューの〔プリンタの追加〕を選択する

〔プリンタ〕を選択し、〔IP アドレス〕にプリンタの IP アドレスを入力し、〔詳細設定〕をクリックする

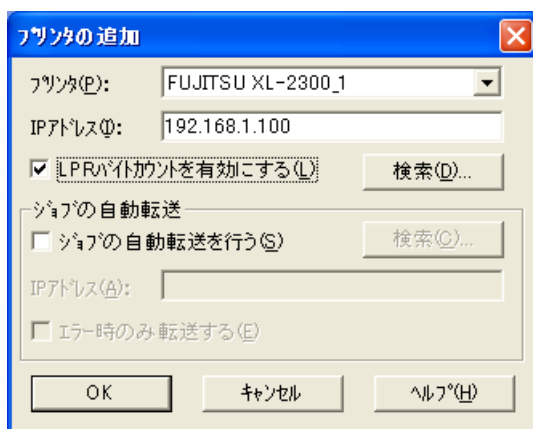
ガイド

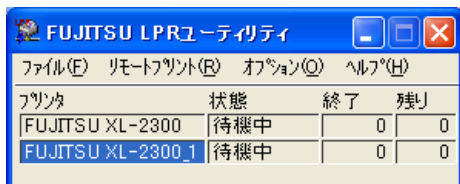
〔検索〕をクリックし、ネットワーク上のプリンタを選択すると IP アドレスを設定できます。

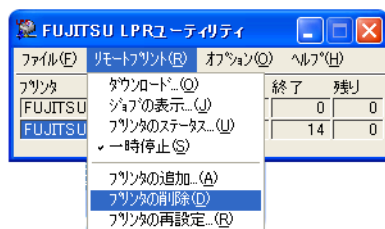
3

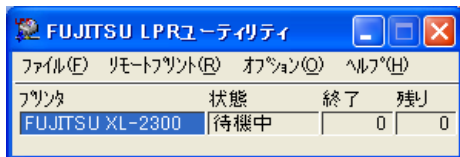
〈LPR バイトカウントを有効にする〉にチェックを付け、〔OK〕をクリックする

ﾌﾟﾘﾝﾀの追加
ﾌﾟﾘﾝﾀ(P): FUJITSU XL-2300_1
IPｱﾄﾞﾚｽ(I): 192.168.1.100
☑ LPRﾊﾞｲﾄｶｳﾝﾄを有効にする(L)　検索(D)...
ｼﾞｮﾌﾞの自動転送
☐ ｼﾞｮﾌﾞの自動転送を行う(S)　検索(C)...
IPｱﾄﾞﾚｽ(A):
☐ ｴﾗｰ時のみ転送する(E)
OK　ｷｬﾝｾﾙ　ﾍﾙﾌﾟ(H)

ガイド

- 〈LPR バイトカウントを有効にする〉をチェックをしないと、データ数をチェックしない信頼性の低い通信になります。必ずチェックを付けてください。
- 〔プリンタ〕には、〔プリンタ〕（Windows XP/Windows Server 2003 の場合は「プリンタと FAX」）フォルダにプリンタドライバが追加されている場合のみ表示されます。Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 でネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。
- 〔検索〕をクリックしてネットワーク上のプリンタを検索することもできます。

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

●プリンタの削除

1. プリンタを選択する
2. 〔リモートプリント〕メニューの〔プリンタの削除〕を選択する

3. 削除のメッセージが表示され、「はい」をクリックする

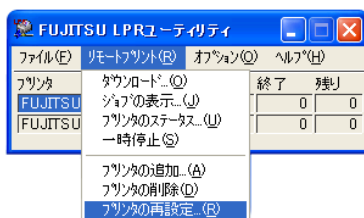
メインウィンドウからプリンタが削除されます。

●ジョブの自動転送

プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

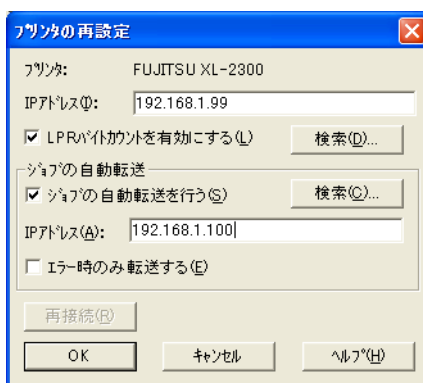
ガイド

・他社製のプリンタへは転送できません。
・利用しているプリンタの機種名（ここではXL-2300）を選択し、転送してください。

1. プリンタを選択する

2 〔リモートプリント〕メニューの〔プリンタの再設定〕を選択する

3 〔詳細設定〕ボタンをクリックする

4 〔ジョブの自動転送を行う〕にチェックをつけ、転送先となるプリンタの IP アドレスを設定する

ガイド

〔検索〕をクリックして、ネットワーク上のプリンタを検索することもできます。

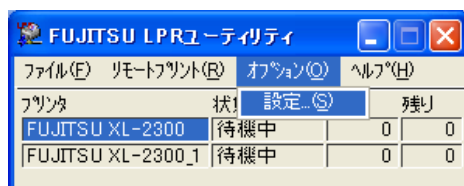
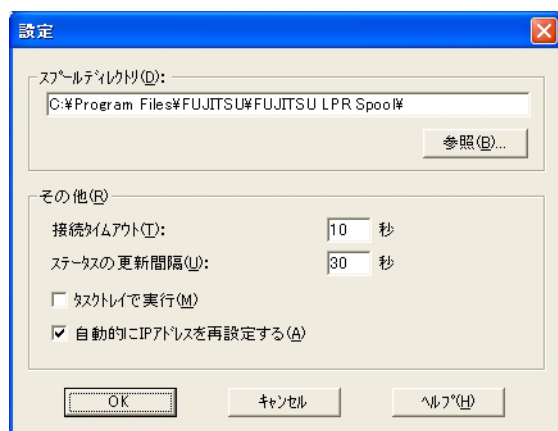
5 〔OK〕をクリックする

● IP アドレスの自動再設定

DHCP サーバに接続しプリンタの電源を入れるたびにプリンタの IP アドレスが変更になる場合、変更された IP アドレスを検索し自動的に再設定することができます。

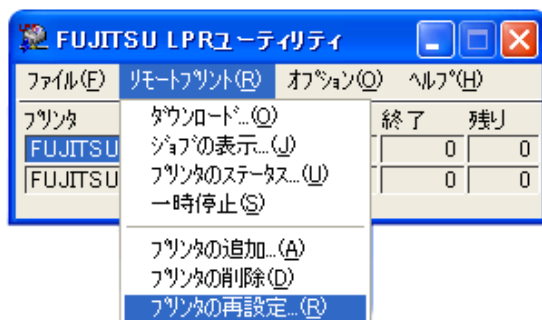
ガイド

検索対象は、FUJITSU LPR ユーティリティの検索範囲設定にしたがいます。

1. 〔オプション〕メニューの〔設定〕を選択する

2. 〔自動的に IP アドレスを再設定する〕にチェックを付ける

3. 〔OK〕をクリックする

●プリンタの再設定

すでに FUJITSU LPR ユーティリティに登録されているプリンタの設定ができます。

プリンタを選択する

2 〔リモートプリント〕メニューの〔プリンタの再設定〕を選択する

3 必要な項目を再度設定する

「プリンタの追加」(68 ページ)、「ジョブの自動転送」(70 ページ)で設定できる項目が再設定の対象となります。

FUJITSU LPRユーティリティをアンインストールする

1. **タスクバーにある FUJITSU LPR ユーティリティアイコンを右クリックする**

   アイコンが表示されていない場合は、手順 3 へ進んでください。

2. **表示されるメニューの〔終了〕を選択する**

3. **〔スタート〕-〔プログラム〕-〔Fujitsu〕-〔FUJITSU LPR ユーティリティ〕の順に選択し、〔FUJITSU LPR ユーティリティの削除〕をクリックする（Windows XP/Windows Server 2003 では〔スタート〕-〔すべてのプログラム〕-〔Fujitsu〕-〔FUJITSU LPR ユーティリティ〕-〔FUJITSU LPR ユーティリティの削除〕）**

4. **削除を確認する画面が表示されたら、〔はい〕をクリックする**

   FUJITSU LPR ユーティリティのアンインストールが行われます。

> **ガイド**
>
> FUJITSU LPRユーティリティのインストール先のフォルダやスプール先のフォルダに、インストール後に追加したファイルが存在すると、フォルダを削除できません。あらかじめ、余分なファイルを削除してから〔FUJITSU LPR ユーティリティの削除〕を行ってください。

FUJITSU LPR ユーティリティを使用しない場合

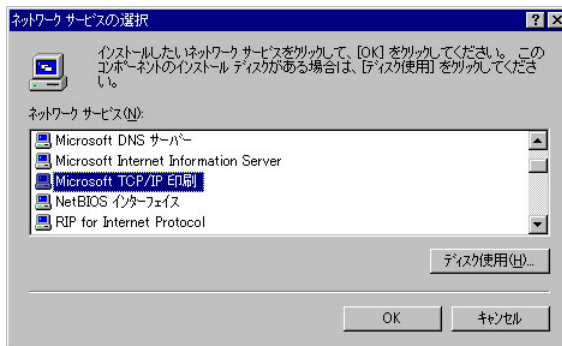
● Windows NT4.0 の場合

1 〔スタート〕－〔設定〕－〔コントロール〕の順に選択し、〔ネットワーク〕アイコンをダブルクリックする

2 〔サービス〕タブをクリックする

3 〔追加〕をクリックする

〔ネットワークサービス〕に〔Microsoft TCP/IP 印刷〕と〔簡易 TCP/IP サービス〕が表示されている場合は、手順 7 へ進んでください。

4 〔Microsoft TCP/IP 印刷〕を選択し、〔OK〕をクリックする

5 〔簡易 TCP/IP サービス〕を選択する

手順は、〔Microsoft TCP/IP 印刷〕の場合と同じです。

6. Windows を再起動する

7. XL-2300 を通常使うローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールする

参照 プリンタドライバのインストール方法は､｢第 2 章　プリンタドライバのインストール｣（37 ページ）を参照

8. 〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択する

9. 手順 7 で追加した XL-2300 のアイコンを右クリックし、〔プロパティ〕を選択する

10. 〔ポート〕タブをクリックする

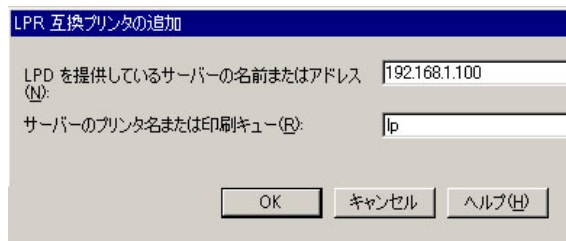
11. 〔ポートの追加〕をクリックする

12. 〔LPR Port〕を選択し、〔新しいポート〕をクリックする

お願い

〔LPR Port〕以外は、選択しないでください。

13. 〔プリンタの IP アドレス〕と〔プリンタキュー名〕を設定する

プリンタキュー名は、任意の名前を付けてください。

14. 〔OK〕、〔閉じる〕の順にクリックする

プロパティを閉じます。

これで設定は完了です。

● Windows 2000 の場合

1. XL-2300 を通常使うローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールする

参照　プリンタドライバのインストール方法は、「第 2 章　プリンタドライバのインストール」（37 ページ）を参照

2. 〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択する

3. 手順 1 で追加した XL-2300 のアイコンを右クリックし、〔プロパティ〕を選択する

4. 〔ポート〕タブをクリックする

5. 〔ポートの追加〕をクリックする

6. 〔Standard TCP/IP Port〕を選択し、〔新しいポート〕をクリックする

お願い

〔Standard TCP/IP Port〕以外は、選択しないでください。

7. 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが表示されたら、〔次へ〕をクリックする

〔プリンタ名または IP アドレス〕と〔ポート名〕を設定し、〔次へ〕をクリックする

〔ポート名〕は任意の名前を付けてください。デフォルトは IP_（IP アドレス）です。

9 〈デバイスの種類〉で〔カスタム〕を選択し、〔設定〕をクリックする

〔ポートの設定〕タブの各項目を設定し、〔OK〕をクリックする

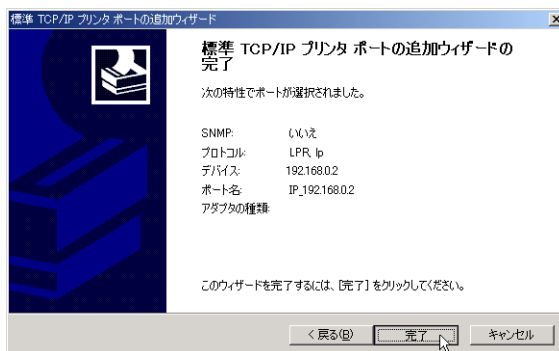
〈プロトコル〉で〔LPR〕を選択します。
〈LPR 設定〉の〔キュー名〕を入力します。キュー名は任意の名前を付けてください。
〔LPR バイトカウントを有効にする〕と〔SNMP ステータスを有効にする〕のチェックが外れていることを確認します。

〔次へ〕をクリックする

〔完了〕をクリックする

プロパティを閉じます。

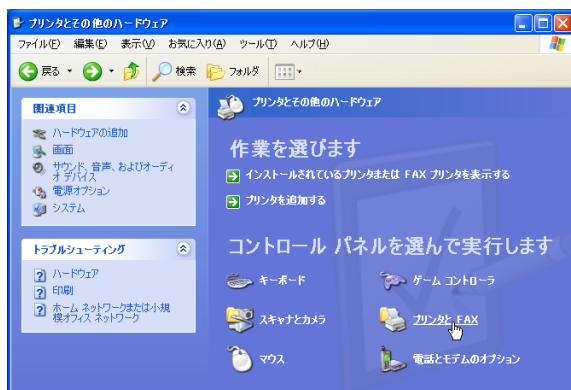
これで設定は完了です。

第3章 ネットワークソフトウェアの使用

● Windows XP/Windows Server 2003 の場合

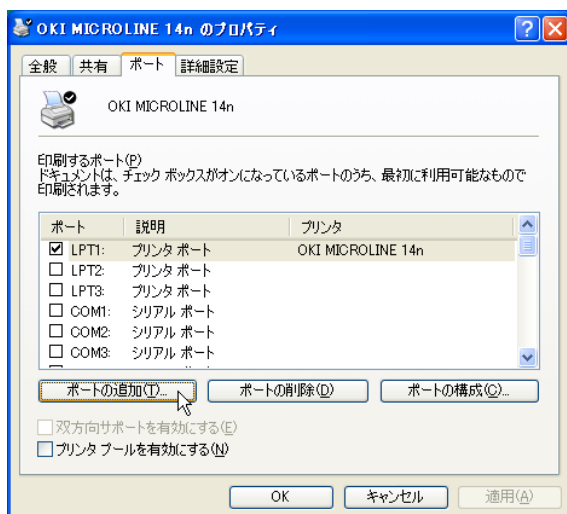
1 XL-2300 を通常使うローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールする

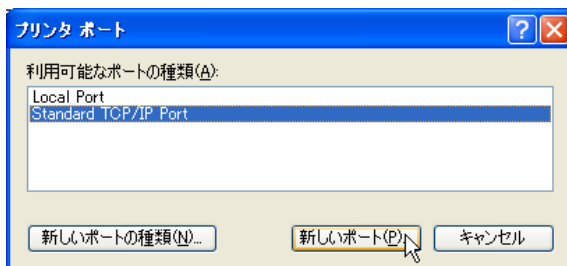
参照　プリンタドライバのインストール方法は、「第 2 章　プリンタドライバのインストール」（37 ページ）を参照

2 〔スタート〕－〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔プリンタとその他のハードウェア〕をクリックする

3 〔コントロールパネルを選んで実行します〕の〔プリンタと FAX〕をクリックする

4 手順 1 で追加した XL-2300 のアイコンを右クリックし、〔プロパティ〕を選択する

5 〔ポート〕タブをクリックする

6 〔ポートの追加〕をクリックする

7 〔Standard TCP/IP Port〕を選択し、〔新しいポート〕をクリックする

お願い

〔Standard TCP/IP Port〕以外は、選択しないでください。

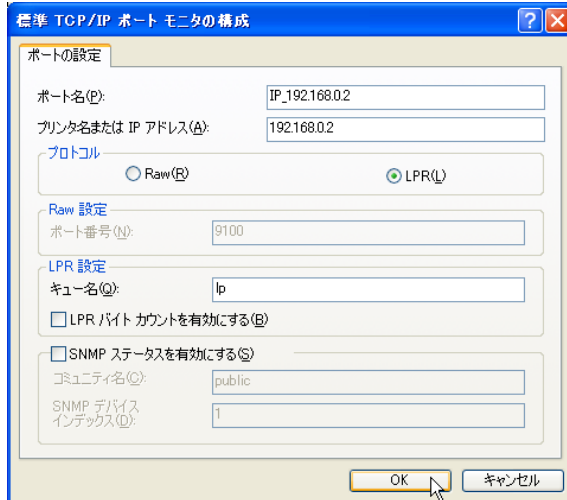
8 標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードが表示されたら、〔次へ〕をクリックする

〔プリンタ名または IP アドレス〕と〔ポート名〕を設定し、〔次へ〕をクリックする

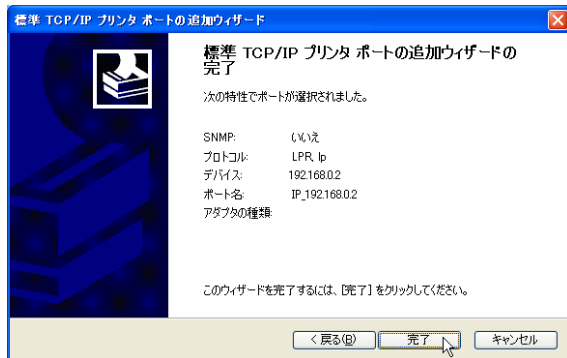
〔ポート名〕は任意の名前を付けてください。デフォルトは IP_（IP アドレス）です。

10 〈デバイスの種類〉で〔カスタム〕を選択し、〔設定〕をクリックする

〔ポートの設定〕タブの各項目を設定し、〔OK〕をクリックする

〈プロトコル〉で〔LPR〕を選択します。
〈LPR 設定〉の〔キュー名〕を入力します。キュー名は任意の名前を付けてください。
〔LPR バイトカウントを有効にする〕と〔SNMP ステータスを有効にする〕のチェックが外れていることを確認します。

〔次へ〕をクリックする

〔完了〕をクリックする

プロパティを閉じます。

これで設定は完了です。

ネットワーク用語の解説

本プリンタをネットワークで利用するときに使用される用語について説明します。

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

IP アドレスの自動割り付けシステムです。クライアントが TCP/IP 通信を行うときに、必要に応じてサーバから IP アドレスをもらい、通信終了後はサーバに IP アドレスを戻します。

DNS（Domain Name System）

ホスト名から IP アドレスを取得できるようにするサービスを提供するシステムです。

HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）

インターネット上の Web サーバからデータを送受信するために使用される通信プロトコルです。HTML（HyperText Markup Language）文書や、文書に関連付けされた画像や音声ファイルなどをやり取りすることができます。
IETF（Internet Engineering Task Force）によって RFC として規格化されています。XL シリーズの IPP 対応機種では、HTTP/1.1 をサポートしています。

IPP（Internet Printing Protocol）

RFC として規格化されたインターネット経由での印刷をサポートした印刷制御プロトコルです。ファイル転送のプロトコル HTTP（HyperText Transfer Protocol）を使用しており、LAN を超えた環境でもアクセスできることが特徴です。

LPR（Line Printer Remote）

TCP/IP 標準の印刷制御プロトコルです。Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 では、UNIX 用印刷サービスまたは TCP/IP 印刷サービスとして標準添付されています。

MIB

SNMP では、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視・管理するための動作状況に関するデータを MIB（Management Information Base : 管理情報ベース）といいます。
本プリンタは MIB- Ⅱおよび PrinterMIB をサポートしています。

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の各種接続機器が SNMP をサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用の SNMP 管理マネージャソフトから、SNMP メッセージを使用することでその接続機器の設定情報である MIB（Management Information Base : 管理情報ベース）を読み込んだり、逆にそれを設定することで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

第4章
プリンタ共有の設定

この章では、プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。

Windows 98/Me のとき

ここでは、OS が Windows 98/Me のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

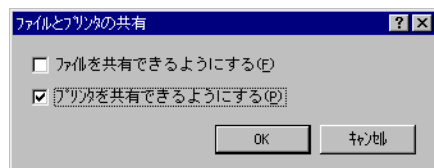
準　備

ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定します。

1 〔ネットワーク〕プロパティを開く

〔スタート〕から〔設定〕-〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワーク〕をダブルクリックします。

2 〔ファイルとプリンタの共有〕をクリックする

3 「プリンタを共有できるようにする」を選択し、〔OK〕をクリックする

4 〔ネットワーク〕プロパティの〔OK〕をクリックして閉じ、OS を再起動する

設　定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

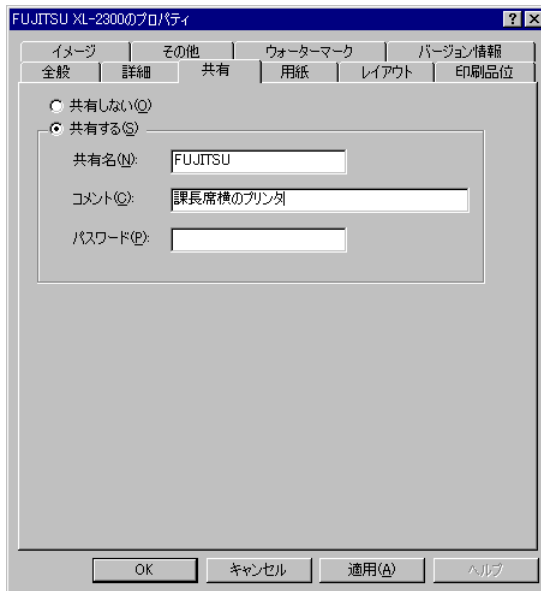
1. XL-2300 のプリンタドライバ、プリンタポートを設定する

参照　プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は「第3章　ネットワークソフトウェアの使用」（47 ページ）を参照

2. 〔スタート〕から〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする

3. 〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する

4. 「共有する」を選択し、共有名を入力する

必要に応じてコメント、パスワードを入力してください。

共有名 .... 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。

コメント .... プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。

パスワード .... 他のユーザがこの共有プリンタに接続するときに使うパスワードを指定します。
パスワードを使わないときは、空白のままにします。

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

クライアント側の設定

Windows 98/Me をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。
Windows 98/Me のクライアントから Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークを経由してサーバから簡単にプリンタドライバをインストールできます。
サーバが Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、代替インストールが必要となります。

代替インストールについては、「サーバ側の設定」Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき（(93 ページ))、Windows NT4.0 のとき（(89 ページ)）を参照

準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ .... Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント .... Windows 98/Me が動作するパソコンです。

設　定

1 エクスプローラを起動する

〔スタート〕から〔プログラム〕-〔エクスプローラ〕(Windows Me は〔スタート〕から〔プログラム〕-〔アクセサリ〕-〔エクスプローラ〕) の順に選択します。

2 サーバで利用可能な共有プリンタを表示する

〔ネットワーク　コンピュータ〕(Windows Me は〔マイネットワーク〕) をダブルクリックし、ネットワーク上のコンピュータを表示します。一覧から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

Windows NT4.0 のとき

ここでは、OS が Windows NT4.0 のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

参照　プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は「第 3 章　ネットワークソフトウェアの使用」（47 ページ）を参照

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

設　定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1. XL-2300 のプリンタドライバ、プリンタポートを設定する

参照　プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は、「第 3 章　ネットワークソフトウェアの使用」（47 ページ）を参照

2. Windows NT4.0 を起動し、管理者権限でログオンする
3. 〔スタート〕から〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする
4. 〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する

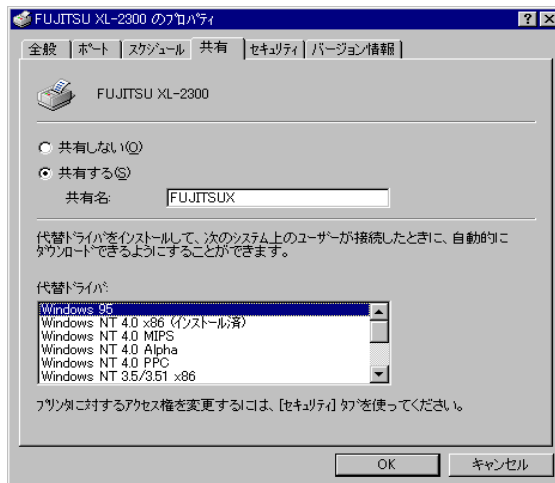
「共有する」を選択し、共有名を入力する

共有名 ....共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。
ただし、全角 7 文字以上、半角 13 文字以上の名前を設定すると、Windows 98/Me のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントの OS が Windows 98/Me の場合は、引き続き手順6以降の操作で代替ドライバのインストールを行ってください。

ガイド

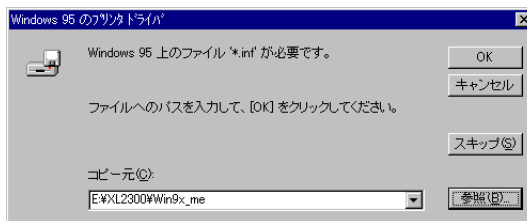
代替ドライバをインストールしないときは、〔OK〕をクリックして設定を終了します。

「代替ドライバ」リストからクライアントのOSを選択し、〔OK〕をクリックする

ガイド

Windows 98/Meの代替ドライバをインストールするときも、「Windows 95」を選択してください。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

7 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセット

8 「コピー元」に「F:¥XL2300¥WIN9X_ME」と入力する、または〔参照〕をクリックして「F:¥XL2300¥WIN9X_ME」を選択する（CD-ROMドライブがF:のとき）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。
ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバのインストールは終了です。

クライアント側の設定

Windows NT4.0 をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。
Windows NT4.0 のクライアントから Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークを経由して、サーバから簡単にプリンタドライバをインストールできます。

ガイド
サーバが Windows 98/Me の場合は、クライアント側のプリンタドライバのインストールは CD-ROM から行う必要があります。

準　備

クライアント側の設定には、本プリンタ添付のプリンタソフトウェアCD-ROMが必要です。（サーバが Windows 98/Me のとき）
また、設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ .... Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント .... Windows NT4.0 が動作するパソコンです。

設　定

1. 〔スタート〕から〔プログラム〕-〔Windows NT エクスプローラ〕の順に選択する
2. 〔ネットワークコンピュータ〕をクリックし、一覧から共有プリンタのサーバをクリックする
3. 〔プリンタ〕をクリックする
   利用可能な共有プリンタが表示されます。
4. 設定を行う共有プリンタを右クリックし、〔インストール〕をクリックする
   ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき

ここでは、OS が Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

参照 プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は「第 3 章　ネットワークソフトウェアの使用」（47 ページ）を参照

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を起動し、管理者権限でログオンする

プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は「第 3 章　ネットワークソフトウェアの使用」（47 ページ）を参照

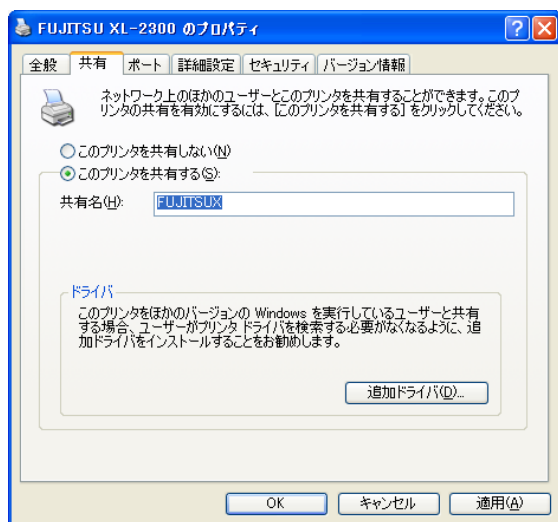
〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する

① Windows 2000 の場合：

〔スタート〕から〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする

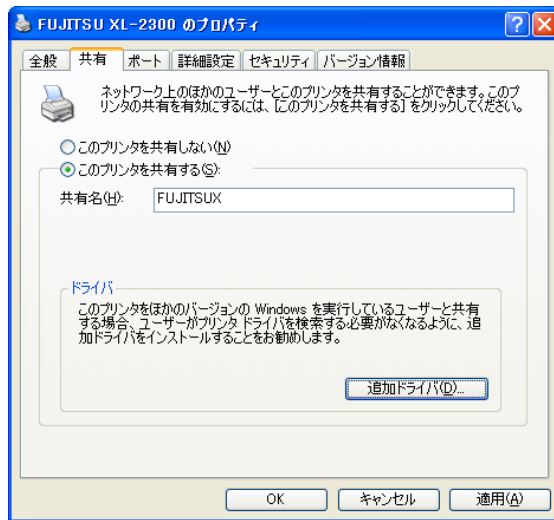
② Windows XP/Windows Server 2003 の場合：

〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕を選択し、共有するプリンタをクリックします。

「共有する」を選択し、共有名を入力する

共有名.......... 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここで指定した名前が表示されます。
ただし、全角 7 文字以上、半角 13 文字以上の名前を設定すると、Windows 98/Me のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントの OS が Windows 98/Me/NT4.0 の場合は、引き続き手順 4 以降の操作で追加ドライバのインストールを行ってください。

ガイド

- 追加ドライバをインストールしないときは、〔OK〕をクリックして設定を終了します。
- 共有するプリンタドライバの名称と、追加ドライバのリストに表示されているプリンタドライバの名称が異なる場合、追加ドライバをインストールすることはできません。

〔追加ドライバ〕をクリックする

5

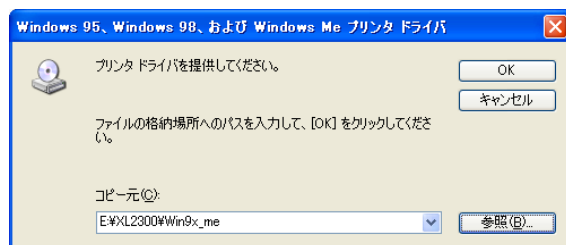
「追加ドライバ」リストからクライアントの OS をチェックし、〔OK〕をクリックする

（画面はクライアントが Windows 98/Me 用のとき）

6

添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、〔OK〕をクリックする

「コピー元」にクライアントの OS 用のプリンタドライバのフォルダ名を直接入力する、または〔参照〕をクリックしてプリンタドライバのフォルダ名を選択し、〔開く〕をクリックする

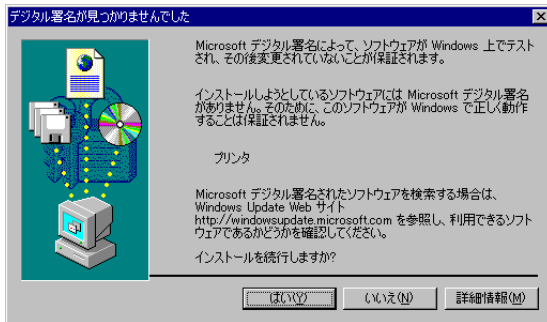
入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

ガイド

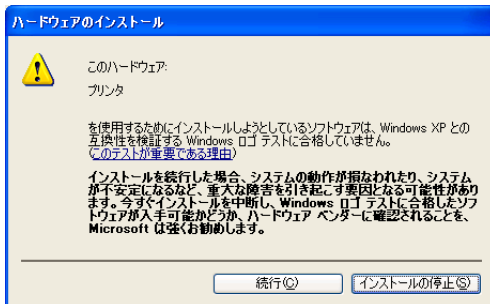
プリンタドライバのフォルダ名は、次のように指定します。（CD-ROM ドライブが F: の場合）
クライアントの OS フォルダ名

クライアントの OS	フォルダ名
Windows 98/Me	F:¥XL2300¥WIN9X_ME
Windows NT4.0	F:¥XL2300¥WINNT40
Windows 2000	F:¥XL2300¥WIN2KXP
Windows XP/Windows Server 2003	F:¥XL2300¥WIN2KXP

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、追加ドライバのインストールは終了です。

● Windows 2000 の場合

〔デジタル署名が見つかりませんでした〕ダイアログが表示されたときは、〔はい〕を選択してください。

● Windows XP/Windows Server 2003 の場合

〔ハードウェアのインストール〕ダイアログが表示されたときは、〔続行〕を選択してください。

クライアント側の設定

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。
Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のクライアントから Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークを経由して、サーバから簡単にプリンタドライバをインストールできます。

ネットワーク経由による方法

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のクライアントから Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

お願い

サーバが Windows 2000/XP/Windows Server 2003 以外の場合は、ネットワークインストールでは正しくインストールできません。「ポート変更による方法」(99 ページ)でインストールしてください。

●準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。
サーバ .... Windows 2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。
あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント .... Windows 2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。

●設　定

1. **Windows 2000 の場合：**
〔スタート〕から〔プログラム〕－〔アクセサリ〕－〔エクスプローラ〕の順に選択する
Windows XP/Windows Server 2003 の場合：
〔スタート〕から〔プログラム一覧〕－〔アクセサリ〕－〔エクスプローラ〕の順に選択する

2. **〔マイネットワーク〕の〔ネットワーク全体〕を表示し、〔コンピュータの検索〕(Windows XP の場合は〔検索〕)をクリックし、「コンピュータ名」に共有プリンタのサーバ名を入力して検索する**
検索結果から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3. **設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする**
ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

ポート変更による方法

Windows 2000/XP/Windows Server 2003のクライアントからサーバがWindows 2000/XP/Windows Server 2003 以外の共有プリンタを使用する場合は、ローカルのプリンタポートを仮に指定して CD-ROM からプリンタドライバのインストールを行ってください。その後、ポートを変更して共有プリンタに接続します。
この際、管理者権限でログオンしてください。

●準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。
サーバ ....Windows 98/Me/NT4.0 が動作するパソコンです。
あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント ....Windows 2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。

●設　定

1 プリンタ ドライバをインストールする

参照　プリンタドライバのインストールについては､「第2章　プリンタドライバのインストール」（37 ページ）を参照

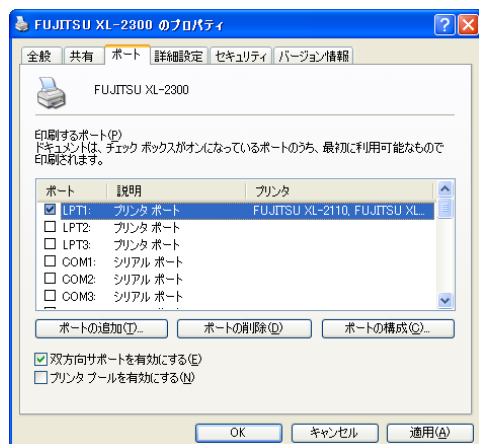
インストール中に印刷先ポートの指定、およびテスト印刷を行うかどうかを尋ねられます。印刷先ポートは仮のポート（ローカルポート：LPT1 など）を、テスト印刷は「いいえ」（テスト印刷をしない）を選択します。

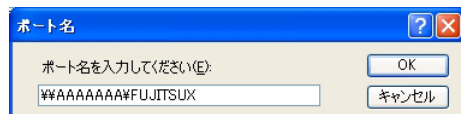
お願い

手順 **2** を行う前にテストページを印刷すると、「応答なし」エラーが表示され印刷ができません。そのときは、「印刷中止」をクリックしてください。

2 印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更する

① Windows 2000 の場合：
〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、設定を行うプリンタを選択する
Windows XP/Windows Server 2003 の場合：
〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕を選択し、設定を行うプリンタを選択する
② 〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択し､〔ポート〕タブをクリックする

③〔ポートの追加〕をクリックする

④「Local Port」を選択し、〔新しいポート〕をクリックする

⑤〔ポート名〕ダイアログに共有プリンタのネットワークパス（「¥¥ サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」）を入力する
入力が終わったら、〔OK〕をクリックして設定を終了します。

第5章

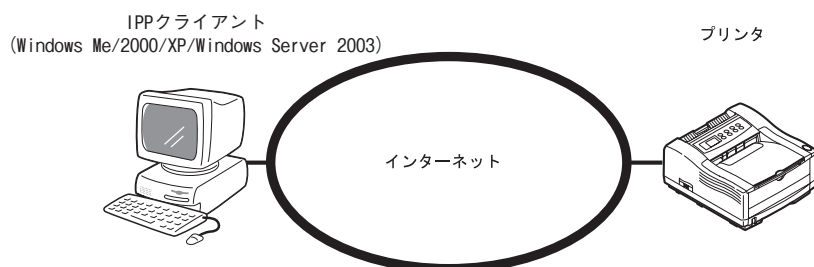
インターネット印刷の設定

この章では、IPP を使ってインターネット印刷をするための設定について説明します。

インターネット印刷を利用する

IPP を使って、Windows Me/2000/XP/Windows Server 2003 からインターネット印刷を利用する場合の設定方法を説明します。

システム構成について

本プリンタは、IPP（Internet Printing Protocol）をサポートしています。Windows 2000/XP/Windows Server 2003 は、IPP プリンタに印刷するためのホストソフト（IPP ポートモニタ）を装備しているので、〔プリンタの追加〕ウィザードから、IPP 対応プリンタを指定できます。また、Windows Me は、IPP ポートモニタをインストールすることによりインターネット印刷ができます。IPP を利用すれば、インターネット、またはイントラネットを経由して遠隔地のプリンタに印刷できます。

- トランスポートプロトコル
  TCP/IP
- 対象 OS
  Windows Me
  Windows 2000
  Windows XP
  Windows Server 2003

設定のながれ

パソコン側で、印刷先の設定とプリンタドライバのインストールを行います。

設定方法については、「印刷先の設定とプリンタドライバのインストールを行う」（104 ページ）を参照

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する

ネットワーク環境によっては、IP アドレスに加えて、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。
アドレスの指定方法には、DHCP サーバから自動的に取得する方法と手動で指定する方法があります。設置環境に合わせて指定してください。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定については、「第 1 章 IP アドレスを設定する」（27 ページ）を参照

その他の設定項目について

設定項目の詳細は、『XL-2300 取扱説明書』「第 8 章 オペレータパネルの操作」の「共通メニュー画面の設定一覧」を参照してください。また、「Printia LASER Internet Service」を使うと、詳細な設定ができます。「第 6 章　Printia LASER Internet Service」（113 ページ）を参照してください。

印刷先の設定とプリンタドライバのインストールを行う

パソコン側で、印刷先の設定とプリンタドライバのインストールを行う手順について OS ごとに説明します。ご使用になる OS を確認し、該当するページを参照してください。

プリンタドライバインストール前の設定について

クライアントに「インターネットプロトコル（TCP/IP）」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows Me/2000/XP/Windows Server 2003 添付のマニュアルを参照してインストールしてください。
インターネット印刷をプロキシサーバを経由して利用する場合に、印刷先の設定をすると「プリンタに接続できません」というエラーメッセージが表示されることがあります。この場合は、〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕（Windows XP の場合は、〔スタート〕から〔コントロールパネル〕-〔ネットワークとインターネット接続〕）の順にクリックし、〔インターネットオプション〕を開いて、本プリンタの IP アドレスをプロキシサーバを経由しない設定にする必要があります。設定方法については、Windows Me/2000/XP/Windows Server 2003 添付のマニュアルを参照してください。

Windows Me のインターネット印刷について

Windows Me の場合、インターネット印刷を利用するには、IPP ポートモニタをインストールする必要があります。
Windows Me の CD-ROM をお持ちの場合：
　CD をエクスプローラ等で参照し、¥ADD-ONS¥ipp¥WPNPINS.EXE を実行してください。
プレインストールモデル等で Windows Me の CD-ROM をお持ちでない場合：
　エクスプローラ等で、ハードディスク上にある WPNPINS.EXE を検索し、実行してください。

インストールを行う

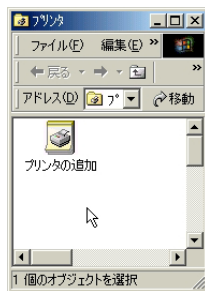
次の手順にしたがって、プリンタドライバをインストールしてください。

Windows Meの場合

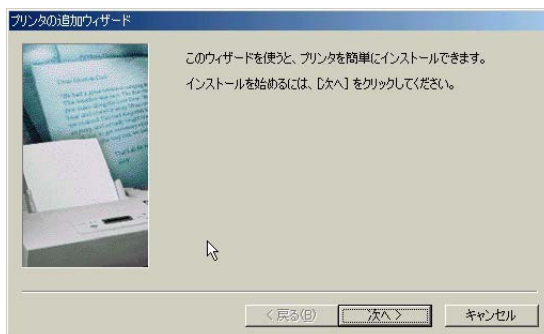
1 〔スタート〕から〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択する

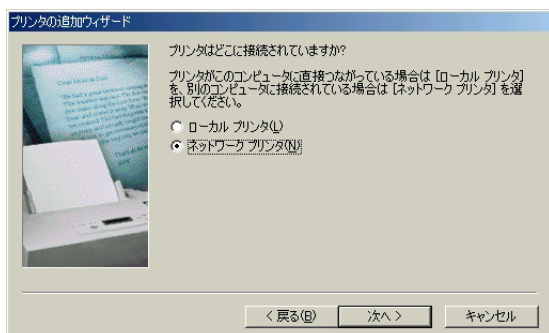
〔プリンタ〕ウィンドウが表示されます。

2 〔プリンタの追加〕を開く

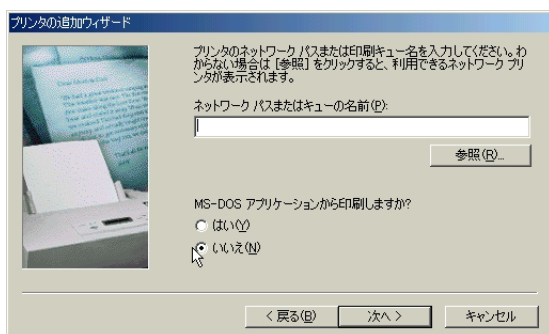
〔プリンタの追加ウィザード〕が起動します。

3 〔次へ〕をクリックする

プリンタの接続方法を選択する画面が表示されます。

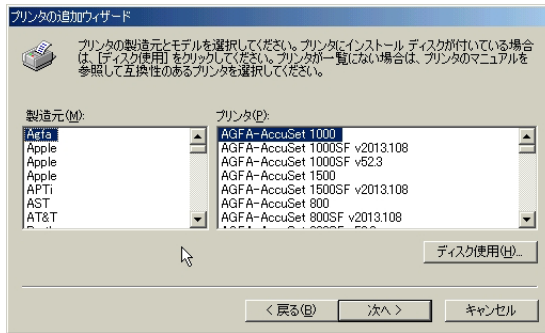
第5章 インターネット印刷の設定

〔ネットワークプリンタ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

プリンタの検索方法を指定する画面が表示されます。

5 <ネットワークパスまたはキューの名前>に以下の URL を入力し、〔次へ〕をクリックする

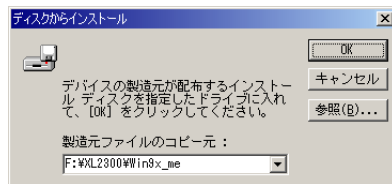
http://〔本プリンタの IP アドレス〕/ipp

ガイド

ホスト上で DNS 設定がされていて、ホスト名指定が有効であれば、ホスト名を入力することもできます。

6 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする

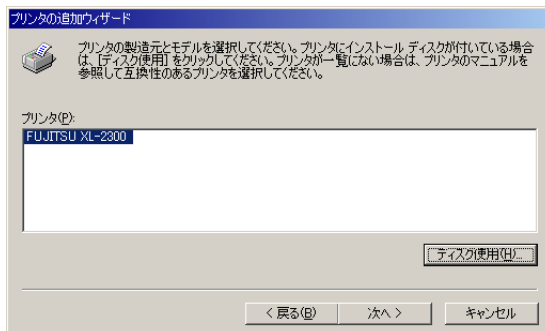
〔ディスク使用〕をクリックする

8 表示されたダイアログで「F:¥XL2300¥WIN9X_ME」と入力し、〔OK〕をクリックする（ここでは、CD-ROMのドライブ名を「F:」として説明しています。）

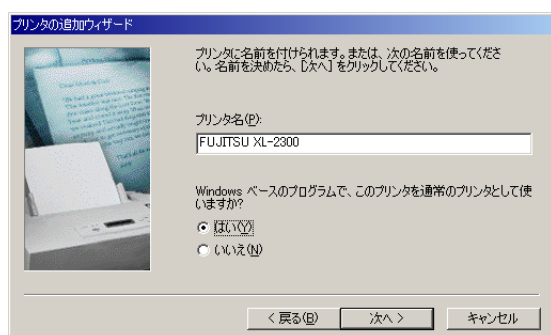
プリンタを選択する画面が表示されます。

ガイド

〔参照 ...〕をクリックして、「F:¥XL2300¥WIN9X_ME」フォルダを指定することもできます。

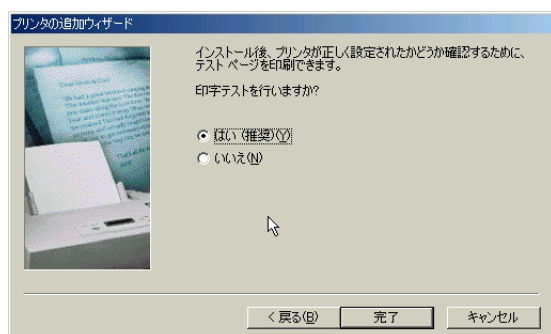
9 〔FUJITSU XL-2300〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

通常使うプリンタを指定する画面が表示されます。

ガイド

「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログが表示されますが、〔はい〕をクリックして、インストールを続けてください。

プリンタの名前を入力する

本プリンタを通常使用する場合は〔はい〕を、使用しない場合は〔いいえ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

インストール後に、テストページを印刷する場合は〔はい〕を、印刷しない場合は〔いいえ〕を選択し、〔完了〕をクリックする

必要なファイルのコピーが開始されます。
コピーが終了すると、インストール完了の画面が表示されます。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合

ここでは、Windows 2000 を例に説明します。Windows XP/Windows Server 2003 をご使用の場合も同様の手順でインストールを行ってください。

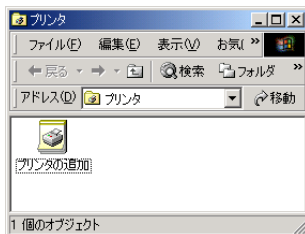
ガイド

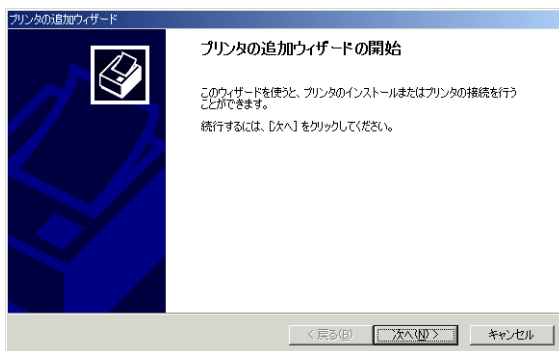
Windows XP をご使用の場合は、インストール前に、「Printia LASER Internet Service」の〔System Name〕を XL-2300 等の名称に変更しておくことをお勧めします。
ご使用の LAN カードによっては、〔System Name〕が空白となっている場合があります。その場合は、「Printia LASER Internet Service」より〔System Name〕を入力してください。なお、〔System Name〕が空白の状態では、〈プリンタと FAX〉フォルダのプリンタ名称が〔unknown〕と表示されます。この場合でも印刷は正常に行えますので安心してご使用ください。

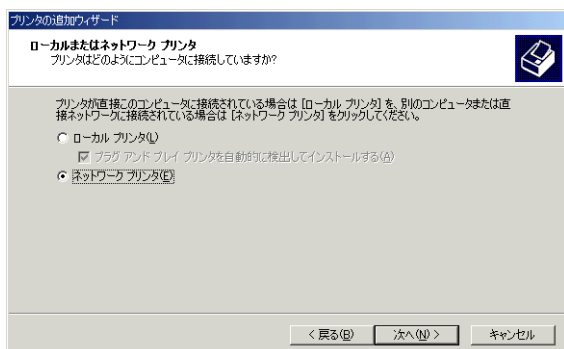
参照 「第 6 章　Printia LASER Internet Service」「System Name の設定」（137 ページ）に記載されている「一般設定」を参照

1 〔スタート〕から〔設定〕－〔プリンタ〕の順にクリックする

〔プリンタ〕ダイアログが表示されます。

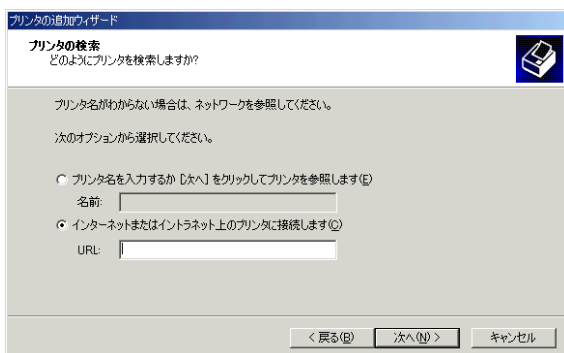
2 〔プリンタの追加〕を開く

3 〔次へ〕をクリックする

プリンタの接続方法を選択する画面が表示されます。

〔ネットワークプリンタ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

プリンタの検索方法を指定する画面が表示されます。

5 〔インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します〕を選択し、〔URL〕に以下の URL を入力して、〔次へ〕をクリックする

http://〔本プリンタの IP アドレス〕/ipp

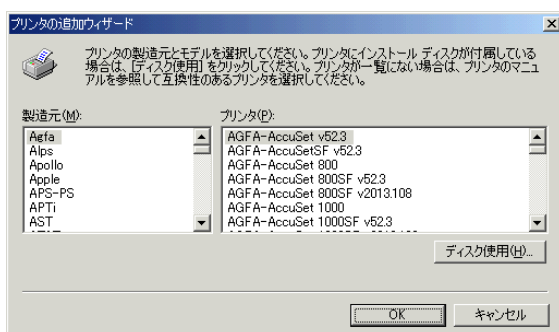
〔プリンタの接続〕ダイアログが表示されます。

ガイド

ホスト上で DNS 設定がされていて、ホスト名指定が有効であれば、ホスト名を入力することもできます。

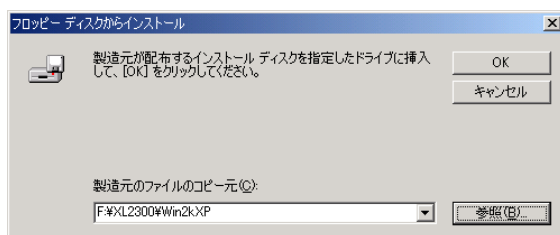
6 〔OK〕をクリックする

プリンタの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。

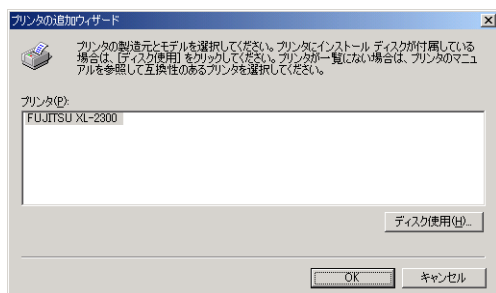
7 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする

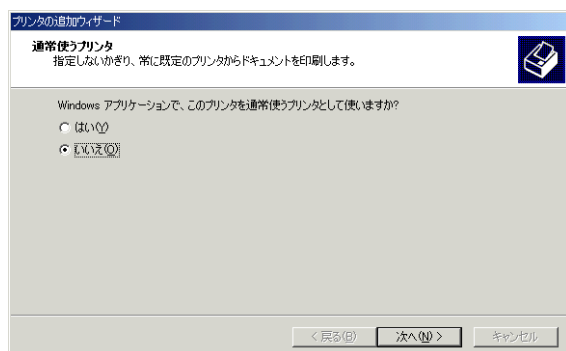
8 〔ディスク使用〕をクリックする

9 表示されたダイアログで「F:¥XL2300¥WIN2KXP」と入力し、〔OK〕をクリックする（ここでは、CD-ROM のドライブ名を「F」として説明しています。）

プリンタを選択する画面が表示されます。

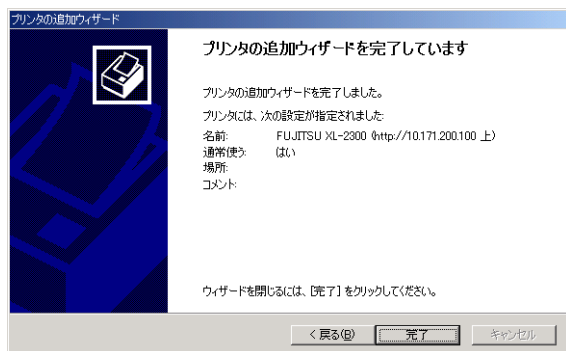
ガイド

〔参照 ...〕をクリックして、「F:¥XL2300¥WIN2KXP」フォルダを指定することもできます。

10 〔FUJITSU XL-2300〕を選択し、〔OK〕をクリックする

ガイド

「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログが表示されますが、〔はい〕をクリックすると、必要なファイルのコピーを開始します。

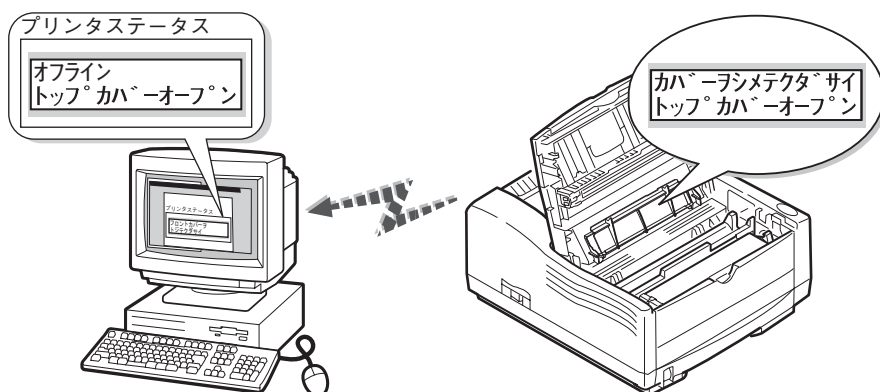
本プリンタを通常使用する場合は〔はい〕を、使用しない場合は〔いいえ〕を選択して、〔次へ〕をクリックする

〔完了〕をクリックする

インストールが完了します。

第 6 章

Printia LASER Internet Service

この章では、Printia LASER Internet Service の使用環境や利用方法について説明します。

Printia LASER Internet Service の概要

本プリンタを TCP/IP 環境に設置した場合、ネットワーク上のコンピュータの WWW ブラウザを使用して、プリンタの状態を確認したり、プリンタの各種設定を行ったりすることができます。この機能を、「Printia LASER Internet Service（プリンティアレーザインターネットサービス）」と呼びます。
Printia LASER Internet Service では、プリンタにセットされている消耗品などの残量も確認できます。

プリンタの設定では、オペレータパネルで設定する項目のうちシステム設定、各ネットワークのポート設定などに関する項目を本サービスの設定画面で設定できます。
Printia LASER Internet Service を使用できる環境、OS、およびブラウザは、以下のとおりです。

使用できる環境について

Printia LASER Internet Service を利用するには、TCP/IP プロトコルを使用したネットワーク環境が必要です。

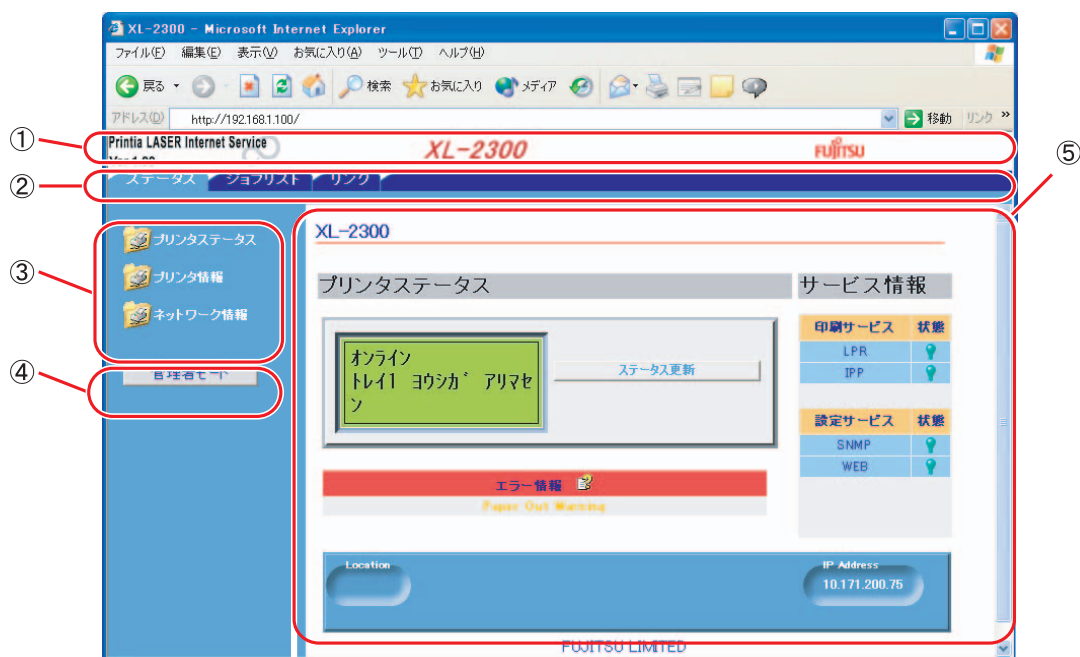
OSについて

・Windows 98
・Windows Me
・Windows NT4.0
・Windows 2000
・Windows XP
・Windows Server 2003

ブラウザについて

・Netscape® Communicator 4.0 以上
・Microsoft® Internet Explorer 4.0 以上

Printia LASER Internet Service の画面構成

Printia LASER Internet Service の画面構成について説明します。

①タイトル	タイトルロゴとプリンタモデル名を表示します。
②カテゴリタブ	各カテゴリに移動するタブ（リンク）を表示します。
③メニュー	カテゴリ内のリンク先メニューを表示します。
④管理者モード	管理者用のボタンをクリックし、ユーザ名とパスワードを入力すると管理者モードを表示します。
⑤情報	〔カテゴリ〕タブで選択したトップメニューの情報やメニューで選択した情報を表示します。

ガイド

一部の項目では、ヘルプを参照できます。
をクリックすると詳しい説明を表示します。

『XL-2300 取扱説明書』「オンラインヘルプを活用する」を参照

Printia LASER Internet Service を利用する

Printia LASER Internet Service を利用する場合の設定と機能について説明します。

ブラウザを設定する

本サービスを利用する前に、使用する Web ブラウザで以下の設定を確認してください。

Netscape Communicator での確認

ここではバージョン 4.75 で設定する場合を例に説明します。

1. 〔編集〕メニューの〔設定 ...〕をクリックする
2. 〔カテゴリ〕で〔詳細〕をクリックする
3. 〔JavaScript を有効にする〕がオンになっていることを確認する
4. 〔カテゴリ〕の〔詳細〕の左にある〔+〕を選択する
5. 〔詳細〕の下の〔キャッシュ〕を選択する
6. 〔キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較〕で、〔セッション毎〕または〔毎回〕を選択する
7. 〔OK〕をクリックする
   ダイアログを閉じます。

Internet Explorer での確認

ここではバージョン 5.50 で設定する場合を例に説明します。

1. 〔ツール〕メニューから〔インターネット オプション ...〕を選択する
   バージョン 4.x では、〔表示〕メニューから〔インターネット オプション ...〕を選択します。
2. 〔全般〕タブにある、〔インターネット一時ファイル〕の〔設定 ...〕をクリックする
3. 〔設定〕ダイアログの〔保存しているページの新しいバージョンの確認 :〕で、〔ページを表示するごとに確認する〕または〔Internet Explorer を起動するごとに確認する〕を選択し、〔OK〕をクリックする
4. 〔セキュリティ〕タブをクリックする
5. 〔イントラネットゾーン〕の〔このゾーンのセキュリティレベル〕で〔レベルのカスタマイズ〕をクリックする
6. 〔Java〕の〔Java の許可〕で〔Java を無効にする〕以外に設定し、〔OK〕をクリックする
7. 〔インターネットオプション〕ダイアログの〔OK〕をクリックする
   ダイアログを閉じます。

ガイド

Internet Explorer のバージョン5では、パラメータとして不正な値が入力されると、〔ページが見つかりません〕というメッセージが表示されることがあります。その場合は、次のように設定してください。

① Internet Explorer の〔ツール〕メニューの〔インターネットオプション〕を選択します。
② 〔詳細設定〕タブの〔ブラウズ〕の〔HTTP エラーメッセージを簡易表示する〕がオンの場合は、オフにします。

プロキシサーバを設定する

Printia LASER Internet Service を利用する場合のプロキシサーバの設定について説明します。
Printia LASER Internet Service を使用する場合には、プロキシサーバを経由しないで直接接続することをお勧めします。

Netscape Communicator の場合

ここでは、バージョン 4.75 で設定する場合を例に説明します。

1. **〔編集〕メニューの〔設定〕をクリックする**
〔設定〕ダイアログが表示されます。

2. **〔カテゴリ〕のツリーの〔詳細〕の左にあるマークをクリックする**
〔詳細〕の下に〔プロキシ〕が表示されます。

3. **〔プロキシ〕をクリックする**
右側のフレームに〔プロキシ〕ページが表示されます。

> **ガイド**
> バージョン 6.0/6.1/6.2/7.0 で設定されている場合は、手順5の「ガイド」に進んでください。

4. **〔手動でプロキシを設定する〕をオンにし、〔表示〕をクリックする**

5. **〔次ではじまるドメインにはプロキシサーバを使用しない〕にプリンタの IP アドレスを入力し、〔OK〕をクリックする**

> **ガイド**
> バージョン 6.0/6.1/6.2/7.0 の場合は、〔プロキシなし〕にプリンタの IP アドレスを入力し、〔OK〕をクリックしてください。

6. **〔設定〕ダイアログで、〔OK〕をクリックする**

Internet Explorer の場合

ここでは、バージョン 5.50 で設定する場合を例に説明します。

1. 〔ツール〕メニューの〔インターネットオプション〕をクリックする
   〔インターネットオプション〕ダイアログが表示されます。
2. 〔接続〕タブをクリックする
3. 〔ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定〕の〔LAN の設定 ...〕をクリックする
4. 〔プロキシサーバ〕の〔プロキシサーバを使用する〕を選択し、〔詳細〕をクリックする
5. 〔次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない〕にプリンタの IP アドレスを入力し、〔OK〕をクリックする
6. 〔OK〕をクリックして順にダイアログを閉じ、最後に〔インターネットオプション〕ダイアログの〔OK〕をクリックする

ガイド

プロキシサーバを経由する場合、ブラウザでプリンタの IP アドレスを指定すると応答が遅くなり、画面が表示されない場合があります。その時は、ブラウザ側でプリンタの IP アドレスをプロキシサーバを使用しない経由しない設定にします。設定方法については、お使いのブラウザの説明書をご覧ください。

プリンタ側の設定を行う

Printia LASER Internet Service を使用する場合は、プリンタ本体に IP アドレスが設定されている必要があります。

お願い

IP アドレスの設定の方法は、「第 1 章　IP アドレスを設定する」（27 ページ）を参照してください。

Printia LASER Internet Service について設定できる項目

本体側で Printia LASER Internet Service を起動したあと、Printia LASER Internet Service に関する以下の項目を設定できます 。

「設定を変更する」（136 ページ）を参照

設定できる項目	工場出荷時
Refreshing Interval （ステータスウィンドウの更新間隔）	1 分
パワーセーブに関する設定	有効
パワーセーブ移行時間	15 分
エラー自動解除	オフ
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
タイムアウト印刷	20 秒
System Contact	設定なし
System Name	設定なし
System Location	設定なし
プリンタ管理番号	設定なし
IP アドレスの取得方法	自動取得
IP アドレス	設定なし
サブネットマスク	設定なし
ゲートウェイアドレス	設定なし
DNS サーバアドレス (プライマリ)	設定なし
DNS サーバアドレス (セカンダリ)	設定なし
SMTP 送信	無効
SMTP サーバ	設定なし
プリンタ Email アドレス	設定なし
返信先 Email アドレス	設定なし
SMTP ポート番号	25
Email 送信先設定	設定なし
Email 警告送信設定	設定なし
Email 署名	設定なし
プリンタ Trap コミュニティ名設定	Public

設定できる項目	工場出荷時
プリンタ Trap アドレス設定	なし
プリンタ Trap 送信条件件設定	なし
ジョブキュー表示項目設定	ドキュメント名 ジョブ状態 コンピュータ名 ユーザー名
設定ページの印刷	設定なし
プリンタの再起動	設定なし
ネットワークの再起動	設定なし
プリンタの設定を再設定	設定なし
ネットワークカードの設定を再設定	設定なし
オペパネのロック	ロック解除
IP フィルタリングの設定	無効
IP フィルタリングの範囲設定	設定なし
管理者 IP アドレスの保存	設定なし
パスワード設定	なし
サポートリンク５件 (*)	設定あり
その他のリンク５件	設定なし

*：サポートリンクの工場出荷時の設定 URL
ドライバダウンロード：
http://www.fmworld.net/biz/fmv/driversearch/printer.html
テクニカルサポート：
http://www.fmworld.net/biz/contact.html
消耗品の注文：
https://www.coworco.com/servlet/LoginUser
製品情報：
http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/hard/ac001.html
富士通のホームページ：
http://jp.fujitsu.com/
上記 URL 情報は工場出荷後に変更されることがあります。
その場合は、管理者モードに切り替えて URL 情報を更新してください。

参照　「設定を変更する」（136 ページ）を参照

Printia LASER Internet Service を使用する

Printia LASER Internet Service を使用する場合は、次の手順にしたがってブラウザを起動してください。

 パソコンを起動し、ブラウザを起動する

 ブラウザのアドレス入力欄に、プリンタの IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〔Enter〕キーを押す

ガイド

- プリンタの IP アドレスがわからない場合は、FUJITSU LPR ユーティリティでネットワークに接続された本プリンタの IP アドレスを検索するか、設定内容の一覧を印刷して確認してください。設定内容一覧の印刷方法は、「第 1 章　ネットワークプリンタの設定」(11 ページ)を参照してください。
- ネットワークが DNS(Domain Name System) を使用していて DNS のネームサーバにプリンタのホスト名が登録されている場合は、ホスト名とドメイン名を組み合わせた「インターネットアドレス」を使用して、プリンタにアクセスできます。
- DNS とは、インターネットでホスト名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。ネットワークで DNS を使用しているかどうかや、プリンタのインターネットアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

・プリンタの IP アドレスを指定した例
(IP アドレスが aaa.bbb.ccc.ddd の場合)「http://aaa.bbb.ccc.ddd」

・インターネットアドレスを指定した例
(インターネットアドレスが XL-2300.aaa.bbb.fujitsu.com (ホスト名 : XL-2300、ドメイン名 : aaa.bbb.fujitsu.com) の場合)

Printia LASER Internet Service の画面が表示されます。

「Printia LASER Internet Service の画面構成」(115 ページ)を参照

Printia LASER Internet Service の機能一覧

Printia LASER Internet Service の各機能の概要を、カテゴリタブ別に説明します。また、注意の必要な項目には「*」を付け、詳細な説明をしています。
本 Printia LASER Internet Service には、通常モードと管理者モードの 2 種類のモードがあります。
通常モードでは、ステータス、ジョブリスト、リンクの 3 種類のカテゴリタブを表示でき、管理者モードでは、ステータス、プリンタ、ネットワーク、ジョブリスト、メンテナンス、リンクの 6 種類のカテゴリタブを表示し、各カテゴリタブの設定を変更することができます。

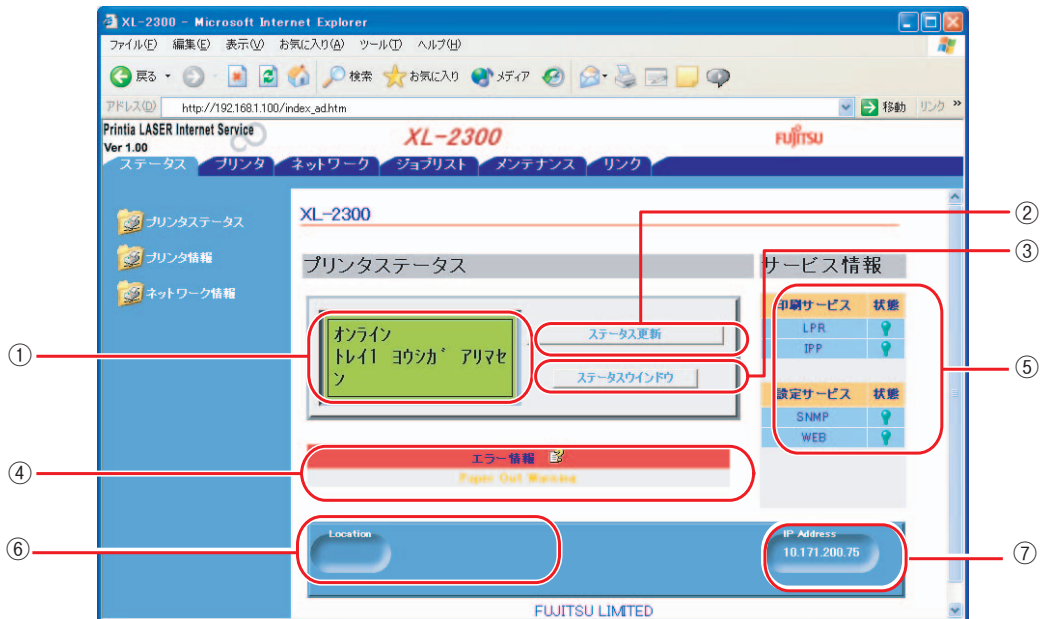
参照 「設定を変更する」（136 ページ）を参照

●通常モード時の画面

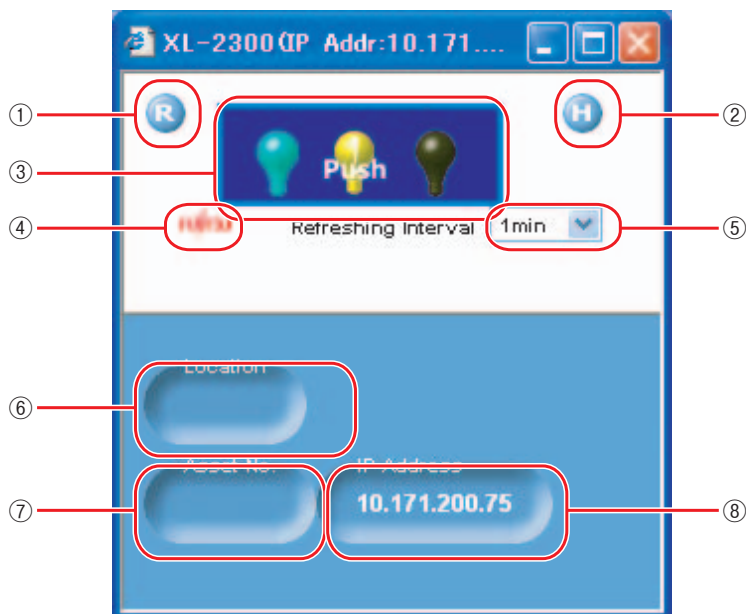
●管理者モード時の画面

XL-2300 - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
戻る 検索 お気に入り メディア
アドレス(D) http://192.168.1.100/index_ad.htm
移動 リンク
Printia LASER Internet Service
Ver 1.00
XL-2300
FUJITSU
ステータス プリンタ ネットワーク ジョブリスト メンテナンス リンク
プリンタステータス
プリンタ情報
ネットワーク情報
XL-2300
プリンタステータス
サービス情報
オンライン
WIN
ステータス更新
ステータスウインドウ
印刷サービス 状態
LPR
IPP
設定サービス 状態
SNMP
WEB
Location
IP Address
10.171.200.75
FUJITSU LIMITED

ステータスタブ

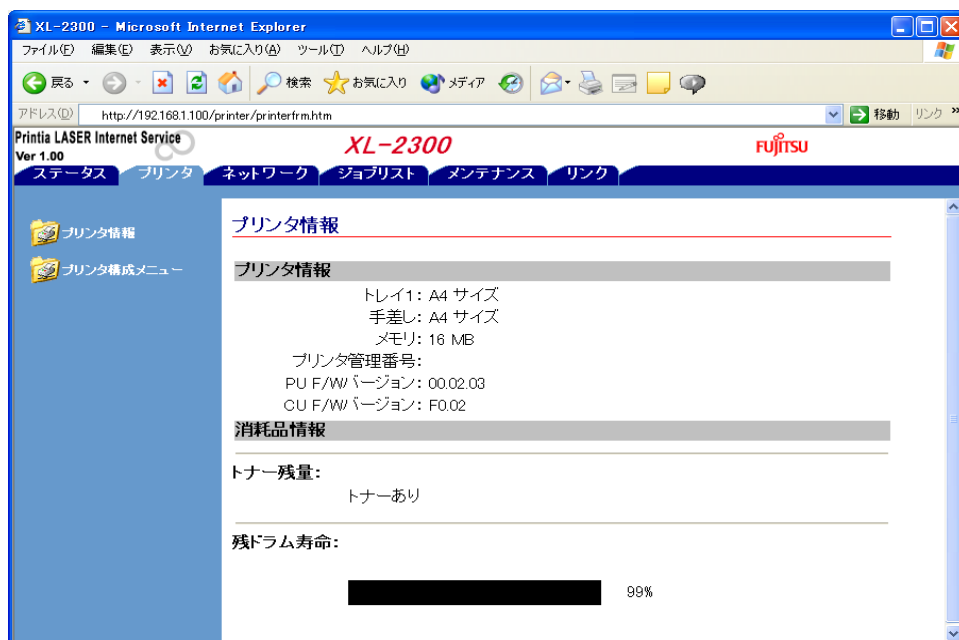
このカテゴリタブでは、プリンタステータス、プリンタ情報、ネットワーク情報が確認できます。

	設定できる項目	説　明
①	オペレータパネルウィンドウ	プリンタのオペレータパネルと同じ内容を表示します。
②	ステータス更新ボタン	ステータスタブの情報を更新します。
③	ステータスウィンドウボタン	「ステータスウィンドウ」(126 ページ)) を開きます。
④	エラー情報	エラー情報を表示します。エラー情報が無い場合には表示されません。 参照　「エラー情報」(162ページ) を参照
⑤	サービス情報	XL-2300 のネットワークサービスである LPR、IPP、SNMP、Web (Internet Service) を表示します。 ランプ点灯 (緑色) 時にネットワークサービスが使用できます。
⑥	Location	〔ネットワークタブ〕-〔一般設定メニュー〕の〔System Location〕にて設定された内容を表示します。 参照　〔System　Location〕の設定方法は、「ネットワークタブ」(129ページ) を参照
⑦	IP Address	プリンタの IP アドレスを表示します。

●ステータスウィンドウ

ステータスウィンドウから、プリンタステータスの詳細情報が参照できます。
〔ステータス〕タブ -〔ステータスウィンドウ〕の順にクリックすると、ステータスウィンドウが開きます。

	設定できる項目	説　明
①	リフレッシュボタン	クリックすると、ステータスウィンドウ（プリンタの状態）を更新します。
②	ホームボタン	クリックすると、ステータスタブを開きます。
③	ステータスランプ	プリンタのステータスをランプの色で表現します。 緑（左）：点燈時 - 印刷可、消灯時 - 印刷不可 黄（中）：点燈時 - 注意レベルのエラー有り、クリックするとエラー情報が表示されます。 赤（右）：点滅時 - 警告レベルのエラー有り、クリックするとエラー情報が表示されます。 参照　エラー情報については「エラー情報」（162 ページ）を参照
④	富士通ロゴ	クリックすると、富士通のホームページを開きます。
⑤	リフレッシュ間隔	ステータスウィンドウ（プリンタの状態）を更新する間隔を表示します。 また、30 秒、1 分、5 分、10 分、1 時間 および OFF(自動で更新しない) を選択して設定できます。
⑥	Location	〔ネットワーク〕タブ -〔一般設定〕メニューの〔System Location〕にて設定された内容を表示します。

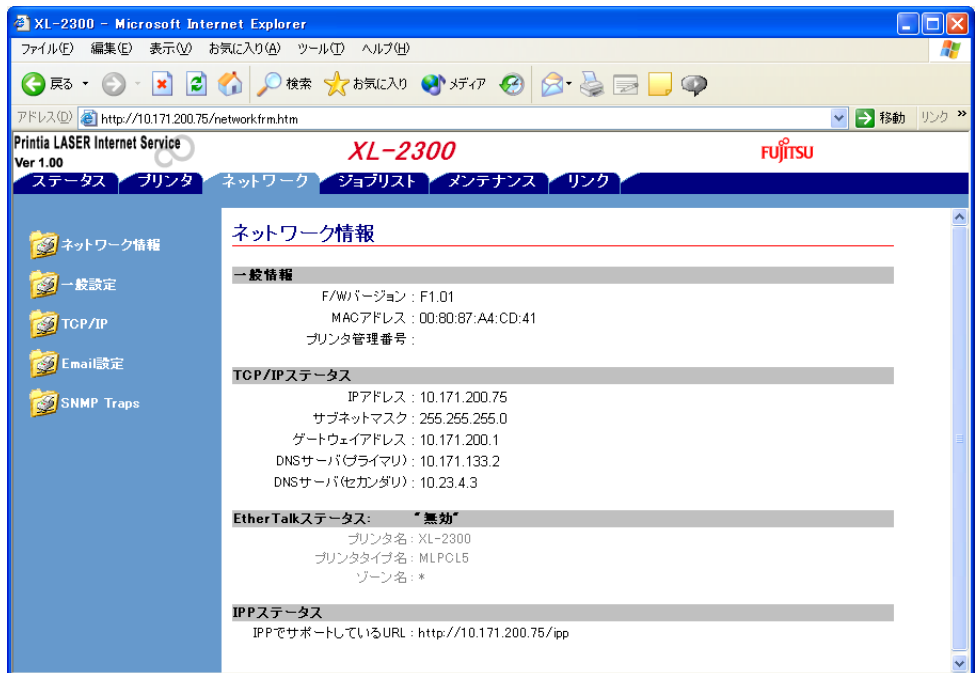
	設定できる項目	説　　明
⑦	Asset No.	〔ネットワーク〕タブ -〔一般設定〕メニューの〔プリンタ管理番号〕にて設定された内容を表示します。 参照　〔System Location〕と〔プリンタ管理番号〕の設定方法は、「ネットワークタブ」（129ページ）を参照
⑧	IP Address	プリンタの IP アドレスを表示します。

プリンタタブ

このカテゴリタブでは、プリンタ情報やプリンタに関する情報が確認できます。

設定できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定できる項目	説　明
プリンタ構成メニュー	パワーセーブに関する設定	パワーセーブモードを使用するかしないかを設定します。
	パワーセーブ移行時間	パワーセーブモードに移行する時間を設定します。1 分、5 分、10 分、15 分、30 分、60 分、120 分、240 分から選択して設定できます。
	エラー自動解除	用紙サイズ、用紙タイプ、用紙厚の設定不一致によるエラーについて、自動的にプリンタを復旧させるかどうかを設定します。
	トナー不足印刷継続	トナー残量が少なくなった場合のプリンタの動作を設定します。 継続：印刷を続けて行います。しかし、トナーの残量が少ないため、きれいな印刷ができなくなる場合があります。トナーを注文することをお勧めします。 中止：印刷を停止し、プリンタをオフラインにします。
	ジャムリカバー	印刷中に紙詰まりが発生した場合、復旧後、紙詰まりが発生したページの再印刷を、行うかどうかを設定します。
	タイムアウト印刷	印刷ジョブの受信中に受信が途絶えた場合に、後続のデータを待つ時間を設定します。0= オフ、5 ～ 300(秒) の範囲で設定できます。

ネットワークタブ

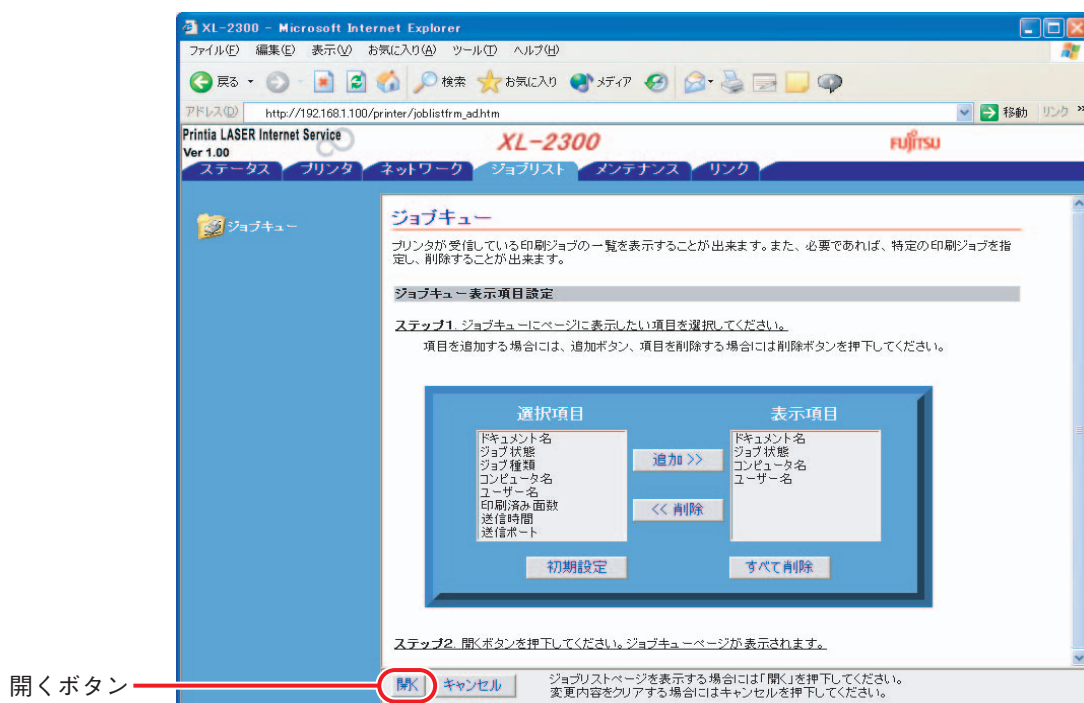
このカテゴリタブでは、ネットワーク情報、E メール設定、SNMP 設定が確認できます。

設定できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定できる項目	説　明
一般設定	System Contact	連絡先等の情報を入力します。1 ～ 255 文字の半角英数字を入力できます。
	System Name(*1)	プリンタの名前等の情報を入力します。1 ～ 63 文字の半角英数字で入力できます。
	System Location	設置場所等の情報を入力します。1 ～ 255 文字の半角英数字で入力できます。
	プリンタ管理番号	プリンタの管理番号を入力します。1 ～ 8 文字の半角英数字で入力できます。

メニュー	設定できる項目	説　明
TCP/IP	IP アドレスの取得方法	IP アドレスの取得方法にて自動で取得するか手動で設定するかを設定します。
	IP アドレス	IP アドレスを設定します。
	サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
	ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを設定します。
	DNS サーバアドレス（プライマリ）	DNS サーバアドレス（プライマリ）の設定をします。
	DNS サーバアドレス（セカンダリ）	DNS サーバアドレス（セカンダリ）の設定をします。
Email 設定 (*2)	SMTP 送信	E メールのサービスを使用するかしないかを設定します。
	SMTP サーバ	プリンタが E メールを送信する際に経由する SMTP サーバのアドレスを設定します。1 ～ 64 文字の半角英数字を入力できます。
	プリンタ Email アドレス	送信元アドレス（本プリンタのアドレス）を設定します。1 ～ 64 文字の半角英数字を入力できます。
	返信先 Email アドレス	送信がエラーになった場合に、エラー通知メールを送信するアドレスを設定します。1 ～ 78 文字の半角英数字を入力できます。
	SMTP ポート番号	SMTP ポート番号を設定します。（通常は、工場出荷時設定のまま使用してください）
	Email 送信先設定	E メール送信先のアドレスを 5 件まで設定できます。1 ～ 78 文字の半角英数字を入力できます。
	Email 警告送信設定	設定した各アドレスについて、E メールを通知する条件を設定します。
	Email 署名	E メールの署名を 63 文字× 4 行まで入力できます。
SNMP Traps	プリンタ Trap コミュニティ名設定	Trap 発行時のコミュニティ名を設定します。1 ～ 31 文字の半角英数字を入力できます。
	プリンタ Trap アドレス設定	Trap 発行先アドレスを 5 件まで設定できます。
	プリンタ Trap(*3) 送信条件設定	設定した各アドレスについて、Trap を通知する条件を設定します。

*1: 「System Name の設定」（137 ページ）を参照してください。
*2: 「E メールの設定」（139 ページ）を参照してください。
*3: 「SNMP トラップ（プリンタ Trap 送信条件）」（143 ページ）を参照してください。

ジョブリストタブ

このカテゴリタブでは、プリンタが受信している印刷ジョブの一覧およびジョブキューページを設定できます。また、ジョブキューページでは特定の印刷ジョブを指定し、削除することができます。

設定できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定できる項目	説　　明
ジョブキュー	ジョブキュー表示項目設定	８種類のジョブキューを選択して設定します。

ジョブキューページは、「開く」ボタンをクリックすると表示できます。

ガイド

ジョブキューページを１度表示すると、２回目以降は［ジョブリスト］タブを選択すると自動的にジョブキューページも表示されるようになります。

●ジョブキューページ

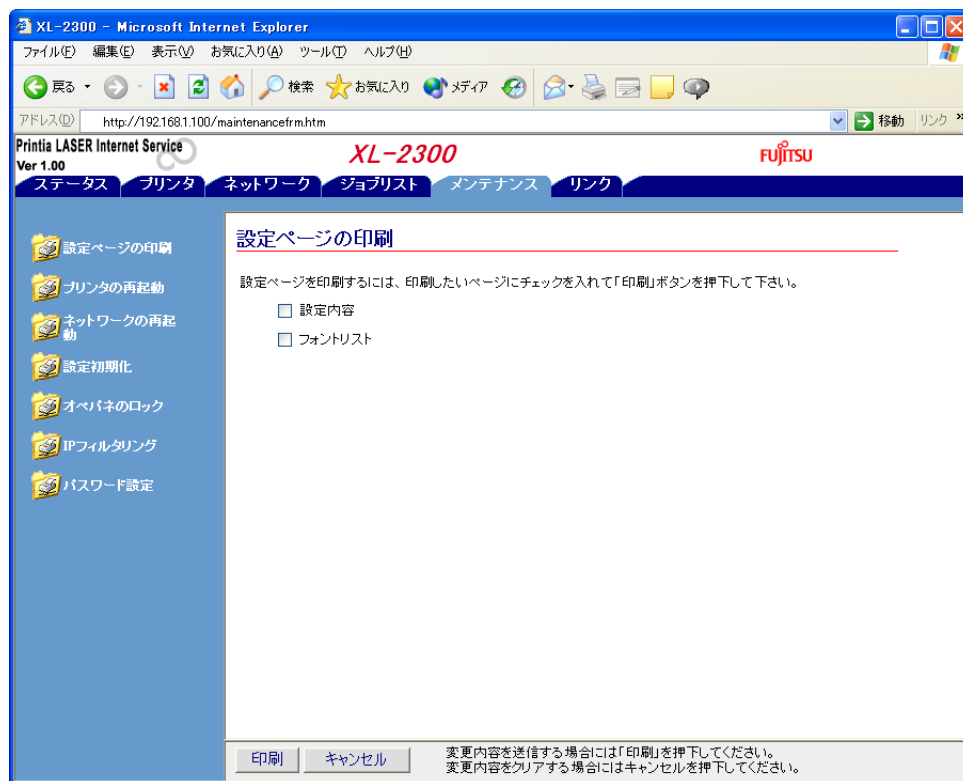
ジョブキューページでは、プリンタが受信している印刷ジョブの一覧を確認できます。また、特定の印刷ジョブを指定し、削除することができます。

表示できる項目は次のとおりです。

表示項目	説　明	備　考
キャンセル	チェックボックスにチェックを入れ、ジョブキャンセルをクリックすると、ジョブ(印刷)をキャンセルできます。	
ドキュメント名	受信している印刷ジョブのファイル名を表示します。	例) Microsoft Word　Test.doc
ジョブ状態	ジョブに対するプリンタの状態を表示します。	表示 : 意味 free : 未処理 preinterpreting : 先読み中 waiting : 編集待ち proccessing : 編集中 proccessed : 編集完了 printing : 印刷中 canceling : キャンセル中 finished : 終了
コンピュータ名	印刷ジョブの送信元の Windows に登録しているコンピュータ名を表示します。	例) FMV-XXXXXX
ユーザー名	印刷ジョブの送信元の Windows に登録しているユーザー名を表示します。	例) Fujitsu

メンテナンスタブ

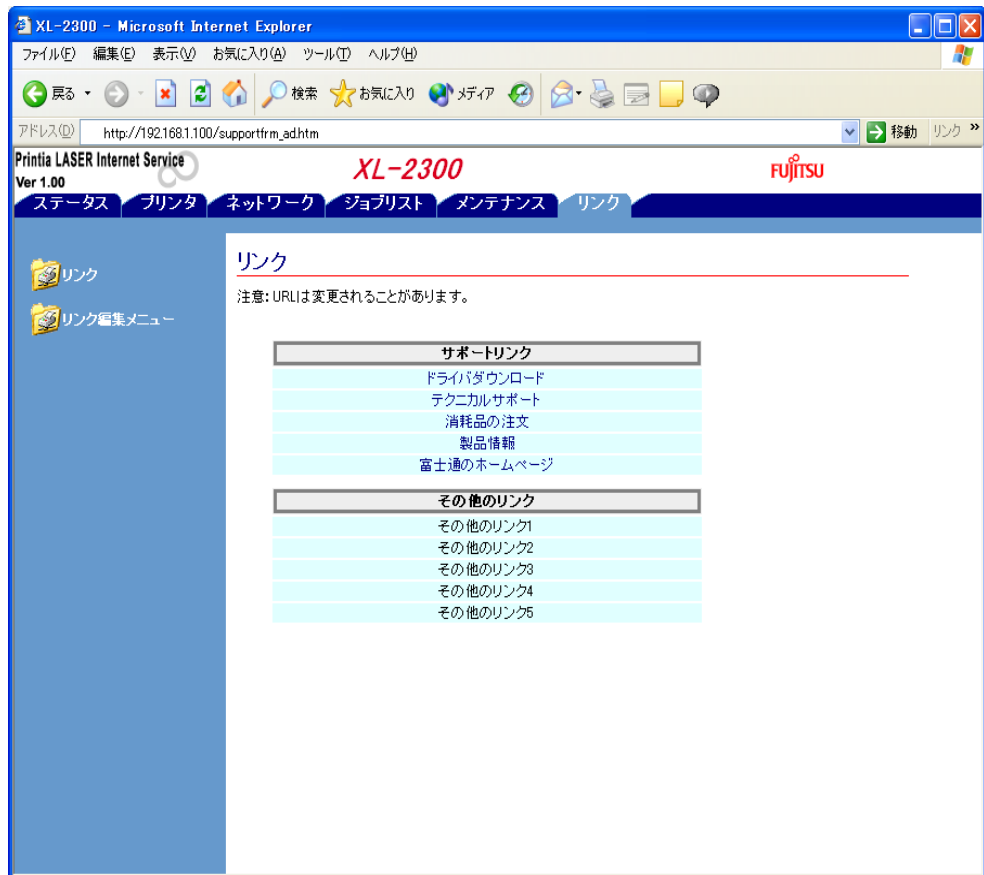
このカテゴリタブでは、プリンタやネットワークの再起動ができます。また、特定の IP アドレスからのみプリンタを使用できる（IP フィルタリング）ように設定できます。

参照　IP アドレスを使用してプリンタの使用を制限する場合は、「プリンタへのアクセス制限（IP フィルタリング）」（144 ページ）を参照

設定できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定できる項目	説　　明
設定ページの印刷	設定ページの印刷	設定内容、もしくはフォントリストを印刷します。
プリンタの再起動	プリンタの再起動	プリンタを再起動します。
ネットワークの再起動	ネットワークの再起動	プリンタのネットワークを再起動します。
設定初期化	プリンタの設定を再設定	プリンタの設定を工場出荷時設定に戻します。
	ネットワークカードの設定を再設定	プリンタLANカードの設定を工場出荷時設定に戻します。
オペパネのロック	オペパネのロック	プリンタのオペレータパネルを設定変更できないようにロックするかしないかを設定します。
IP フィルタリング（*1）	IP フィルタリングの設定	IP アドレスにて印刷／設定の制限をするかしないかを設定します。
	IP フィルタリングの範囲設定	制限する IP アドレスの範囲を設定します。
	管理者 IP アドレスの保存	管理者 IP アドレスを登録すると、IP フィルタリングの対象外となります。
パスワード設定（*2）	パスワード設定	管理者のパスワードを変更します。1 ～ 15 文字の半角英数字を入力してください。

*1: 「プリンタへのアクセス制限（IP フィルタリング）」（144 ページ）を参照してください。
*2: 「パスワードの変更」（136 ページ）を参照してください。

リンクタブ

このカテゴリタブでは、プリンタに関する URL や管理者の設定した URL へのリンクを表示できます。

設定できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定できる項目	説　明
リンク編集メニュー	サポートリンク５件	URL を５件まで設定できます。URL は１～255 文字の半角英数字を入力してください。
	その他のリンク５件	タイトルと URL を５件まで設定できます。タイトルは１～40 文字、URL は１～255 文字の半角英数字を入力してください。

ガイド

〔サポートリンク〕と〔その他のリンク〕は、「メンテナンスタブ」の〔ネットワークカードの設定を再設定〕（134 ページ）や「プリンタ LAN カードを初期化する」（25 ページ）を行うと、工場出荷時の値に設定し直されます。URL を変更する場合には、再設定できるようにメモを取っておくことをお勧めします。（工場出荷時の設定については、121 ページを参照してください。）

設定を変更する

Printia LASER Internet Service の利用時に必要な設定の変更方法について説明します。

管理者モードへの切り替え

Printia LASER Internet Service では、管理者モードで設定画面を表示させ、必要な設定を行った後画面下の〔送信〕をクリックすることで設定が確定します。
管理者モードにするには、通常モードのステータスタブの画面で〔管理者モード〕をクリックし、入力画面でユーザー名とパスワードを入力してください。

お願い

ユーザー名やパスワードは、工場出荷時に次のように設定されています。管理上の安全のため、できるだけ早い時期にパスワードを変更してください。

- ユーザー名　「xladmin」（固定）
- パスワード　「なし」

パスワードの変更

次の手順にしたがって、パスワードを変更してください。

1. 管理者モードで設定画面を表示する
2. 〔メンテナンス〕タブをクリックする
3. 左側に表示されている「パスワード設定」をクリックする
4. 新しいパスワードを入力する
   「新しいパスワードの入力」に新しいパスワードを入力したら、確認のため、「新しいパスワードの再入力」に再度同じパスワードを入力してください。
5. 〔送信〕をクリックする
   パスワードの設定が変更します。

パスワードの初期化

プリンタ LAN カードを初期化することにより、Printia LASER Internet Service の管理者モードのパスワードを初期化できます。
パスワードを忘れた場合には、プリンタ LAN カードを初期化してください。
プリンタ LAN カードの初期化の方法は、「プリンタ LAN カードを初期化する」（25 ページ）を参照してください。

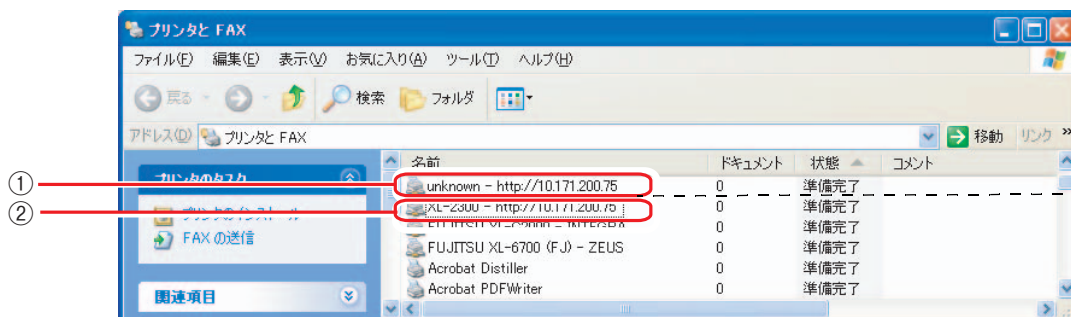
お 願 い

プリンタ LAN カードを初期化すると、Printia LASER Internet Service およびオペレータパネルでの〔ネットワーク〕カテゴリで設定した内容もすべて初期化されます。

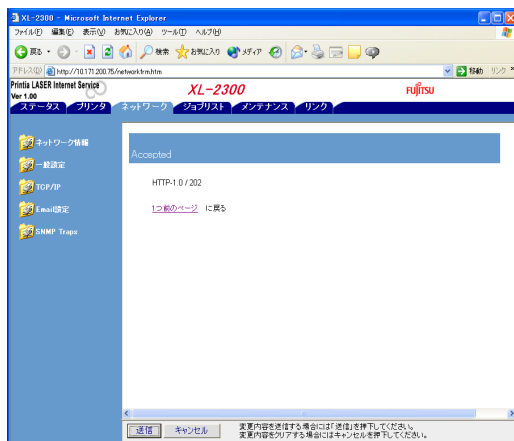
System Name の設定

ネットワークタブの一般設定にある「System Name」には、プリンタ名等を設定してください。
初期値として機種名 +xxxxxx（xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁）が設定されています。

ガ イ ド

Windows XP/Windows Server 2003 環境でインターネット接続 (IPP) によるインストールを行う場合は、本項目を空白以外にしてください。
空白にすると、<プリンタとFAX>フォルダのプリンタ名称が〔unknown〕と表示されますが、印刷は正常に実行されます。

	System Name	＜プリンタと FAX ＞フォルダの表示
①	（設定なし）	Unknown - http://(プリンタの IP アドレス)
②	xl-2300	xl-2300 - http://(プリンタの IP アドレス)

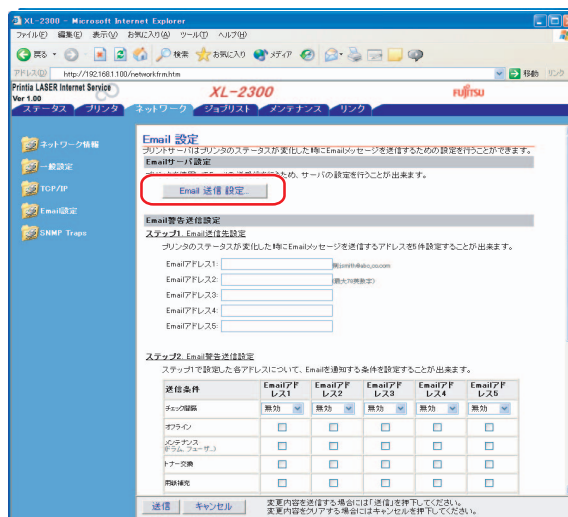
1. 管理者モードで設定画面を表示する
2. 〔ネットワーク〕タブをクリックする
3. 左側に表示されている「一般設定」をクリックする
4. 「System Name」を入力する
5. 〔送信〕をクリックする

System Name が設定されます。
新しい設定値がプリンタ LAN カードに送信されると、次のような画面が表示されます。

6. 〔１つ前のページ〕をクリックする

設定された内容を確認してください。

Eメールの設定

E メールの設定により、プリンタのステータスが変化した時に E メールのメッセージを送信します。
次の手順にしたがって、E メールの設定を行ってください。

1. 管理者モードで設定画面を表示する
2. 〔ネットワーク〕タブをクリックする
3. 左側に表示されている「Email 設定」をクリックする
4. 「Email 送信設定」のボタンをクリックする

「Email 送信設定」をステップに従って設定する

ステップ 1　SMTP 送信設定

SMTP 送信：有効

ステップ 2　送信アドレス設定

SMTP サーバ：

メールサーバの IP アドレス

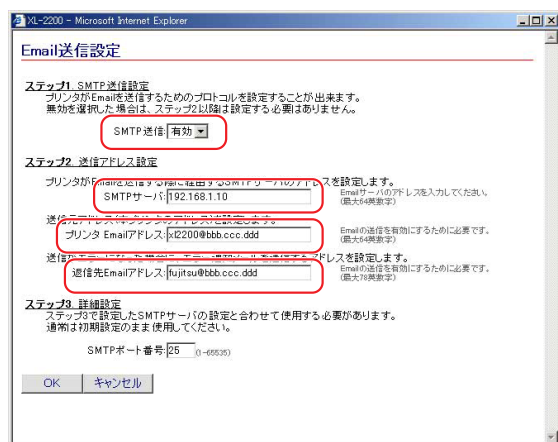
（1 ～ 64 文字の半角英数字で入力してください。）

プリンタ Email アドレス：

プリンタのメールアドレス

（1 ～ 64 文字の半角英数字で入力してください。）

返信先 Emai アドレス：

送信がエラーになった場合に、エラー通知メールを送信するメールアドレス（1 ～ 78 文字の半角英数字で入力してください。ここでは、プリンタの管理者のメールアドレスを入力することをお勧めします。）

〔OK〕をクリックする

〔ネットワーク〕タブの設定画面に戻ります。

「Email 警告送信設定」をステップに従って設定する

ステップ 1 Email 送信先設定

プリンタのステータスが変化した時にEメールのメッセージを送信するアドレスを入力してください。

最大 5 件設定できます。（1 ～ 78 文字の半角英数字で入力してください。）

ステップ 2 Email 警告送信設定

ステップ 1 で設定した各アドレスについて、E メールを送信する条件を設定してください。

設定項目は次のとおりです。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">説　明</th></tr>
<tr><td rowspan="6">チェック間隔</td><td colspan="2">プリンタのステータスが変化し、以後 Email 警告送信条件が継続している状態のとき、設定したチェック間隔で Email 警告を繰り返し送信します。本設定は、チェック設定した送信条件に対してのみ有効となります。</td></tr>
<tr><td>設定値</td><td>E メールの送信条件</td></tr>
<tr><td>無効
（デフォルト）</td><td>ステータスが変化したときのみ E メール送信</td></tr>
<tr><td>30 分</td><td>ステータスが変化したときに E メール送信し、以後 30 分毎</td></tr>
<tr><td>60 分</td><td>ステータスが変化したときに E メール送信し、以後 60 分毎</td></tr>
<tr><td>24 時間</td><td>ステータスが変化したときに E メール送信し、以後 24 時間毎</td></tr>
<tr><td>オフライン</td><td colspan="2">チェック設定の場合は、プリンタがオフラインのときに E メール送信します。</td></tr>
<tr><td>メンテナンス（ドラム、フューザ…）</td><td colspan="2">チェック設定の場合は、ドラム（プロセスカートリッジ）が寿命にちかいときや、ドラム（プロセスカートリッジ）が正しくセットされていないときに E メール送信します。</td></tr>
<tr><td>トナー交換</td><td colspan="2">チェック設定の場合は、トナーの残量が少ないときや、トナーセンサーに異常が発生しているときに E メール送信します。</td></tr>
<tr><td>用紙補充</td><td colspan="2">チェック設定の場合は、各用紙トレイ（トレイ 1、トレイ 2、手差しトレイ、給紙トレイ（MPF））に用紙がないとき、印刷時に用紙のないトレイを選択したときや、各用紙トレイが正しくセットされていないときに E メール送信します。</td></tr>
<tr><td>用紙ジャム</td><td colspan="2">チェック設定の場合は、装置内での紙詰まりが発生したときに E メール送信します。</td></tr>
<tr><td>カバーオープン</td><td colspan="2">チェック設定の場合は、トップカバーとトレイ 2 のカバーが開いているときに E メール送信します。</td></tr>
<tr><td>スタッカエラー</td><td colspan="2">本プリンタでは対象外です。</td></tr>
<tr><td>ストレージエラー</td><td colspan="2">本プリンタでは対象外です。</td></tr>
<tr><td>復旧可能エラー</td><td colspan="2">本プリンタでは対象外です。</td></tr>
<tr><td>サービスコール要求</td><td colspan="2">チェック設定の場合は、プリンタのハードウェアが故障したりプログラムが正常に働かなかったときに E メール送信します。
プリンタの電源を切り、再度入れ直してください。
それでも復旧しない場合は、ご購入元または『XL-2300 取扱説明書』に記載されている「ハードウェア修理相談センター」へご連絡ください。</td></tr>
</table>

ステップ 3 Email 署名

署名はプリンタからのEメールの送信メッセージの文末に付加する文字を任意に入力してください。
この欄は、連絡先、プリンタの詳細、消耗品の物品番号等を記述することができます。全角日本語文字も入力可能ですが、正しく表示されない場合があるため、1 ～ 63 文字の半角英数字での入力をお勧めします。

8 「Email 送信設定」と「Email 警告送信設定」の設定を確認し、〔送信〕をクリックする

9 〔1 つ前のページ〕をクリックする

設定された内容を確認してください。

E メールのメッセージをトップカバーが開いた時を例にして説明します。

タイトル（メールソフトによって表示内容が異なります。）

送信者: “FastEther8100e” <XL-2300@aaa.bbb.ccc>	←送信者名（プリンタLANカードの種類; 固定）とプリンタのメールアドレス
宛先: Fujitsu-Taro@aaa.bbb.ccc	←宛先のメールアドレス
件名: Report mail from FastEther8100e	←件名(『Report mail from FastEther8100e』; 固定)
日時: 2003年4月2日 8:41	←日時

ガイド

送信者と件名が固定となります。Email 署名の記述により区別してください。

本文

IP Address: 192.168.1.100	←プリンタのIPアドレス
FastEther8100e F0.10	←プリンタLANカードの種類とFirmware Version
Ethernet Address: 00:80:87:84:13:01	←プリンタLANカードのMACアドレス
Printer Name: XL-2300	←プリンタの型名『XL-2300』
[PRINTER STATUS]	
<40021> Cover Open for Upper cover	←ステータス：プリンタのトップカバーが開いています。
<10002> Off Line	←ステータス：オフラインです。
aaaaa	←Email署名の1行目
bbbbb	←Email署名の2行目
ccccc	←Email署名の3行目
ddddd	←Email署名の4行目

SNMP トラップ（プリンタ Trap 送信条件）

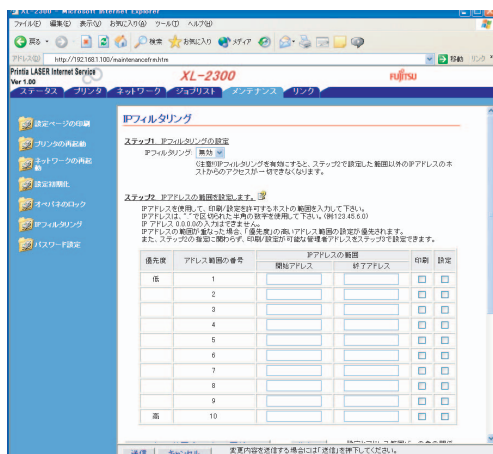
SNMP ネットワークモニタリングユーティリティを備えた機器（パソコン等）に通知するプリンタ Trap の送信条件を説明します。

プリンタ Trap の送信条件は次のとおりです。

送信条件	プリンタ Trap (Specific No.)	説　明
Trap 送信許可		チェック設定の場合は、プリンタのステータスが変化したときにプリンタ Trap を通知します。
プリンタ再起動	0	チェック設定の場合は、プリンタが再起動したときにプリンタ Trap を通知します。
不正 Trap 受信	0	チェック設定の場合は、コミュニティに“public”または“internal”以外の SNMP パケットを受信したときにプリンタ Trap を通知します。
オンライン	1	チェック設定の場合は、プリンタがオンラインになり印刷可能となったときにプリンタ Trap を通知します。
オフライン	2	チェック設定の場合は、プリンタがオフラインになったときにプリンタ Trap を通知します。
用紙なし	5	チェック設定の場合は、印刷時に各用紙トレイ（トレイ 1、トレイ 2、手差しトレイ、給紙トレイ（M P F））に用紙がなくなったとき、印刷時に用紙のないトレイを選択したときや、各用紙トレイが正しくセットされなかったときにプリンタ Trap を通知します。
用紙ジャム	6	チェック設定の場合は、装置内での紙詰まりが発生したときにプリンタ Trap を通知します。
カバーオープン	7	チェック設定の場合は、トップカバーとトレイ 2 のカバーが開いたときにプリンタ Trap を通知します。
プリンタエラー	16	チェック設定の場合は、プリンタのハードウェアが故障したりプログラムが正常に働かなかったときにプリンタ Trap を通知します。 プリンタの電源を切り、再度入れ直してください。 それでも復旧しない場合は、ご購入元または『XL-2300 取扱説明書』に記載されている「ハードウェア修理相談センター」へご連絡ください。

プリンタへのアクセス制限（IPフィルタリング）

IP アドレスを管理して、プリンタの使用を制限することができます。
次の手順にしたがって、プリンタの使用を制限してください。

1. 管理者モードで設定画面を表示する
2. 〔メンテナンス〕タブをクリックする
3. 左側に表示されている「IP フィルタリング」をクリックする
4. 〈ステップ１． IP フィルタリングの設定〉で〔有効〕を選択する

ガイド

IP フィルタリングを「有効」にすると、「ステップ２」で設定する範囲以外の IP アドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

5. 「ステップ２」で、プリンタへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を設定する

ガイド

- 印刷 / 設定を許可するホストの範囲を IP アドレスを使用して、入力してください。
- IP アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。
- IP アドレス 0.0.0.0 は、入力できません。
- IP アドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
- ステップ 2 の指定に関わらず、印刷 / 設定が可能な管理者アドレスをステップ 3 で設定できます。

6 印刷 / 設定を許可するかどうかを設定する

チェックをつけた機能が有効になります。

印刷：　印刷が可能です。

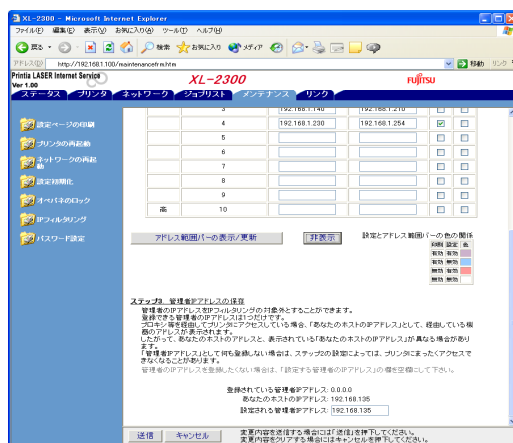
設定：　Printia LASER Internet Service からの設定および変更が可能です。

7 〔アドレス範囲バーの表示 / 更新〕をクリックする

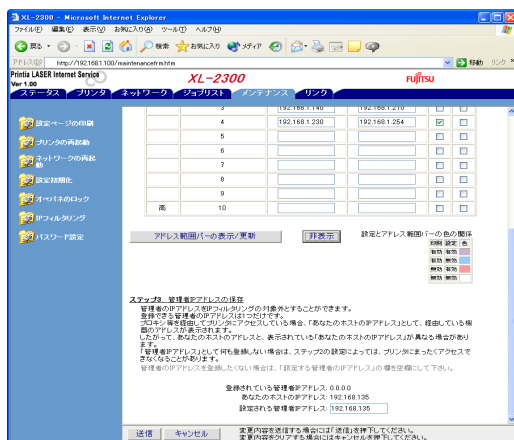
設定を行った IP アドレスの範囲が正しいかどうか確認します。

IP アドレスの範囲を修正したい場合は、該当する IP アドレスを入力し直してください。

再度 IP アドレスの範囲を確認する場合は、〔アドレス範囲バーの表示 / 更新〕をクリックします。

8 「ステップ2」でアクセスを制限する IP アドレスの設定が完了したら、「ステップ3」で、「設定される管理者 IP アドレス」の値を確認する

ガイド

- 「設定される管理者 IP アドレス」に入力した IP アドレスは、IP フィルタリングの対象外となります。ただし、登録できる管理者の IP アドレスは１つだけです。
- プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホスト IP アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストの IP アドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者 IP アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ 2 の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者の IP アドレスを登録したくない場合は、「設定する管理者の IP アドレス」の欄を空欄にしてください。

9 「ステップ１」から「ステップ３」の設定を確認し、〔送信〕をクリックする

10 〔１つ前のページ〕をクリックする

設定された内容を確認してください。

第7章

ネットワーク利用時のトラブル対処方法

この章では、ネットワークプリンタ使用時に発生するトラブルとその対処方法を説明しています。

プリンタ設置時のトラブル

症　状	チェック項目	対処方法
ネットワークに接続できない	プリンタLANケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	電源スイッチの「○」側を押して電源を切り、プリンタ LAN ケーブルを差し込み直してください。
	プリンタLANケーブルは正しく接続されていますか。	プリンタの電源を入れてからプリンタ LAN ケーブルを接続すると、ネットワークで確認できないことがあります。再度、電源スイッチの「○」側を押して電源を切り、プリンタ LAN ケーブルを接続してから電源スイッチを「 ｌ 」側に倒して電源を入れてください。
	プリンタLANケーブルの種類は正しいですか。	・ツイストペアケーブルを使用してください。 ・100Mbbs で使用される場合は、カテゴリー５のツイストペアケーブルを使用してください。
	プリンタのEthernetタイプは正しいですか。	① オペレータパネルの共通メニューの「NETWORK」-「HUB LINK」を〔AUTO〕にしてプリンタ LAN ケーブルとハブユニットを接続してください。 ② プリンタLANカードのTESTスイッチを１秒以上押し続けてから指を離し、設定内容を印刷してください。 ③ Network Information(2 ページ目 ）の「General Information」-「Hub Link Status」が〔OK(***)〕と記載されていれば正しく設定されています。（〔Link Fail〕の場合は、④に進んでください。） Network Information(2 ページ目) **General Information** Network Function Names　FastEther8100e xladmin password MAC Address　UJ808/841301 HUB Link Setting　Auto Negotiation Hub Link Status　OK(100BASE-TX Half) Network Status　Unicast Packets Received ④ オペレータパネルの共通メニューの「NETWORK」-「HUB LINK」をハブユニットのEthernetタイプに合わして設定し直してください。 ⑤ ②→③の手順を行い、プリンタのEthernet タイプを正しく設定してください。 参照　取扱説明書「第8章　オペレータパネルの操作」を参照

症　状	チェック項目	対処方法
ネットワークに接続できない	「NETWORK」-「HUB LINK」の設定変更後、プリンタの電源を切り、再度プリンタの電源をいれましたか。	「HUB LINK」の設定変更後に、プリンタの電源を再投入しない場合、ネットワークに接続できないことがあります。 「HUB LINK」の設定変更後は、必ず電源を再投入してください。ただし、設定変更後に〔オンライン〕-〔ネットワーク　ショキカチュウ〕-〔オンライン〕と表示が切り替わるまで2～5分かかることがあります。その間は、電源を再投入しないでください。
	他のネットワーク機器が同じIPアドレスを手動設定していませんか。	プリンタがIPアドレスを自動取得設定していても、同一ネットワーク内の他のネットワーク機器が同じIPアドレスを手動設定していると、正しくネットワークに接続できず、IPアドレスが〔192.168.100.100〕になります。設定内容の一覧や他のネットワーク機器を確認の上、IPアドレスを正しく設定してください。
	IPアドレスなどのネットワーク環境が、正しく設定されていますか。	IPアドレスなどが変更されている可能性もあります。設定内容の一覧の印刷(プリンタLANカードのTESTスイッチを1秒間以上押してから指を離します)を行い、次の項目を確認してください。「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GATEWAY ADDRESS」は正しく設定されていますか。また、ネットワーク環境から移動した場合、プリンタLANカードの初期化を行った後に、ネットワークを再設定することをお勧めします。設定が違っている場合は、正しく設定してください。 参照　「設定内容の一覧を印刷する」(26ページ)を参照 「プリンタLANカードを初期化する」(25ページ)を参照 「IPアドレスを設定する」(27ページ)を参照

症　状	チェック項目	対処方法
ネットワークに接続できない（ネットワーク障害が発生する）	プリンタのEthernetタイプは正しいですか。	プリンタの Ethernet タイプの設定がハブユニットの規格と一致しない場合、ネットワーク障害の原因となります。 ハブユニットの規格を調べた上で、次のように対処してください。 ① プリンタ LAN ケーブルを抜いてください。（ネットワーク障害は解消されます。） ② 本プリンタの Ethernet タイプを正しく設定してください。 ③ プリンタの電源スイッチを「○」側に倒して、電源を切ってください。 ④ プリンタ LAN ケーブルを接続してください。 ⑤ プリンタの電源スイッチを「｜」側に倒して、電源を入れてください。（ネットワーク障害は解消され、本プリンタも使用できます。） 参照 「ネットワークに接続するときの注意事項」（13ページ）を参照
IP アドレスが、プリンタの電源を入れるたびに変わってしまう	プリンタの IP アドレスを DHCP サーバから取得するように設定されていませんか。	固定の IP アドレスを割り当てる場合は、オペレータパネルで IP アドレスのセットアップ方法をパネルに設定し、割り当てる IP アドレスを入力してください。 参照 「IPアドレスを設定する」（27ページ）を参照
Windows NT4.0/ Windows 2000/XP/ Windows Server 2003 でプリンタドライバをインストール中に、ポートを追加できない	管理者権限を持つユーザ名でログインしていますか。	管理者の権限がないと、ポートを追加できません。ログインし直してください。
Windows NT4.0でプリンタドライバをインストールできない	Windows NT4.0 に〔Microsoft TCP/IP 印刷〕を組み込んでいますか。	〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔コントロールパネル〕、〔ネットワーク〕の順にクリックして、〔ネットワーク〕ウィンドウを表示します。〔サービス〕タブの〔ネットワークサービス〕に〔Microsoft TCP/IP 印刷〕が表示されるかどうかを確認してください。 表示されない場合は、〔追加〕をクリックし、〔Microsoft TCP/IP 印刷〕を追加してください。なお、このとき Windows NT4.0 システムの CD-ROM が必要になります。

症　状	チェック項目	対処方法
Windows 2000 でプリンタドライバをインストールできない	Windows 2000 に〔インターネットプロトコル (TCP/IP)〕を組み込んでいますか。	〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔ネットワークとダイヤルアップ接続〕、〔ローカルエリア接続〕、〔プロパティ〕の順にクリックします。〔ローカルエリア接続のプロパティ〕ダイアログが表示されるので、〔インターネットプロトコル (TCP/IP)〕が選択されているかどうかを確認してください。 選択されていない場合は、チェックボックスをクリックし、〔インターネットプロトコル (TCP/IP)〕を追加してください。

プリンタ使用時のトラブル

共通のトラブル

症　状	チェック項目	対処方法
印刷できない	プリンタの電源が切れていませんか。	電源スイッチの「 I 」側を押して電源を入れてください。
	プリンタLANケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	電源スイッチの「○」側を押して電源を切り、プリンタ LAN ケーブルを差し込み直してください。
	プリンタLANケーブルは正しく接続されていますか。	プリンタの電源を入れてからプリンタ LAN ケーブルを接続すると、ネットワークで確認できないことがあります。再度、電源スイッチの「○」側を押して電源を切り、プリンタ LAN ケーブルを接続してから電源スイッチを「 I 」側に倒して電源を入れてください。
	プリンタLANカードが取り付けられていますか。	プリンタLANカードを取り付けてください。 参照　「プリンタLANカードを取り付ける」（19ページ）を参照
	IP アドレスなどのネットワーク環境が、正しく設定されていますか。	IP アドレスなどが変更されている可能性もあります。 設定内容の一覧の印刷（プリンタ LAN カードの TEST スイッチを 1 秒間以上押してから指を離します）を行い、次の項目を確認してください。 「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GATEWAY ADDRESS」は正しく設定されていますか。 また、ネットワーク環境から移動した場合、プリンタLANカードの初期化を行った後に、ネットワークを再設定することをお勧めします。 設定が違っている場合は、正しく設定してください。 参照　「設定内容の一覧を印刷する」（26ページ）を参照 「プリンタLANカードを初期化する」（25ページ）を参照 「IPアドレスを設定する」（27ページ）を参照

症　状	チェック項目	対処方法
印刷できない	IP フィルタリングにより印刷が制限されていませんか。	印刷制限が設定されていないかどうかを確認してください。 参照 「Printia LASER Internet Service」（113 ページ）を参照
印刷できない（Windows 98/Me の場合）	パソコン側にアダプタが認識されていますか。	〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕-〔ネットワーク〕-〔ネットワークの設定タブ〕の順に選択し、〔現在のネットワークコンポーネント〕で〔TCP/IP → ***〕（*** はアダプタ名）が表示されているか確認してください。 参照 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows 98/Meの場合」（52ページ）を参照
	パソコン側のIPアドレス等が正しく設定されていますか。	〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕-〔ネットワーク〕-〔ネットワークの設定タブ〕-〔現在のネットワークコンポーネント〕-〔TCP/IP -> ***〕（*** はアダプタ名）の〔プロパティ〕で〔IP アドレス〕、〔サブネットマスク〕、〔ゲートウェイ〕を正しく設定してください。 参照 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows 98/Meの場合」（52ページ）を参照
印刷できない（Windows　NT4.0 の場合）	パソコン側に TCP/IP が組込まれていますか。	〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕-〔ネットワーク〕の順に選択し、〔プロトコル〕タブの〔ネットワークプロトコル〕で〔TCP/IP プロトコル〕が表示されているか確認してください。 参照 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows NT4.0の場合」（55ページ）を参照
	パソコン側のIPアドレス等が正しく設定されていますか。	〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕-〔ネットワーク〕-〔プロトコル〕タブ-〔ネットワークプロトコル〕-〔TCP/IP プロトコル〕の〔プロパティ〕で〔IP アドレス〕、〔サブネットマスク〕、〔デフォルトゲートウェイ〕を正しく設定してください。 参照 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows NT4.0の場合」（55ページ）を参照

症　状	チェック項目	対処方法
印刷できない （Windows　2000　の場合）	パソコン側に TCP/IP が組込まれていますか。	〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕-〔ネットワークとダイヤルセットアップ〕-〔ローカルエリア接続〕の順に選択し、〔プロパティ〕に〔インターネットプロトコル（TCP/IP）〕が表示されているか確認してください。 参照　「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows 2000の場合」（57ページ）
	パソコン側のIPアドレス等が正しく設定されていますか。	〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕-〔ネットワークとダイヤルセットアップ〕-〔ローカルエリア接続〕-〔プロパティ〕-〔インターネットプロトコル（TCP/IP）〕の〔プロパティ〕で〔IP アドレス〕、〔サブネットマスク〕、〔デフォルトゲートウェイ〕を正しく設定してください。 参照　「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows 2000の場合」（57 ページ）を参照
印刷できない （Windows XP/Windows Server 2003 の場合）	パソコン側に TCP/IP が組込まれていますか。	〔スタート〕-〔コントロールパネル〕-〔ネットワークとインターネット接続〕-〔ネットワーク接続〕-〔ローカルエリア接続〕の順に選択し、〔プロパティ〕に〔インターネットプロトコル（TCP/IP）〕が表示されているか確認してください。 参照　「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows XP/Windows Server 2003の場合」（59ページ）を参照
	パソコン側のIPアドレス等が正しく設定されていますか。	〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕-〔ネットワークとインターネット接続〕-〔ローカルエリア接続〕-〔プロパティ〕-〔インターネットプロトコル（TCP/IP）〕の〔プロパティ〕で〔IP アドレス〕、〔サブネットマスク〕、〔デフォルトゲートウェイ〕を正しく設定してください。 参照　「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows XP/Windows Server 2003の場合」（59ページ）を参照

症　状	チェック項目	対処方法
オペレータパネルでの設定ができない	「オペパネのロック」になっていませんか。	オペパネのロックの設定がされていないかどうかを確認してください。 参照　Printia LASER Internet Service（113ページ）を参照
	パスワードを忘れてしまい、「Printia LASER Internet Service」の管理者モードの画面表示ができないため、「オペパネのロック」が解除できない状態ですか。	どうしてもパスワードを思い出せない場合は、プリンタ LAN カードの初期化を行って、「Printia LASER Internet Service」の管理者モードの画面表示から、「オペパネのロック」を解除してください。プリンタ LAN カードの初期化の手順は、「プリンタ LAN カードを初期化する」（25 ページ）を参照してください。ただし、この場合はネットワークに関する設定がすべて工場出荷時の値に初期化されます。ネットワークの設定を初期化する前に、設定内容の一覧を印刷し、現在の設定内容を確認しておくことをお勧めします。

FUJITSU LPR ユーティリティ使用時のトラブル

症　状	チェック項目	対処方法
印刷できない（「FUJITSU LPR ユーティリティ」のメインウィンドウの状態欄が〈未接続〉である）	FJLPR Port の IP アドレスは正しく設定されていますか。	メインウィンドウで、使用しているプリンタを選択してから〔リモートプリントメニュー〕－〔プリンタの再設定〕の順に選択し、〔IP アドレス〕がプリンタの IP アドレスを正しく設定してください。 参照　「FUJITSU LPRユーティリティの機能」「プリンタの再設定」（73 ページ）を参照
	メインウィンドウの〔プリンタ〕欄の名称と〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕（Windows XP/Windows Server 2003 は、〔プリンタと FAX〕）フォルダの名称が一致していますか。	メインウィンドウの〔プリンタ〕欄の名称 〔プリンタ〕フォルダの名称 メインウィンドウの〔プリンタ〕欄の名称と〔プリンタ〕フォルダの名称が一致していない場合は、FUJITSU LPR ユーティリティにてプリンタを削除し、〔プリンタの追加〕にて再設定を行うか、〔プリンタ〕フォルダの名称をメインウィンドウの〔プリンタ〕欄と同じ名称に変更してください。 参照　「FUJITSU LPRユーティリティの機能」「プリンタの追加」（68 ページ）を参照
	〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕（Windows XP では、〔プリンタと FAX〕）フォルダからプリンタが削除されていませんか。	〔プリンタ〕フォルダからプリンタが削除されている場合は、FUJITSU LPR ユーティリティでのプリンタも削除し、設定し直してください。 参照　「FUJITSU LPRユーティリティをインストールする」（62 ページ）を参照
IP アドレスの検索 / 設定ができない	プリンタのオペレータパネルの設定項目「SNMP」が〔DISABLE〕になっていませんか？	プリンタのオペレータパネルの設定項目「NETWORK」-「SNMP」が〔DISABLE〕であれば、〔ENABLE〕に変更してください。 参照　『XL-2300取扱説明書』「第8章 オペレータパネルの操作」を参照

症　状	チェック項目	対処方法
ジョブの自動転送ができない	転送先プリンタのオペレータパネルの設定項目「SNMP」が〔DISABLE〕になっていませんか？	転送先プリンタのオペレータパネルの設定項目「NETWORK」-「SNMP」が〔DISABLE〕であれば、〔ENABLE〕に変更してください。 参照　『XL-2300取扱説明書』「第8章 オペレータパネルの操作」を参照
プリンタのステータス表示ができない	プリンタのオペレータパネルの設定項目「SNMP」が〔DISABLE〕になっていませんか？	プリンタのオペレータパネルの設定項目「NETWORK」-「SNMP」が〔DISABLE〕であれば、〔ENABLE〕に変更してください。 参照　『XL-2300取扱説明書』「第8章 オペレータパネルの操作」を参照

FUJITSU LPR ユーティリティ使用時の他の問題については、「共通のトラブル」（152 ページ）を参照

LPR、IPP ポート使用時のトラブル

症　状	チェック項目	対処方法
印刷できない（Windows NT4.0 の場合）	「Microsoft TCP/IP 印刷」サービスが設定されていますか。	〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕-〔ネットワーク〕の順に選択し、〔サービス〕タブの〔ネットワークサービス〕で〔Microsoft TCP/IP 印刷〕が表示されるか確認してください。 サービスが設定されていない場合は、設定してください。 参照　「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows NT4.0の場合」（55 ページ）を参照
印刷できない（Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合）	IP アドレスでプリンタを正しく指定していますか。	プリンタの IP アドレスにて、各オクテットの先頭を「0」にしていませんか。 「192.169.002.010」ではなく「192.169.2.10」のように設定してください。
印刷できない（Windows Me での IPP 印刷の場合）	IPP ポート（Microsoft インターネット印刷サービス）がインストールされていますか。	〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕-〔アプリケーションの追加と削除〕の順に選択し、現在インストールされているプログラムに Microsoft インターネット印刷サービスが表示されているか確認してください。 IPP ポートがインストールされていない場合は、インストールしてください。 参照　「Windows Meのインターネット印刷について」（104 ページ）を参照

Printia LASER Internet Service使用時のトラブル

症　状	チェック項目	対処方法
Printia LASER Internet Serviceに接続できない	プリンタの電源が切れていませんか。	電源スイッチの「｜」側を押して電源を入れてください。
	プリンタLANケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	電源スイッチの「○」側を押して電源を切り、プリンタLANケーブルを差し込み直してください。
	インターネットアドレスは正しく入力されていますか。	インターネットアドレスをもう一度確認してください。それでも接続できない場合は、IPアドレスを使用して接続してください。
	IPアドレスは正しく入力されていますか。	IPアドレスが変更されている可能性もあります。 設定内容一覧の印刷（プリンタLANカードのTESTスイッチを1秒間以上押してから指を離します）を行い、次の項目を確認してください。 ・「IP ADDRESS SET」:【MANUAL】に設定されていますか ・「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GATEWAY ADDRESS」は正しく設定されていますか。 また、ネットワーク環境から移動した場合、プリンタLANカードの初期化を行った後に、ネットワークを再設定することをお勧めします。 設定が違っている場合は、正しく設定してください。 参照 「設定内容の一覧を印刷する」（26ページ）を参照 「プリンタLANカードを初期化する」（25ページ）を参照 「IPアドレスを設定する」（27ページ）を参照
	プロキシサーバを使用していますか。	Webブラウザの設定で、プロキシサーバを使用しないように設定するか、接続したいアドレスをプロキシサーバを使用しないで接続するように設定してください。 参照 「プロキシサーバを設定する」（118ページ）を参照

症　状	チェック項目	対処方法
〔ステータス更新〕が機能しない 各カテゴリタブでメニューの項目を選択しても、情報の画面が更新されない	使用しているパソコンのOSやWebブラウザは適切ですか。	Webブラウザのメニューを使用して、更新してみてください。 また、使用しているパソコンのOSやWebブラウザが適切かどうかを確認してください。 参照　「Printia LASER Internet Serviceの概要」(114 ページ)を参照
パスワードを忘れて、設定を変更できない	-	どうしてもパスワードを思い出せない場合は、プリンタ LAN カードの初期化を行ってください。手順は、「プリンタ LAN カードを初期化する」(25 ページ)を参照してください。ただし、この場合はネットワークに関する設定がすべて工場出荷時の値に初期化されます。ネットワークの設定を初期化する前に、設定内容の一覧を印刷し、現在の設定内容を確認しておくことをお勧めします。

参照　LPR、IPP ポート使用時の他の問題については、「共通のトラブル」(152 ページ)を参照

メールの受信時のトラブル

症　状	チェック項目	対処方法
メールでエラーが通知されない	SMTP サーバは正常に作動していますか。	ネットワーク管理者に確認してください。
	SMTPサーバのIPアドレスが、正しく入力されていますか。	Printia LASER Internet Service で正しい値を入力してください。 参照 「Printia LASER Internet Service」（113 ページ）を参照
	送信する通知項目が正しく設定されていますか。	Printia LASER Internet Service で、メールで通知したい項目をチェックしてください。 参照 「Printia LASER Internet Service」（113 ページ）を参照
	送信先メールアドレスが正しく入力されていますか。	Printia LASER Internet Service で、正しい送信先を指定してください。 参照 「Printia LASER Internet Service」（113 ページ）を参照

エラー情報

Printia LASER Internet Service 利用時に表示されるメッセージについて説明します。

トップページにおけるエラー情報、及び、ステータスウィンドウにおける表示メッセージは、エラーと警告に分けられます。（本情報は、E-Mail サービスで通知されるステータス情報と同一です。）

トップページのエラー情報

・エラー発生時：赤色のメッセージを表示
・警告発生時　：黄色のメッセージを表示

ステータスウィンドウの表示メッセージ（管理者モード）

ステータスウィンドウでは下記のとおりランプが点滅します。点滅しているランプをクリックするとメッセージが表示されます。
・エラー発生時：赤（右側）ランプが点滅
・警告発生時　：黄（真中）ランプが点燈

これらのメッセージは英語にて表示されますが、以下の内容を意味します。また、メッセージは優先度の高いものから表示されますので、優先度の低いメッセージは、優先度の高いメッセージの発生要因が解除されるまで表示されないことがあります。

優先度は以下の表中の順に従います。

メッセージ表

優先度	種別	表示メッセージ	メッセージ内容
高	エラー	Service Call Required	プリンタに異常が発生しています。
	エラー	Cover Open for Upper cover	プリンタのトップカバーが開いています。
	エラー	Drum Missing for Black	ドラム（プロセスカートリッジ）が正しくセットされていません。
	エラー	Drum Life Error for Black	ドラム（プロセスカートリッジ）の寿命です。
	エラー	Paper Feed Jam	紙づまりです。
	エラー	Paper Input Jam	用紙給紙口付近の紙づまりです。

優先度	種別	表示メッセージ	メッセージ内容
高	エラー	Paper Size Error	用紙サイズが異なっています。
↑	エラー	Recoverable Error	プリンタにエラーが発生しています。
	エラー	Toner Out for Black	トナー切れです。
	警告	Size Mismatch for Tray1	トレイ１の用紙サイズと印刷を指定した用紙のサイズが異なっています。
	警告	Size Mismatch for Tray2	トレイ２の用紙サイズと印刷を指定した用紙のサイズが異なっています。
	警告	Size Mismatch for EVF	MPF(給紙トレイ)の用紙サイズと印刷を指定した用紙のサイズが異なっています。
	エラー	Cover Open for Tray2	印刷できません。トレイ２のカバー（フロントカバー）が開いています。
	エラー	Paper Out for Tray1	印刷できません。トレイ１に用紙がありません。
	エラー	Paper Out for Tray2	印刷できません。トレイ２に用紙がありません。
	エラー	Paper Out for EVF	印刷できません。MPF(給紙トレイ)に用紙がありません。
	エラー	Paper Request for MP/Front Tray	印刷できません。手差しトレイに用紙がありません。
	警告	Cover Open Warning for Tray2	トレイ２のカバー（フロントカバー）が開いています。
	警告	Paper Out Warning	トレイ１もしくはトレイ２に用紙がありません。
	警告	Drum Life Near Error for Black	ドラム（プロセスカートリッジ）の寿命寸前です。
	警告	Drum Life Warning for Black	もうすぐドラム（プロセスカートリッジ）の寿命となります。
	警告	Toner Sensor Warning for Black	トナーセンサーに異常が発生しています。
↓	警告	Toner Near Out for Black	トナー切れ寸前です。
低	警告	Toner Low for Black	トナーの残量が少なくなっています。

索　引

D

E

F

I

P

S

T

W

あ

い

か

し

す

せ

た

つ

ね

は

ふ

め

り